

第29回
東金市民アンケート調査報告書

令和8年2月



内容

I 調査の概要及び回答者の属性	1
1 調査の概要	1
2 回答者の属性と構成比	2
II 調査結果	6
1 東金市の住みごこちなどについて	6
2 子育てについて	16
3 市のにぎわいについて	22
4 市の環境施策について	28
5 市の公共交通（鉄道、バス、タクシー）について	30
6 市の公共施設について	34
7 近隣市町との連携について	36
8 広報・情報発信について	38
9 生活や考え方について	46
10 物価高騰対策について	54
11 デジタル化について	56
12 男女共同参画について	66
13 今後のまちづくりについて	102
14 満足度と優先度について	108

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1)調査目的

本調査は、東金市第4次総合計画前期基本計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理に当たって、まちへの愛着度や今後の定住意向をはじめ、まちの現状評価や今後重視する取り組みなど、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2)調査対象及び調査方法

項目	内 容
調査対象	18歳以上の市民
抽出法	無作為抽出
調査方法	送付方法：郵送 回答方法：郵送またはWEB
調査時期	令和7年7月
調査地域	市内全域

(3)配布数及び回収結果

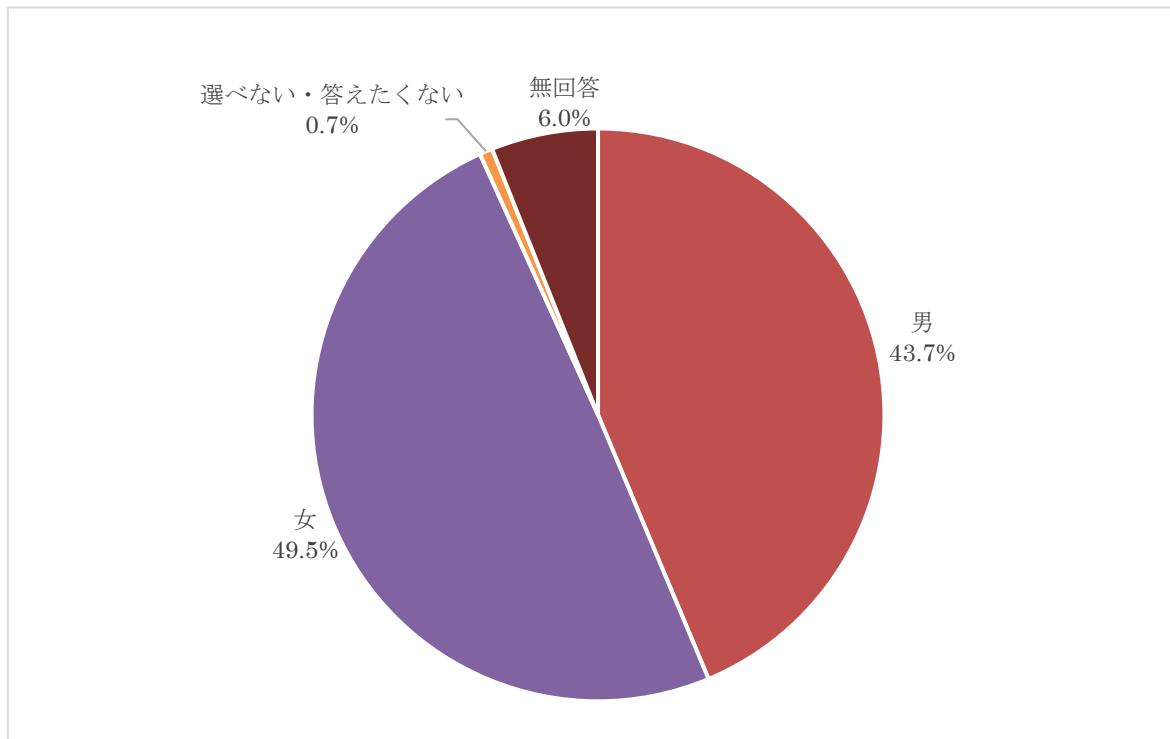
配布数	1,500人
有効回収数	547人（うちWEB回答201人）
有効回収率	36.5%

(4)本報告書の留意事項

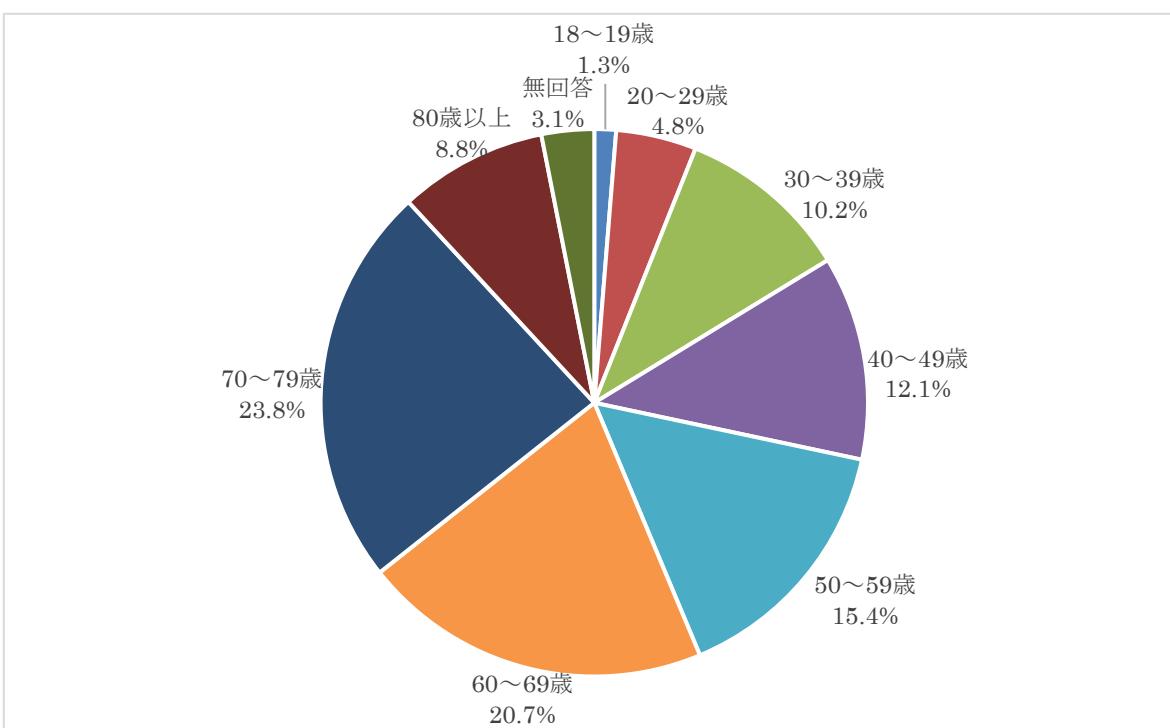
- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位または3位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合もあります。
- ② 質問中に【あてはまるものすべて】とある問は、1人の回答者が複数選択し、回答を出してもよい問です。※第29回より、回答の上限を設けていません。
- ③ 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- ④ 問の中には、回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれます。
- ⑤ 記述式の質問については、別冊に記載しています。

2 回答者の属性と構成比

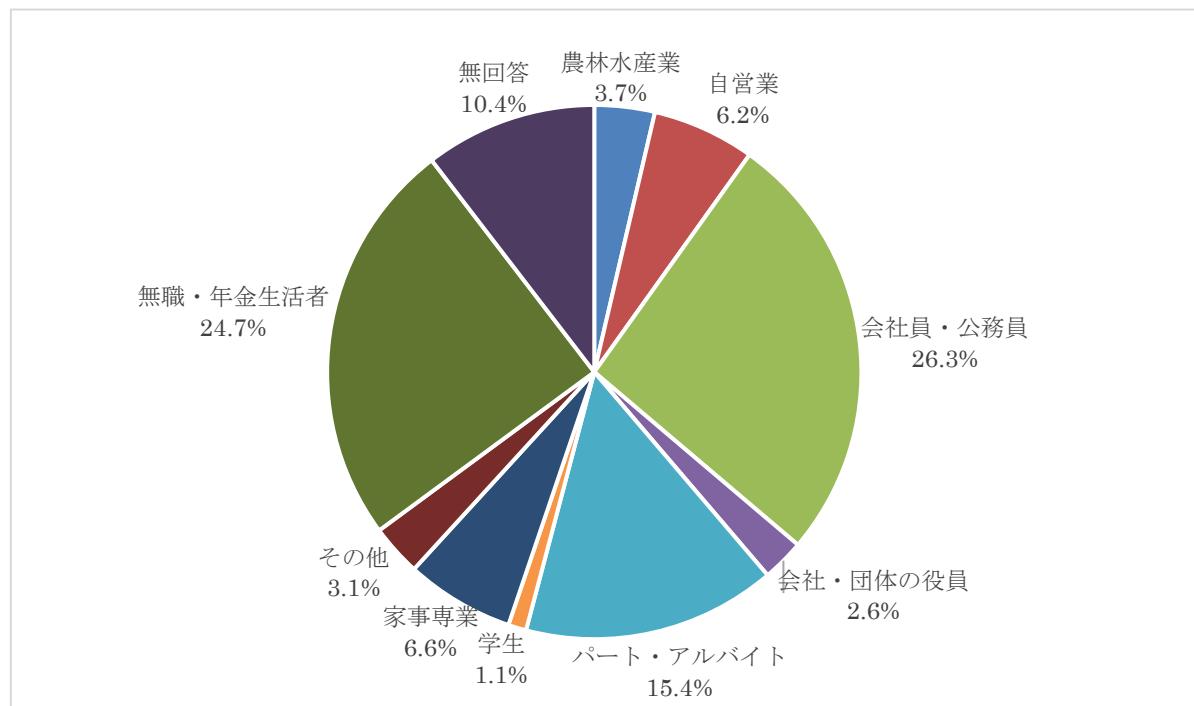
(1)性別



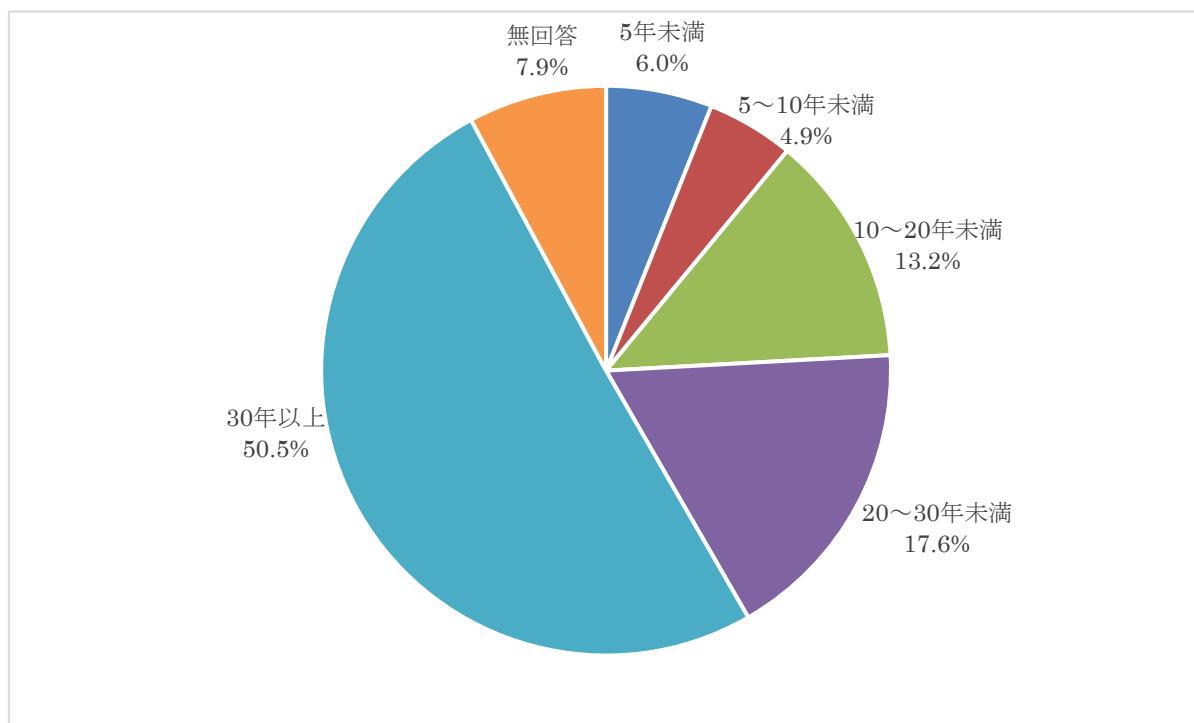
(2)年齢



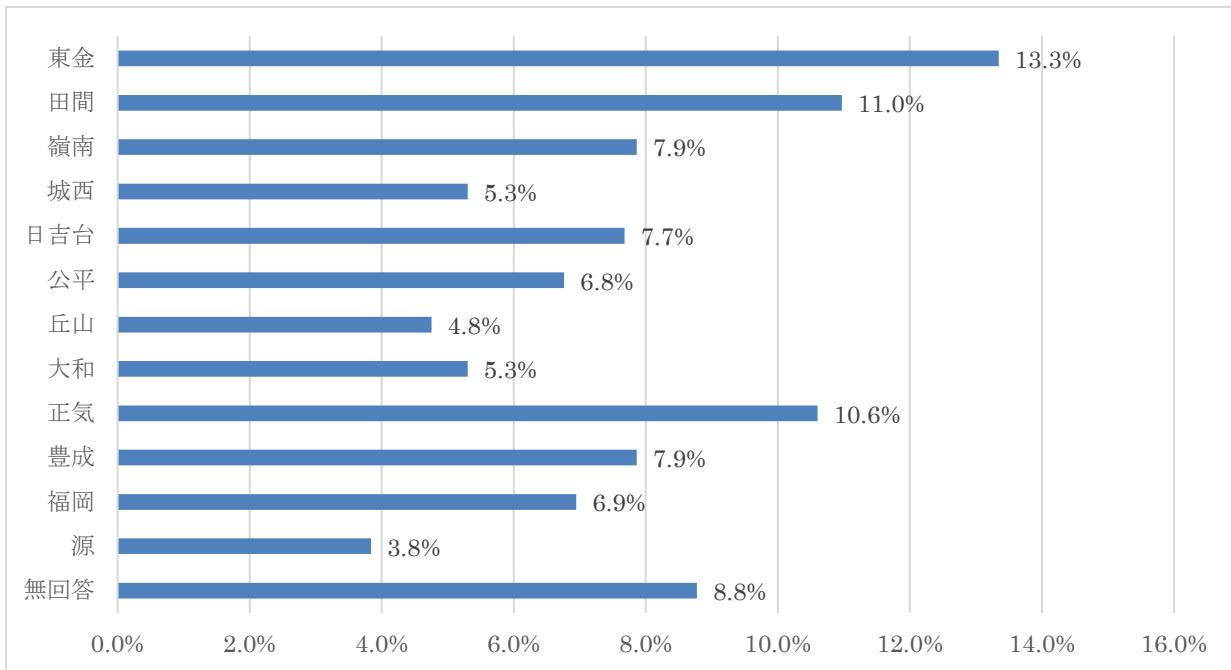
(3)職業



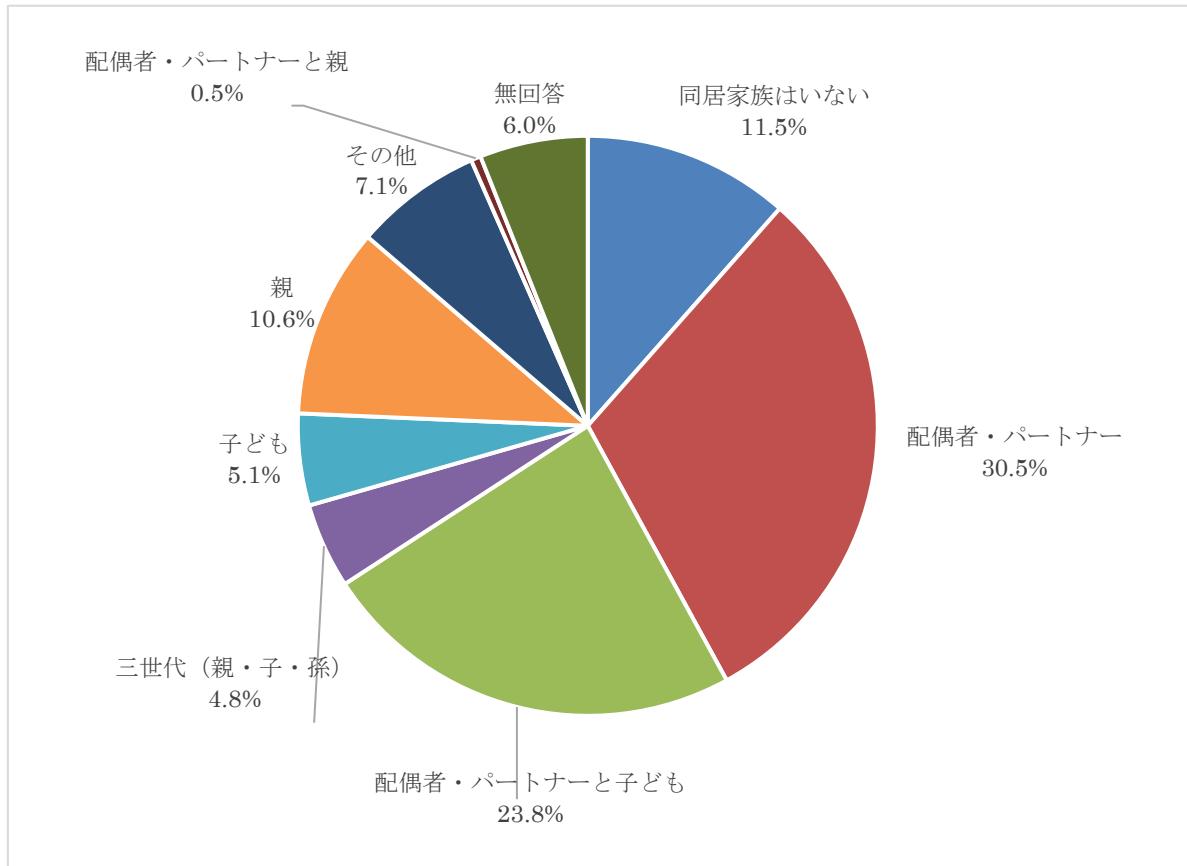
(4)居住年数



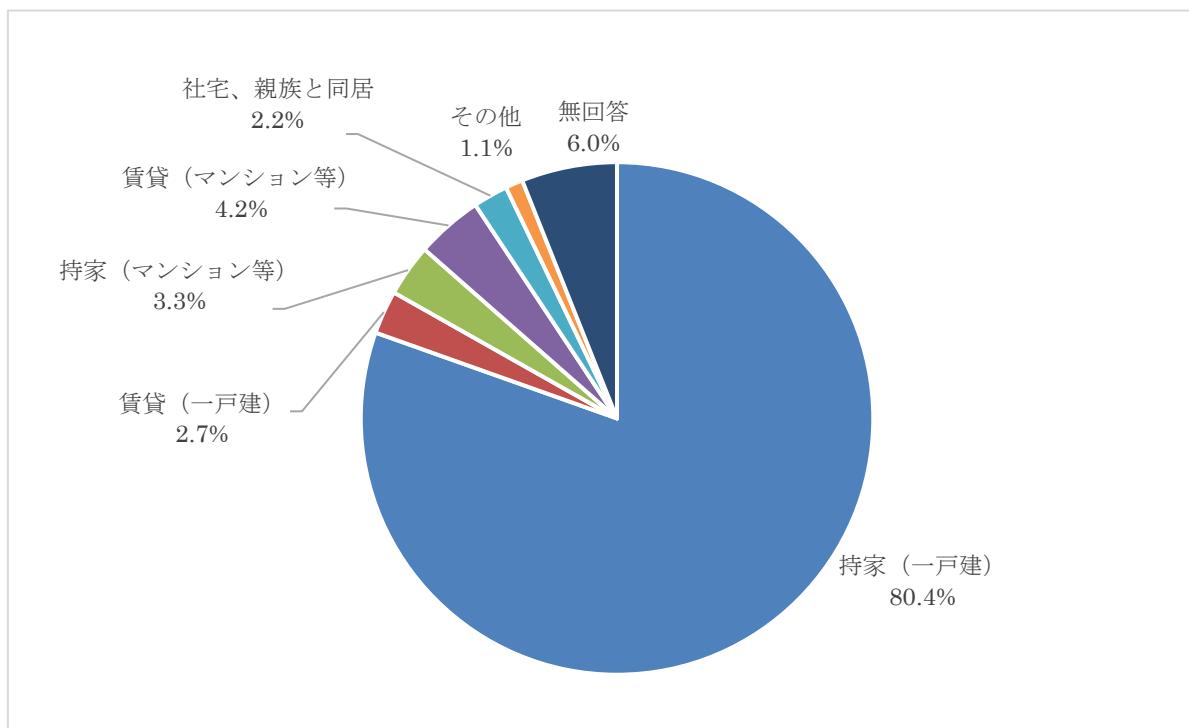
(5)居住地区



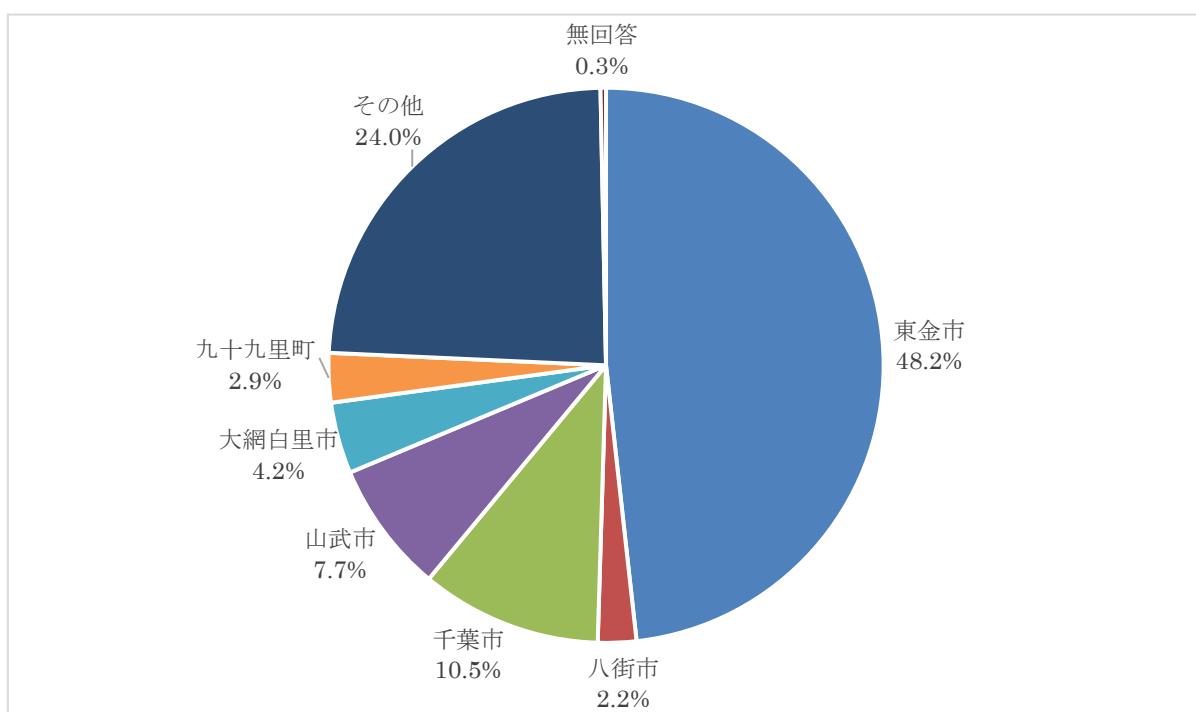
(6)家族構成



(7)住まいの形態



(8)勤務地



II 調査結果

1 東金市の住みごこちなどについて

(1) 市に対する愛着度

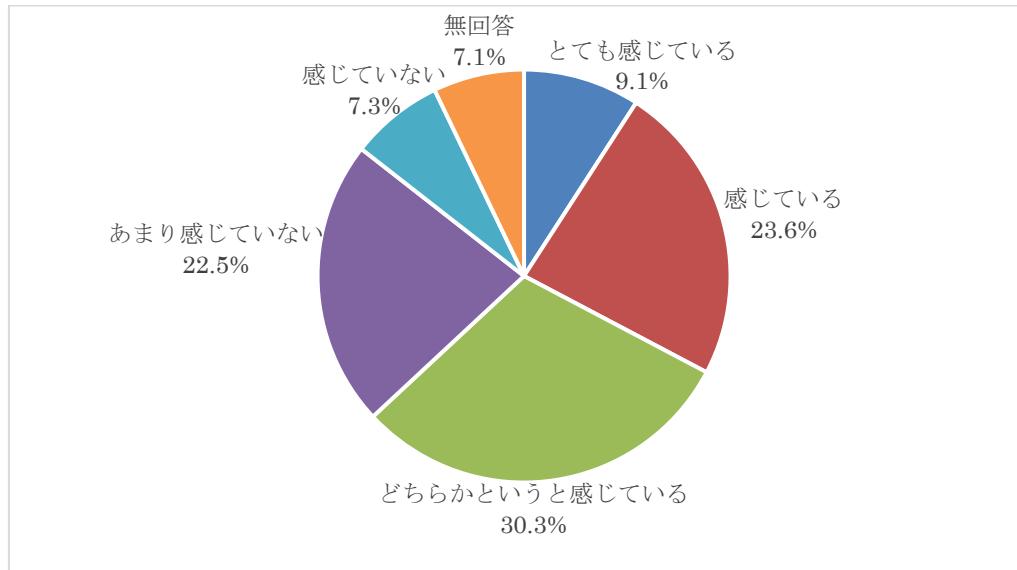
問7 東金市に「わたしのまち(My City)」といった愛着や親しみを感じていますか。

▼
“感じている”が63%、“感じていない”が29.8%。

市民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着や親しみを「とても感じている」、「感じている」、「どちらかというと感じている」、「あまり感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかというと感じている」と答えた人が30.3%で最も多く、これに「とても感じている」(9.1%)、「感じている」(23.6%)をあわせた“感じている”という人が63%となっています。これに対し、“感じていない”という人（「あまり感じていない」(22.5%)と「感じていない」(7.3%)の合計）は29.8%となっています。

図表1 市に対する愛着度(全体)



図表2 過去からのアンケート結果推移(全体)

	とても感じている	感じている	どちらかとい うと感じて いる	あまり感じて いない	感じてない い
第29回	9.1%	23.6%	30.3%	22.5%	7.3%
第28回	11.9%	30.3%	28.4%	21.4%	6.7%
第27回	10.3%	30.9%	27.1%	24.6%	5.9%
第26回	10.7%	50.2%		29.6%	7.5%
第25回	11.1%	51.6%		25.2%	5.8%

図表 3 市に対する愛着度(全体、属性別)

		合計 (人)	とても 感じて いる	感じて いる	どちら かと いうと 感じて いる	あまり 感じて いない	感じて いない	無回答
	全体	547	9.1%	23.6%	30.3%	22.5%	7.3%	7.1%
性別	男性	239	11.7%	28.0%	28.5%	22.2%	9.2%	0.4%
	女性	271	8.1%	22.5%	36.2%	24.4%	6.3%	2.6%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	93.9%
年齢	10 歳代	7	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
	20 歳代	26	19.2%	19.2%	23.1%	15.4%	23.1%	0.0%
	30 歳代	56	3.6%	16.1%	39.3%	26.8%	12.5%	1.8%
	40 歳代	66	6.1%	21.2%	47.0%	19.7%	4.5%	1.5%
	50 歳代	84	11.9%	23.8%	39.3%	19.0%	6.0%	0.0%
	60 歳代	113	4.4%	26.5%	33.6%	27.4%	7.1%	0.9%
	70 歳代	130	9.2%	24.6%	20.8%	26.2%	6.2%	13.1%
	80 歳以上	48	20.8%	31.3%	18.8%	18.8%	4.2%	6.3%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	94.1%
居住地区	東金地区	73	21.9%	38.4%	13.7%	19.2%	5.5%	1.4%
	田間地区	60	10.0%	33.3%	26.7%	20.0%	8.3%	1.7%
	嶺南地区	43	9.3%	25.6%	20.9%	34.9%	7.0%	2.3%
	城西地区	29	6.9%	20.7%	34.5%	24.1%	10.3%	3.4%
	日吉台地区	42	4.8%	33.3%	19.0%	33.3%	9.5%	0.0%
	公平地区	37	5.4%	27.0%	32.4%	21.6%	10.8%	2.7%
	丘山地区	26	7.7%	34.6%	19.2%	15.4%	0.0%	23.1%
	大和地区	29	17.2%	13.8%	27.6%	31.0%	10.3%	0.0%
	正気地区	58	6.9%	31.0%	31.0%	20.7%	8.6%	1.7%
	豊成地区	43	9.3%	34.9%	27.9%	18.6%	4.7%	4.7%
	福岡地区	38	0.0%	21.1%	13.2%	10.5%	5.3%	50.0%
	源地区	21	0.0%	23.8%	9.5%	33.3%	9.5%	23.8%
	無回答	48	6.3%	37.5%	29.2%	18.8%	6.3%	2.1%

(2)今後の定住意向

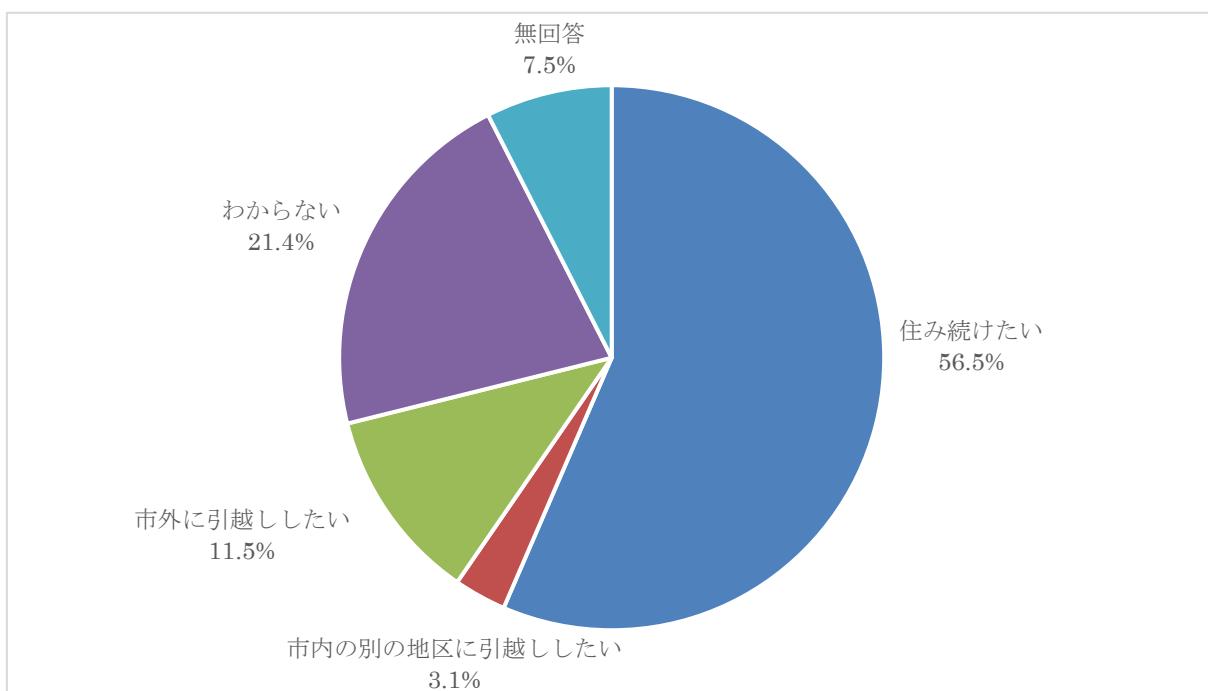
問 10 現在のお住まいに住み続けたいとおもいますか。



「住み続けたい」が 56.5%、 “移りたい” が 14.6%。

今後の定住意向については、「住み続けたい」と答えた人が 56.5%となっています。これに対し、「移りたい」（「市外に移りたい」（11.5%）と「市内の他の地区に移りたい」（3.1%）の合計）と答えた人は 14.6%となっています。なお、「わからない」は 21.4%となっています。

図表 4 今後の定住意向(全体)



図表 5 過去からのアンケート結果推移(全体)

	住み続けたい	市内の他の地区 に移りたい	市外に移りたい	わからない
第 29 回	56.5%	3.1%	11.5%	21.4%
第 28 回	58.9%	2.6%	7.6%	28.8%
第 27 回	56.4%	2.3%	9.8%	29.8%
第 26 回	56.2%	3.0%	9.5%	29.6%
第 25 回	57.5%	2.1%	8.5%	29.0%

図表 6 今後の定住意向(全体、属性別)

		合計 (人)	住み続け たい	市内の 別の 地区に 引越し したい	市外に 引越し したい	わから ない	無回答
	全体	547	56.5%	3.1%	11.5%	21.4%	7.5%
性別	男性	239	64.0%	2.9%	9.2%	20.5%	3.3%
	女性	271	56.5%	3.7%	14.0%	24.0%	1.8%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	9.1%	0.0%	0.0%	6.1%	84.8%
年齢	10 歳代	7	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
	20 歳代	26	42.3%	7.7%	30.8%	15.4%	3.8%
	30 歳代	56	55.4%	3.6%	16.1%	25.0%	0.0%
	40 歳代	66	63.6%	6.1%	9.1%	19.7%	1.5%
	50 歳代	84	57.1%	3.6%	10.7%	28.6%	0.0%
	60 歳代	113	51.3%	1.8%	15.0%	27.4%	4.4%
	70 歳代	130	62.3%	0.8%	8.5%	15.4%	13.1%
	80 歳以上	48	66.7%	6.3%	4.2%	14.6%	8.3%
	無回答	17	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%	76.5%
居住地区	東金地区	73	72.6%	1.4%	5.5%	20.5%	0.0%
	田間地区	60	65.0%	5.0%	10.0%	20.0%	0.0%
	嶺南地区	43	67.4%	0.0%	14.0%	18.6%	0.0%
	城西地区	29	65.5%	6.9%	6.9%	17.2%	3.4%
	日吉台地区	42	40.5%	2.4%	21.4%	35.7%	0.0%
	公平地区	37	62.2%	0.0%	16.2%	21.6%	0.0%
	丘山地区	26	50.0%	0.0%	11.5%	15.4%	23.1%
	大和地区	29	62.1%	3.4%	17.2%	17.2%	0.0%
	正気地区	58	67.2%	6.9%	8.6%	15.5%	1.7%
	豊成地区	43	48.8%	7.0%	16.3%	27.9%	0.0%
	福岡地区	38	26.3%	2.6%	10.5%	15.8%	44.7%
	源地区	21	33.3%	0.0%	19.0%	23.8%	23.8%
	無回答	48	43.8%	2.1%	4.2%	27.1%	22.9%

(3)市の住みやすさについて

問11 東金市は住みやすいまちですか。

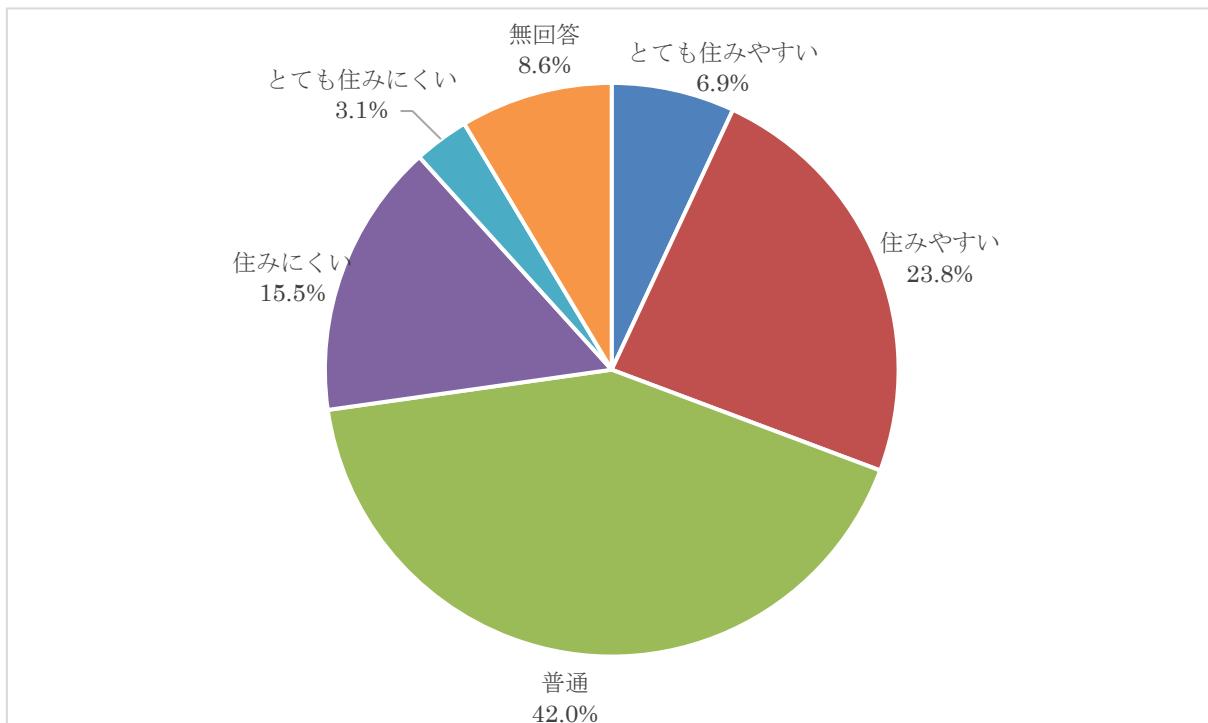


“住みやすい”が30.7%、“住みにくい”が18.6%。

市民がまちの住みやすさをどのように感じているかを把握するため、「とても住みやすい」、「住みやすい」、「普通」、「住みにくい」、「とても住みにくい」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「普通」(42.0%)が最も多い、次いで「住みやすい」(23.8%)が続き、これと「とても住みやすい」(6.9%)をあわせた“住みやすい”という人が30.7%となっています。一方、“住みにくい”という人(「住みにくい」(15.5%)と「とても住みにくい」(3.1%)の合計)は18.6%となっています。

図表7 市の住みやすさについて(全体)



図表8 過去からのアンケート結果推移(全体)

	とても 住みやすい	住みやすい	普通	住みにくい	とても 住みにくい
第29回	6.9%	23.8%	42.0%	15.5%	3.1%
第28回	6.7%	30.5%	41.1%	16.9%	3.5%
第27回	5.9%	23.9%	47.5%	18.2%	3.7%
第26回	6.0%	28.7%	43.9%	18.5%	2.7%
第25回	7.4%	26.4%	48.1%	14.3%	2.2%

図表 9 市の住みやすさについて(全体、属性別)

		合計 (人)	とても 住みや すい	住みや すい	普通	住みに くい	とても 住みに くい	無回答
	全体	547	6.9%	23.8%	42.0%	15.5%	3.1%	8.6%
性別	男性	239	10.0%	27.2%	44.8%	11.7%	2.1%	4.2%
	女性	271	5.2%	23.6%	45.0%	19.9%	3.7%	2.6%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	3.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	26	3.8%	26.9%	42.3%	7.7%	15.4%	3.8%
	30歳代	56	1.8%	19.6%	57.1%	19.6%	1.8%	0.0%
	40歳代	66	10.6%	27.3%	51.5%	6.1%	3.0%	1.5%
	50歳代	84	8.3%	31.0%	41.7%	15.5%	3.6%	0.0%
	60歳代	113	6.2%	24.8%	38.9%	23.0%	3.5%	3.5%
	70歳代	130	5.4%	19.2%	40.8%	16.9%	1.5%	16.2%
	80歳以上	48	14.6%	27.1%	33.3%	14.6%	0.0%	10.4%
	無回答	17	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	88.2%
居住地区	東金地区	73	16.4%	26.0%	42.5%	15.1%	0.0%	0.0%
	田間地区	60	8.3%	36.7%	36.7%	11.7%	5.0%	1.7%
	嶺南地区	43	9.3%	25.6%	44.2%	20.9%	0.0%	0.0%
	城西地区	29	3.4%	27.6%	51.7%	13.8%	0.0%	3.4%
	日吉台地区	42	0.0%	21.4%	45.2%	26.2%	4.8%	2.4%
	公平地区	37	5.4%	24.3%	51.4%	10.8%	2.7%	5.4%
	丘山地区	26	11.5%	11.5%	30.8%	23.1%	0.0%	23.1%
	大和地区	29	6.9%	20.7%	48.3%	10.3%	13.8%	0.0%
	正気地区	58	6.9%	27.6%	41.4%	17.2%	3.4%	3.4%
	豊成地区	43	4.7%	23.3%	48.8%	18.6%	2.3%	2.3%
	福岡地区	38	0.0%	21.1%	23.7%	5.3%	2.6%	47.4%
	源地区	21	4.8%	0.0%	38.1%	23.8%	9.5%	23.8%
	無回答	48	4.2%	18.8%	43.8%	10.4%	2.1%	20.8%

(4)住みにくい理由

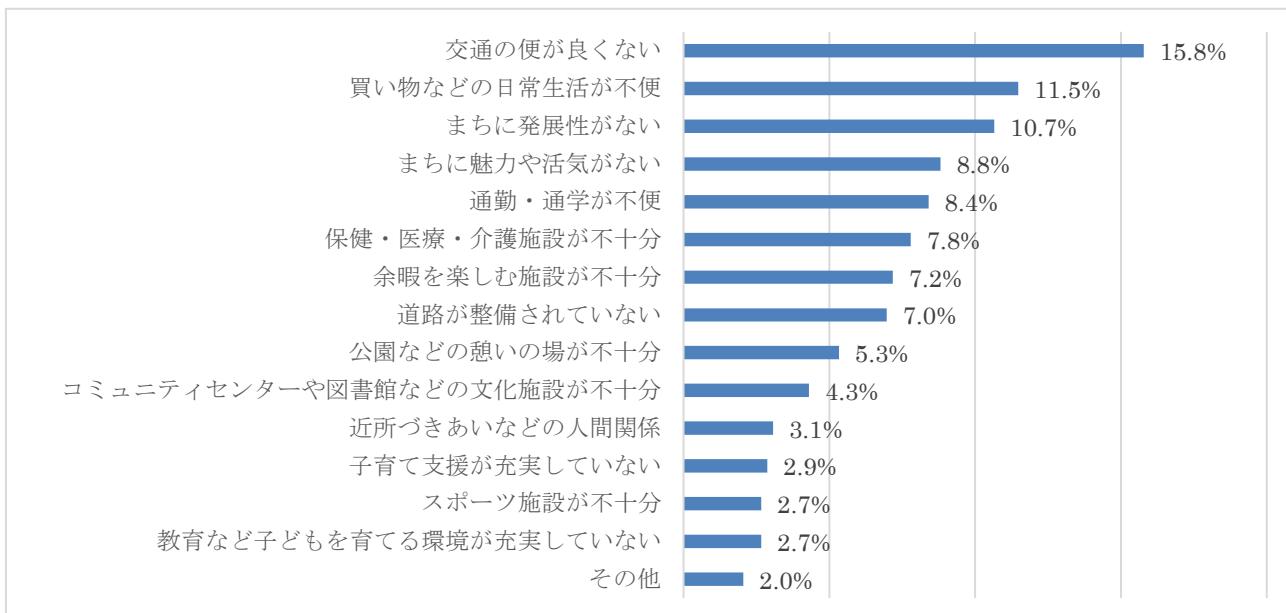
問12 住みにくい主な理由について、あてはまるものをすべて選んでください。



「交通の便が良くない」が第1位。次いで「買い物などの日常生活が不便」、「まちに発展性がない」の順。

問11で“住みにくい”と答えた102人（全体の18.6%）に、住みにくい主な理由についてたずねたところ、「交通の便がよくない」（15.8%）が第1位にあげられ、次いで「買い物などの日常生活が不便」（11.5%）、「まちに発展性がない」（10.7%）が上位3項目となっています。

図表 10 住みにくい理由(全体／複数回答)



図表 11 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	交通の便が良くない 15.8%	買い物などの日常生活が不便 11.5%	まちに発展性がない 10.7%
第28回	交通の便が良くない 66.4%	買い物などの日常生活が不便 40.9%	まちに魅力や活気がない 26.4%
第27回	交通の便が良くない 61.6%	買い物などの日常生活が不便 34.4%	まちに発展性がない 33.6%
第26回	交通の便が良くない 56.7%	まちに発展性がない 34.8%	まちに魅力や活気がない 29.1%
第25回	交通の便が良くない 59.5%	まちに魅力や活気がない 32.4%	買い物などの日常生活が不便 29.7%

図表 12 住みにくい理由(全体、属性別)

		合計 (人)	交通の便が 良くない	買い物などの日 常生活が不便	まちに 発展性がない
	全体	102	15.8%	11.5%	10.7%
性別	男性	33	13.5%	8.4%	11.0%
	女性	64	17.4%	13.4%	10.7%
	選べない・答えたくない	4	13.0%	8.7%	8.7%
	無回答	1	9.1%	9.1%	9.1%
年齢	10 歳代	0			
	20 歳代	6	16.7%	13.9%	8.3%
	30 歳代	12	19.4%	6.5%	9.7%
	40 歳代	6	17.1%	8.6%	11.4%
	50 歳代	16	23.2%	8.7%	13.0%
	60 歳代	30	18.9%	8.2%	11.3%
	70 歳代	24	21.1%	15.8%	7.9%
	80 歳以上	7	25.9%	22.2%	7.4%
	無回答	1	9.1%	9.1%	9.1%
居住地区	東金地区	11	9.8%	13.7%	13.7%
	田間地区	7	9.8%	13.1%	11.5%
	嶺南地区	9	3.3%	11.5%	9.8%
	城西地区	4	0.0%	16.7%	16.7%
	日吉台地区	13	14.3%	22.4%	10.2%
	公平地区	5	10.3%	13.8%	10.3%
	丘山地区	6	13.5%	16.2%	10.8%
	大和地区	7	15.2%	15.2%	6.1%
	正気地区	12	13.5%	15.4%	11.5%
	豊成地区	9	16.9%	15.3%	6.8%
	福岡地区	3	7.7%	7.7%	7.7%
	源地区	7	25.0%	16.7%	8.3%
	無回答	6	9.7%	12.9%	12.9%

(5)居住地に求める条件

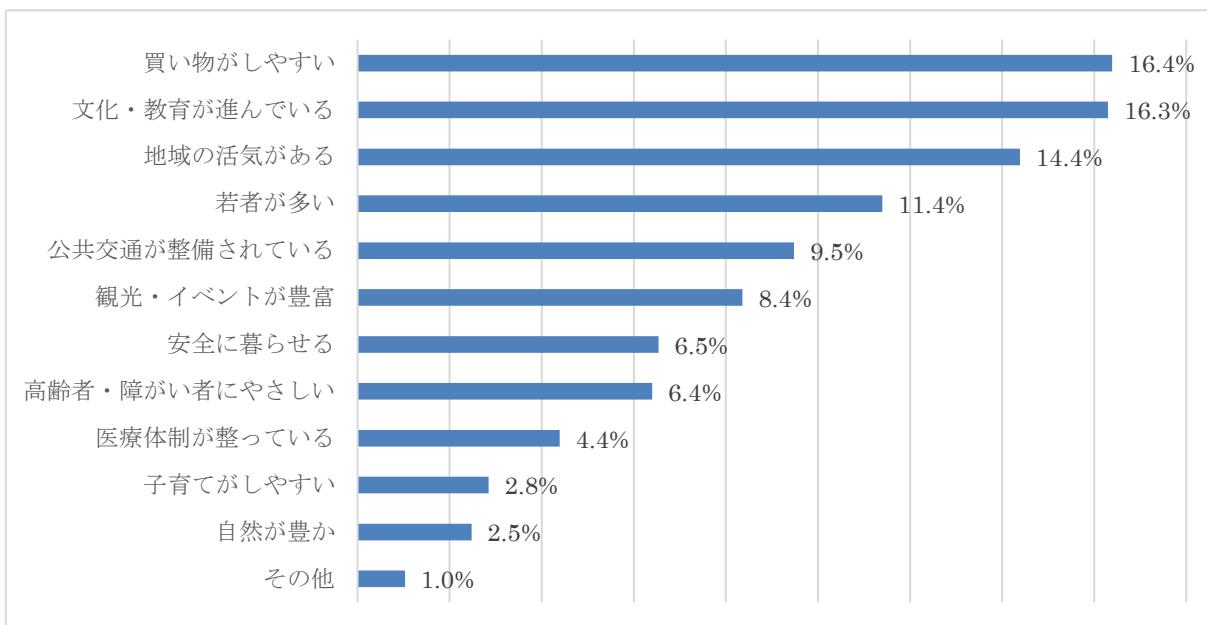
問13 居住地に求める条件はどのようなことですか。



「買い物がしやすい」が第1位。次いで「文化・教育が進んでいる」、「地域の活気がある」の順。

居住地に求める条件については、「買い物がしやすい」(16.4%)が最も多く、次いで「文化・教育が進んでいる」(16.3%)、「地域の活気がある」(14.4%)が上位3項目となっています。

図表 13 居住地に求める条件(全体／複数回答)



図表 14 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	買い物がしやすい	文化・教育が進んでいる	地域の活気がある
	16.4%	16.3%	14.4%
第28回	医療体制が整っている	安全に暮らせる	公共交通が整備されている
	56.1%	46.7%	39.4%
第27回	医療体制が整っている	安全に暮らせる	公共交通が整備されている、買い物がしやすい
	62.0%	46.8%	39.1%
第26回	医療体制が整っている	安全に暮らせる	公共交通が整備されている
	59.5%	45.7%	41.4%
第25回	医療体制が整っている	安全に暮らせる	買い物がしやすい
	56.9%	49.8%	39.2%

図表 15 居住地に求める条件(全体、属性別)

		合 計 (人)	買い物が しやすい	安全に暮らせる	医療体制が 整っている
	全体	547	16.4%	16.3%	14.4%
性 別	男性	239	16.7%	16.7%	14.7%
	女性	271	16.1%	16.1%	14.2%
	選べない・答えたくない	4	18.8%	18.8%	12.5%
	無回答	33	18.8%	6.3%	12.5%
年 齢	10 歳代	7	17.2%	17.2%	13.8%
	20 歳代	26	18.3%	14.4%	11.5%
	30 歳代	56	15.4%	15.0%	14.0%
	40 歳代	66	17.3%	15.8%	13.3%
	50 歳代	84	17.2%	15.5%	14.7%
	60 歳代	113	15.6%	17.7%	15.6%
	70 歳代	130	16.2%	15.8%	15.3%
	80 歳以上	48	16.6%	20.2%	12.3%
	無回答	17	14.3%	7.1%	14.3%
居 住 地 区	東金地区	73	17.6%	16.6%	15.6%
	田間地区	60	17.0%	16.2%	15.4%
	嶺南地区	43	16.7%	17.3%	14.9%
	城西地区	29	17.1%	16.3%	11.4%
	日吉台地区	42	13.9%	15.0%	15.0%
	公平地区	37	16.0%	16.0%	13.6%
	丘山地区	26	14.8%	14.8%	17.0%
	大和地区	29	16.7%	17.5%	12.5%
	正気地区	58	16.1%	17.3%	14.5%
	豊成地区	43	17.4%	14.9%	12.8%
	福岡地区	38	12.8%	12.8%	15.1%
	源地区	21	20.9%	16.3%	16.3%
	無回答	48	16.2%	18.4%	13.4%

2 子育てについて

(1)子育てしやすいまちだと思うか

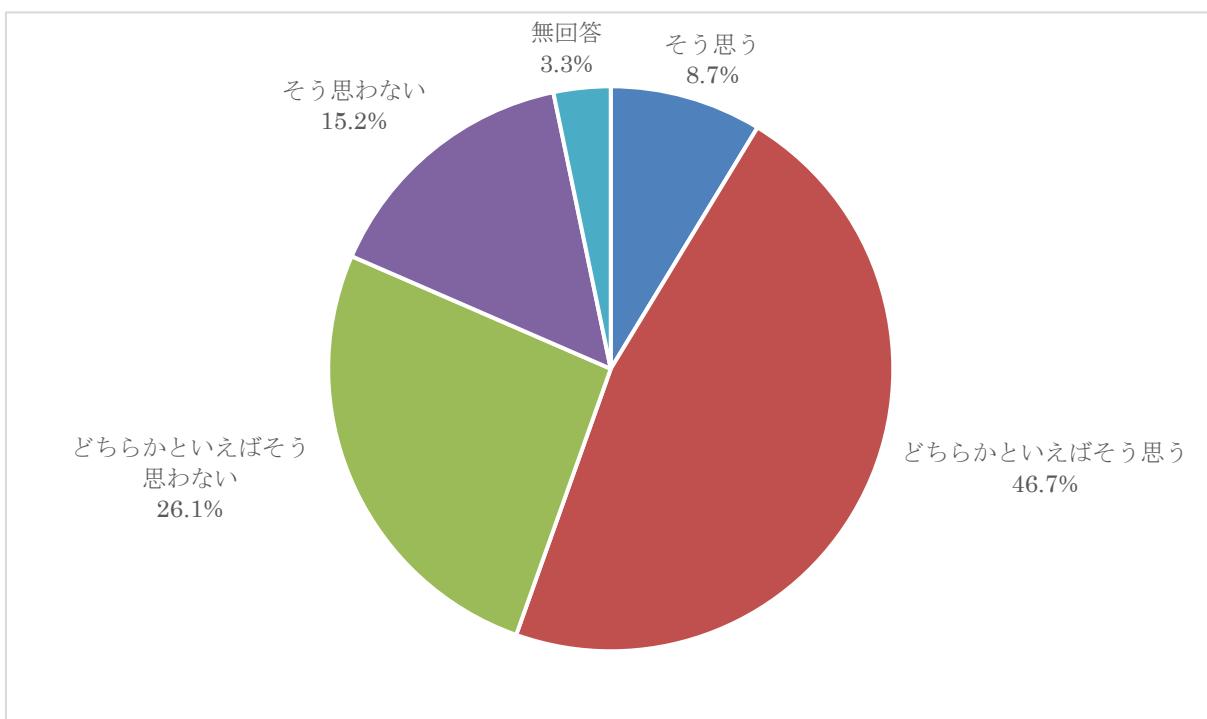
問33 東金市は子育てしやすいまちだと思いますか。



“そう思う”が55.4%、“そう思わない”が41.3%。

子育てのしやすさをたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」(46.7%)が最も多く、これに「そう思う」(8.7%)をあわせた“そう思う”という人が55.4%となっています。これに対し、“そう思わない”という人（「どちらかといえばそう思わない」(26.1%)と「そう思わない」(15.2%)の合計）は41.3%となっています。※養育中の子供がいる者のみの回答

図表 16 子育てしやすいまちだと思うか(全体)



図表 17 過去からのアンケート結果推移(全体)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
第29回	8.7%	46.7%	26.1%	15.2%
第28回	8.2%	47.8%	26.0%	9.9%
第27回	6.8%	47.6%	27.2%	11.0%
第26回	7.7%	45.9%	29.2%	8.4%
第25回	9.2%	49.9%	22.0%	8.2%

図表 18 子育てしやすいまちだと思うか(全体、属性別)

		合 計 (人)	そ う 思 う	ど ち ら か とい え ば そ う 思 う	ど ち ら か とい え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無回答
	全体	92	8.7%	46.7%	15.2%	26.1%	3.3%
性 別	男性	36	16.7%	50.0%	22.2%	8.3%	2.8%
	女性	53	3.8%	47.2%	26.4%	20.8%	1.9%
	選べない・答えたくない	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年 齢	10 歳代	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20 歳代	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	30 歳代	32	6.3%	43.8%	25.0%	25.0%	0.0%
	40 歳代	35	5.7%	54.3%	25.7%	11.4%	2.9%
	50 歳代	15	13.3%	46.7%	33.3%	6.7%	0.0%
	60 歳代	3	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
	70 歳代	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	80 歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
居 住 地 区	東金地区	13	15.4%	38.5%	15.4%	15.4%	15.4%
	田間地区	17	11.8%	58.8%	11.8%	17.6%	0.0%
	嶺南地区	11	18.2%	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%
	城西地区	7	0.0%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%
	日吉台地区	6	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%
	公平地区	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	丘山地区	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大和地区	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	正気地区	8	0.0%	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%
	豊成地区	7	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%
	福岡地区	4	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	源地区	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	12	8.3%	50.0%	41.7%	0.0%	0.0%

(2)子育てしづらいと感じる理由

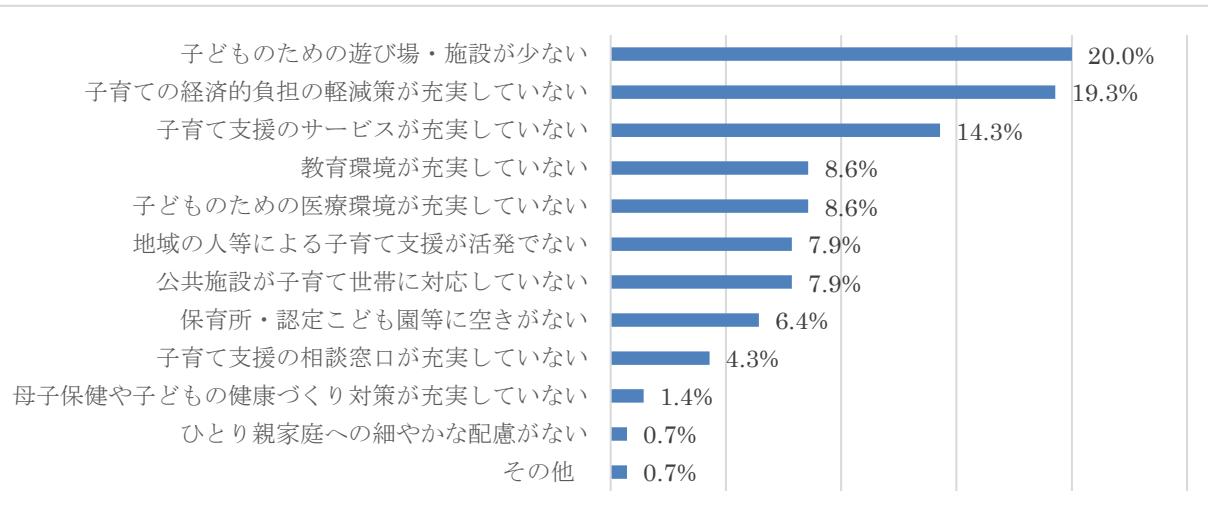
問 34 子育てしづらいと感じる主な理由をすべて選んでください。



「子どものための遊び場・施設が少ない」が第1位。次いで「子育ての経済的負担の軽減策が充実していない」、「子育て支援のサービスが充実していない」の順。

問 33 で“そう思わない”、“どちらかと言えばそう思わない”と答えた 38 人に、子育てしづらいと感じる主な理由についてたずねたところ、「子どものための遊び場・施設が少ない」(20.0%) が第 1 位にあげられ、次いで「子育ての経済的負担の軽減策が充実していない」(19.3%)、「子育て支援のサービスが充実していない」(14.3%) が上位 3 項目となっています。

図表 19 子育てしづらいと感じる理由



図表 20 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
第 29 回	子どものための遊び場・施設が少ない 20.0%	子育ての経済的負担の軽減策が充実していない 19.3%	子育て支援のサービスが充実していない 14.3%
第 28 回	子どものための遊び場・施設が少ない 30.6%	教育環境が充実していない 26.4%	子育て支援のサービスが充実していない 24.4%
第 27 回	子育て支援のサービスが充実していない 25.1%	子育ての経済的負担の軽減策が充実していない、子どものための遊び場・施設が少ない 24.2%	
第 26 回	子どものための遊び場・施設が少ない 34.4%	子育ての経済的負担の軽減策が充実していない 24.8%	教育環境が充実していない 22.8%
第 25 回	子どものための遊び場・施設が少ない 39.4%	教育環境が充実していない 24.6%	子育ての経済的負担の軽減策が充実していない 21.7%

図表 21 子育てしづらいと感じる理由(全体、属性別)

		合計 (人)	子どものための遊び場・施設が少ない	子育ての経済的負担の軽減策が充実していない	子育て支援のサービスが充実していない
	全体	38	20.0%	19.3%	14.3%
性別	男性	11	20.0%	22.9%	14.3%
	女性	25	20.2%	18.1%	13.8%
	選べない・答えたくない	2	20.0%	20.0%	20.0%
	無回答	0			
年齢	10歳代	0			
	20歳代	1	25.0%	25.0%	25.0%
	30歳代	16	20.9%	20.9%	14.9%
	40歳代	13	22.4%	20.4%	14.3%
	50歳代	6	7.1%	14.3%	7.1%
	60歳代	1	0.0%	0.0%	50.0%
	70歳代	1	0.0%	0.0%	0.0%
	80歳以上	0			
	無回答	1	100.0%	0.0%	0.0%
居住地区	東金地区	4	25.0%	25.0%	8.3%
	田間地区	5	20.0%	16.0%	20.0%
	嶺南地区	3	25.0%	25.0%	12.5%
	城西地区	4	13.0%	13.0%	13.0%
	日吉台地区	1	0.0%	0.0%	33.3%
	公平地区	2	33.3%	33.3%	16.7%
	丘山地区	0			
	大和地区	1	11.1%	11.1%	11.1%
	正気地区	6	29.4%	17.6%	11.8%
	豊成地区	4	23.1%	30.8%	7.7%
	福岡地区	2	20.0%	10.0%	20.0%
	源地区	0			
	無回答	5	14.3%	28.6%	14.3%

(3)子育てスタート支援事業補助金について

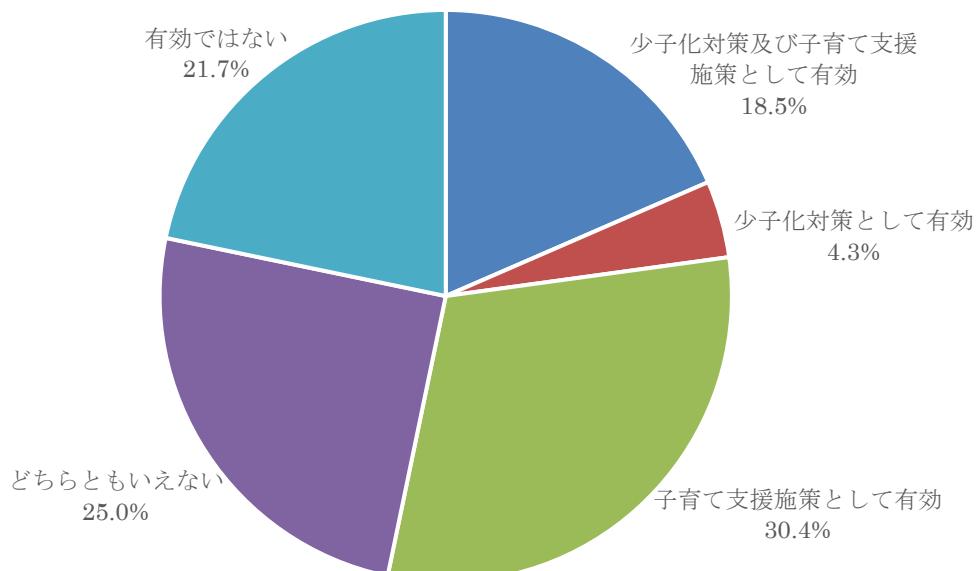
問35 東金市では、令和5年度から子どもの誕生を祝い健全な育成を支援するため、子どもを産み育てる世帯に対し、「子育てスタート支援事業補助金（出生児童1人につき5万円）」を支給していますが、この事業が少子化対策や子育て支援施策として有効だと考えますか。



“有効”が53.2%、「有効ではない」が21.7%。

子育てスタート支援事業補助金についてたずねたところ、「子育て支援施策として有効」と答えた人が30.4%で最も多く、これに「少子化対策及び子育て支援施策として有効」(18.5%)、「少子化対策として有効」(4.3%)をあわせた“有効”と答えた人が53.2%となっています。これに対し、「有効ではない」という人は21.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は25.0%となっています。

図表 22 子育てスタート支援事業補助金について(全体)



図表 23 過去からのアンケート結果推移(全体)

	少子化対策及び子育て支援施策として有効	少子化対策として有効	子育て支援施策として有効	どちらともいえない	有効ではない	無回答
第29回	18.5%	4.3%	30.4%	25.0%	21.7%	0.0%
第28回	11.3%	6.1%	21.7%	17.7%	13.0%	25.5%

図表 24 子育てスタート支援事業補助金について(全体、属性別)

		合計 (人)	少子化 対策及び 子育て 支援施策 として 有効	少子化 対策 として 有効	子育て 支援 施策 として 有効	どちら とも いえ ない	有効 では ない	無回答
	全体	92	18.5%	4.3%	30.4%	25.0%	21.7%	0.0%
性別	男性	36	27.8%	8.3%	27.8%	22.2%	13.9%	0.0%
	女性	53	13.2%	1.9%	32.1%	28.3%	24.5%	0.0%
	選べない・答えたくない	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
年齢	10歳代	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	5	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	32	12.5%	3.1%	28.1%	25.0%	31.3%	0.0%
	40歳代	35	20.0%	5.7%	40.0%	28.6%	5.7%	0.0%
	50歳代	15	20.0%	6.7%	13.3%	20.0%	40.0%	0.0%
	60歳代	3	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	70歳代	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	80歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
居住地区	東金地区	13	30.8%	7.7%	15.4%	7.7%	38.5%	0.0%
	田間地区	17	17.6%	11.8%	47.1%	23.5%	0.0%	0.0%
	嶺南地区	11	18.2%	0.0%	45.5%	18.2%	18.2%	0.0%
	城西地区	7	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%
	日吉台地区	6	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%
	公平地区	3	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	丘山地区	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大和地区	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	正気地区	8	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	50.0%	0.0%
	豊成地区	7	42.9%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
	福岡地区	4	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	源地区	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	12	16.7%	0.0%	41.7%	33.3%	8.3%	0.0%

3 市のにぎわいについて

(1)若者を中心とした市の活気について

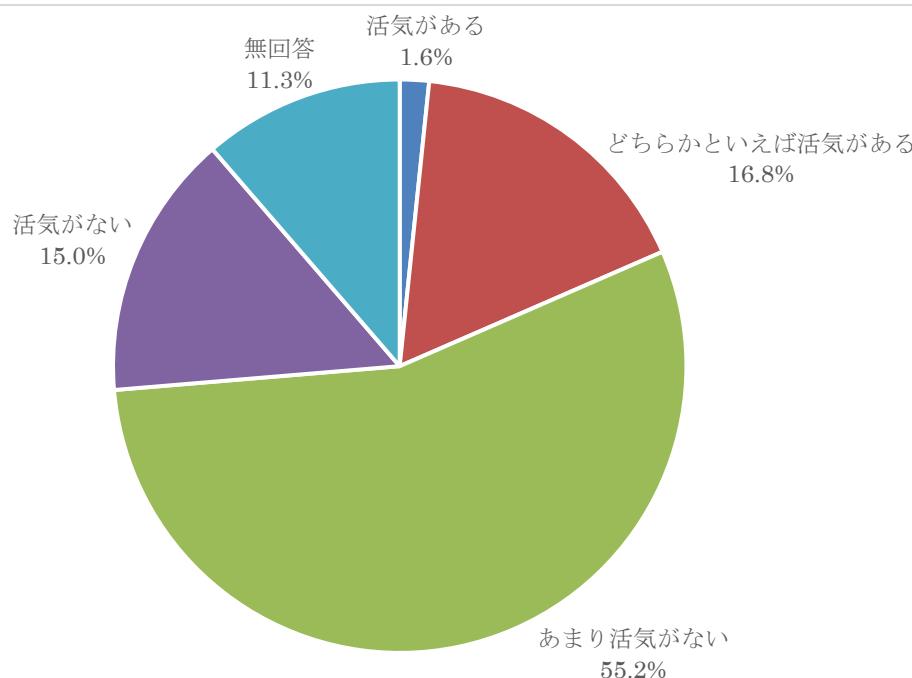
問23 学生などの若者を中心とした市の活気について、どのように感じていますか。



“活気がある”が18.4%、“活気がない”が70.2%。

学生などの若者を中心とした市の活気についてたずねたところ、“活気がある”（「活気がある」（1.6%）と「どちらかといえば活気がある」（16.8%）の合計）と答えた人は18.4%でした。これに対し、“活気がない”（「あまり活気がない」（55.2%）と「活気がない」（15.0%）の合計）は70.2%となっています。

図表 25 若者を中心とした市の活気について(全体)



図表 26 過去からのアンケート結果推移(全体)

	活気がある	どちらかといえば 活気がある	あまり活気がない	活気がない
第29回	1.6%	16.8%	55.2%	15.0%
第28回	3.0%	28.8%	54.5%	9.1%
第27回	2.6%	25.5%	57.8%	10.6%
第26回	2.4%	23.9%	58.9%	11.9%
第25回	3.0%	21.5%	58.7%	13.4%
第24回	2.3%	23.4%	59.6%	10.2%

図表 27 若者を中心とした市の活気について(全体、属性別)

		合 計 (人)	活 気 が あ る	ど ち ら か と い え ば 活 気 が あ る	あ ま り 活 気 が な い	活 気 が な い	無回答
	全体	547	1.6%	16.8%	55.2%	15.0%	11.3%
性 別	男性	239	2.5%	19.2%	59.8%	15.1%	3.3%
	女性	271	1.1%	16.2%	57.6%	16.6%	8.5%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%
	無回答	33	0.0%	3.0%	3.0%	3.0%	90.9%
年 齢	10歳代	7	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%
	20歳代	26	11.5%	26.9%	42.3%	15.4%	3.8%
	30歳代	56	0.0%	23.2%	60.7%	16.1%	0.0%
	40歳代	66	0.0%	28.8%	62.1%	7.6%	1.5%
	50歳代	84	1.2%	13.1%	71.4%	10.7%	3.6%
	60歳代	113	1.8%	12.4%	66.4%	13.3%	6.2%
	70歳代	130	0.8%	13.1%	41.5%	22.3%	22.3%
	80歳以上	48	2.1%	16.7%	50.0%	18.8%	12.5%
	無回答	17	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	88.2%
居住 地 区	東金地区	73	1.4%	23.3%	56.2%	16.4%	2.7%
	田間地区	60	1.7%	31.7%	45.0%	13.3%	8.3%
	嶺南地区	43	0.0%	9.3%	67.4%	20.9%	2.3%
	城西地区	29	0.0%	10.3%	44.8%	34.5%	10.3%
	日吉台地区	42	2.4%	9.5%	61.9%	16.7%	9.5%
	公平地区	37	2.7%	16.2%	64.9%	13.5%	2.7%
	丘山地区	26	0.0%	15.4%	57.7%	3.8%	23.1%
	大和地区	29	3.4%	10.3%	55.2%	31.0%	0.0%
	正気地区	58	3.4%	25.9%	53.4%	8.6%	8.6%
	豊成地区	43	2.3%	16.3%	60.5%	9.3%	11.6%
	福岡地区	38	2.6%	0.0%	42.1%	5.3%	50.0%
	源地区	21	0.0%	9.5%	42.9%	23.8%	23.8%
	無回答	48	0.0%	16.7%	60.4%	10.4%	12.5%

(2) 観光及びイベントのPRが積極的に行われていると思うか

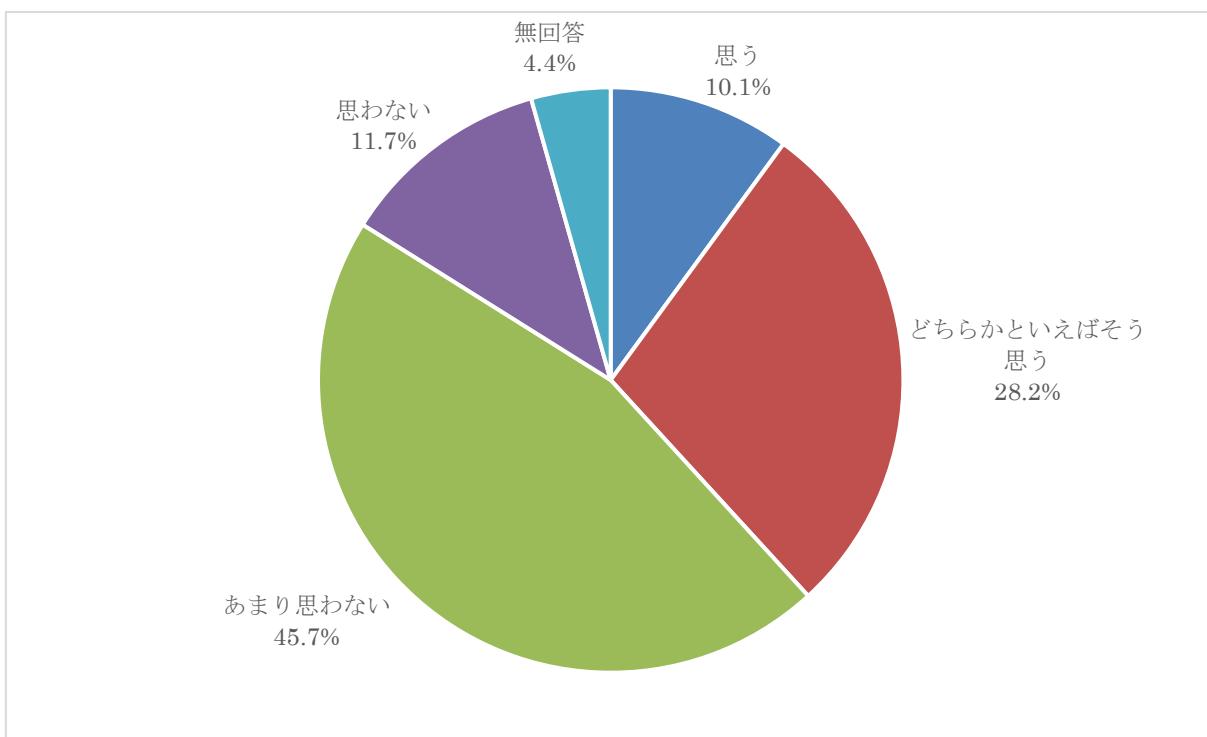
問 24 東金市の観光及びイベントのPRについて積極的に行われていると思いますか。



「思う」が38.3%、「思わない」が57.4%。

市の観光及びイベントのPRについて積極的に行われていると思うかたずねたところ、「思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は38.3%でした。これに対し、「あまり思わない」、「思わない」は57.4%となっています。

図表 28 観光及びイベントのPRが積極的に行われていると思うか(全体)



図表 29 過去からのアンケート結果推移(全体)

	思う	どちらかといえば そう思う	あまり思わない	思わない
第29回	10.1%	28.2%	45.7%	11.7%
第28回		27.9%		67.7%
第27回		20.2%		77.0%
第26回		20.9%		77.1%
第25回		17.2%		79.8%

図表 30 観光及びイベントのPRが積極的に行われていると思うか(全体、属性別)

		合 計 (人)	思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	無回答
	全体	547	10.1%	28.2%	45.7%	11.7%	4.4%
性 別	男性	239	10.5%	26.8%	47.3%	12.6%	2.9%
	女性	271	10.3%	26.9%	45.0%	11.8%	5.9%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	51.5%	39.4%	3.0%	3.0%
年 齢	10歳代	7	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%
	20歳代	26	19.2%	26.9%	38.5%	15.4%	0.0%
	30歳代	56	10.7%	21.4%	51.8%	16.1%	0.0%
	40歳代	66	13.6%	34.8%	42.4%	9.1%	0.0%
	50歳代	84	9.5%	23.8%	54.8%	8.3%	3.6%
	60歳代	113	9.7%	26.5%	47.8%	10.6%	5.3%
	70歳代	130	5.4%	29.2%	43.1%	14.6%	7.7%
	80歳以上	48	16.7%	29.2%	33.3%	10.4%	10.4%
	無回答	17	0.0%	35.3%	58.8%	5.9%	0.0%
居 住 地 区	東金地区	73	9.6%	30.1%	47.9%	11.0%	1.4%
	田間地区	60	11.7%	31.7%	36.7%	15.0%	5.0%
	嶺南地区	43	4.7%	32.6%	51.2%	11.6%	0.0%
	城西地区	29	10.3%	37.9%	37.9%	10.3%	3.4%
	日吉台地区	42	11.9%	19.0%	57.1%	7.1%	4.8%
	公平地区	37	8.1%	18.9%	56.8%	13.5%	2.7%
	丘山地区	26	11.5%	30.8%	50.0%	0.0%	7.7%
	大和地区	29	17.2%	17.2%	37.9%	27.6%	0.0%
	正気地区	58	15.5%	24.1%	39.7%	13.8%	6.9%
	豊成地区	43	9.3%	27.9%	46.5%	9.3%	7.0%
	福岡地区	38	5.3%	39.5%	47.4%	5.3%	2.6%
	源地区	21	4.8%	42.9%	33.3%	19.0%	0.0%
	無回答	48	8.3%	20.8%	47.9%	10.4%	12.5%

(3) 東金市の誇れるものや魅力について

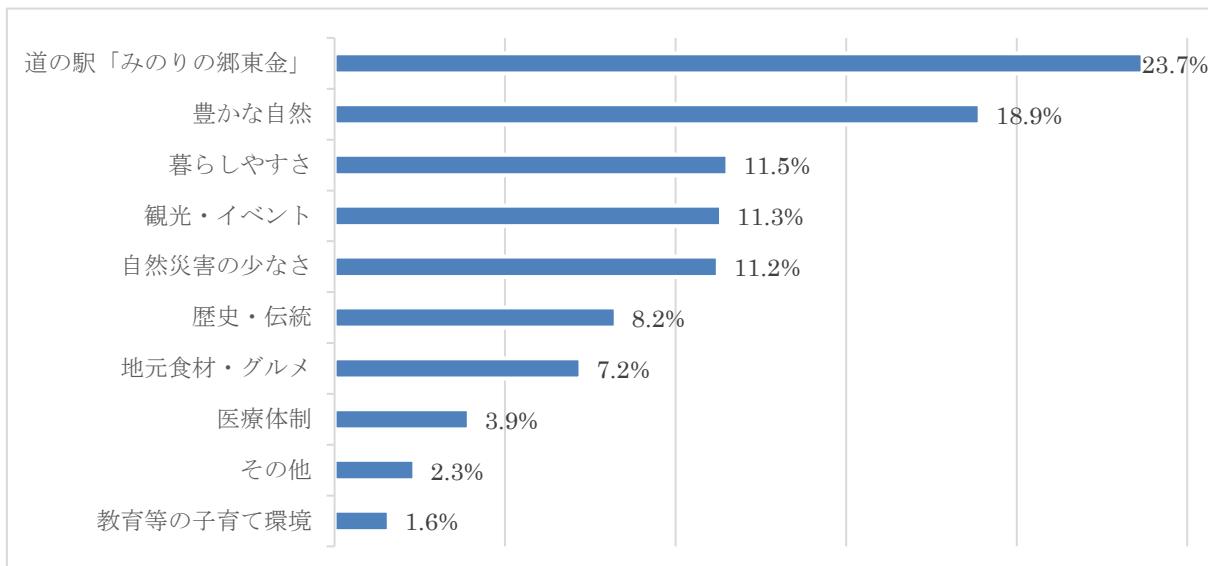
問 25 東金市が誇れるものや市外に発信できる魅力について、あてはまるものをすべて選んでください。



「道の駅「みのりの郷東金」」が第1位。次いで「豊かな自然」、「暮らしやすさ」の順。

東金市の誇れるものや魅力については、「道の駅「みのりの郷東金」」(23.7%)が最も多く、次いで「豊かな自然」(18.9%)、「暮らしやすさ」(11.5%)が上位3項目となっています。

図表 31 東金市の誇れるものや魅力について(全体／複数回答)



図表 32 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	道の駅「みのりの郷東金」	豊かな自然	暮らしやすさ
	23.7%	18.9%	11.5%
第28回	自然災害の少なさ	豊かな自然	道の駅「みのりの郷東金」
	42.4%	41.4%	39.4%
第27回	自然災害の少なさ	豊かな自然	道の駅「みのりの郷東金」
	49.4%	39.1%	37.3%
第26回	自然災害の少なさ	豊かな自然、道の駅「みのりの郷東金」	
	46.6%		42.0%
第25回	自然災害の少なさ	豊かな自然	道の駅「みのりの郷東金」
	47.7%	47.5%	30.0%

図表 33 東金市の誇れるものや魅力について(全体、属性別)

		合計 (人)	道の駅「みのり の郷東金」	豊かな自然	暮らしやすさ
	全体	547	23.7%	18.9%	11.5%
性別	男性	239	20.3%	17.7%	11.4%
	女性	271	26.4%	19.4%	11.9%
	選べない・答えたくない	4	75.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	30.0%	50.0%	0.0%
年齢	10歳代	7	15.8%	15.8%	10.5%
	20歳代	26	21.7%	13.3%	10.0%
	30歳代	56	29.1%	18.4%	9.7%
	40歳代	66	26.4%	18.9%	12.8%
	50歳代	84	29.1%	15.8%	12.7%
	60歳代	113	23.0%	18.9%	10.4%
	70歳代	130	19.2%	21.7%	13.3%
	80歳以上	48	20.2%	21.1%	9.6%
	無回答	17	50.0%	25.0%	0.0%
居住地区	東金地区	73	16.5%	14.2%	14.8%
	田間地区	60	28.6%	11.9%	15.9%
	嶺南地区	43	24.4%	19.2%	12.8%
	城西地区	29	18.4%	12.2%	20.4%
	日吉台地区	42	22.1%	9.1%	20.8%
	公平地区	37	31.9%	13.9%	20.8%
	丘山地区	26	19.1%	10.6%	21.3%
	大和地区	29	23.7%	5.1%	16.9%
	正気地区	58	25.8%	10.2%	17.2%
	豊成地区	43	29.1%	10.5%	20.9%
	福岡地区	38	27.5%	9.8%	27.5%
	源地区	21	21.9%	3.1%	28.1%
	無回答	48	20.7%	10.3%	25.3%

4 市の環境施策について

(1) 資源回収を活用しているか

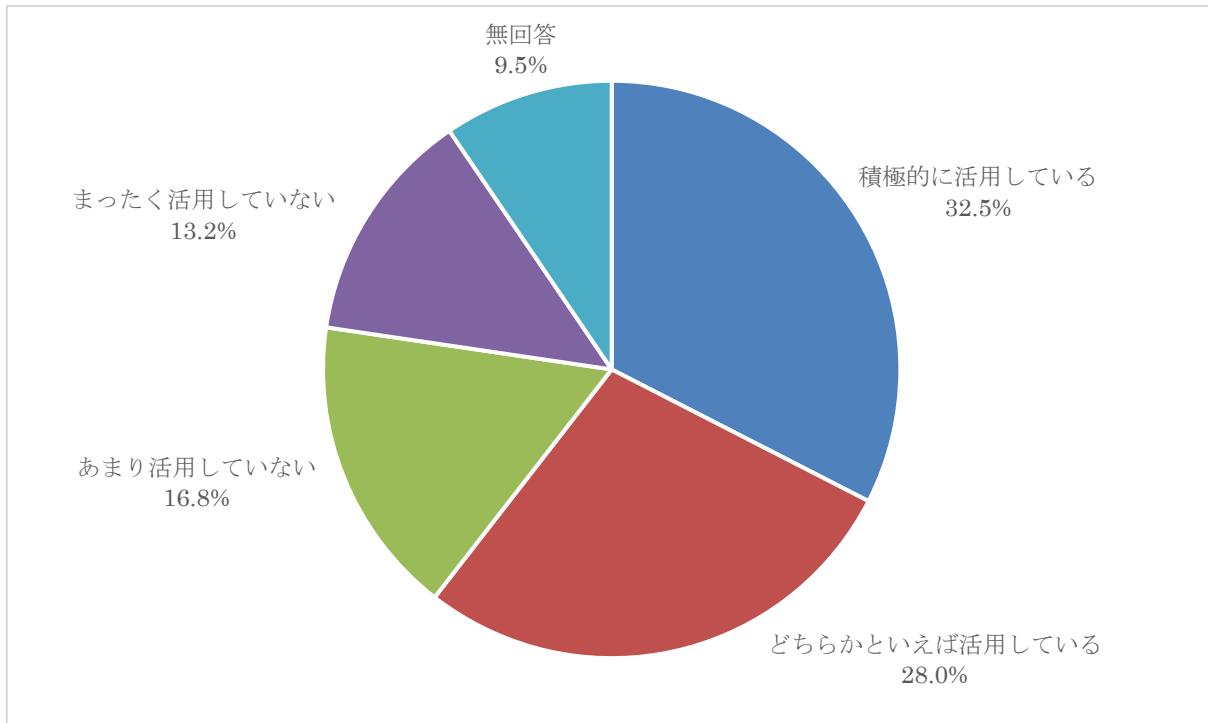
問 36 ごみの減量のため、リサイクル倉庫などの資源回収を活用していますか。



“活用している”が60.5%、“活用していない”が30.0%。

リサイクル倉庫などの資源回収の活用状況をたずねたところ、「積極的に活用している」(32.5%)が最も多く、次いで「どちらかといえば活用している」(28.0%)が続き、これらをあわせた“活用している”は60.5%となっています。一方、“活用していない”(「あまり活用していない」(16.8%)と「まったく活用していない」(13.2%)の合計)は30.0%となっています。

図表 34 資源回収を活用しているか(全体)



図表 35 過去からのアンケート結果推移(全体)

	積極的に活用している	どちらかといえば活用している	あまり活用していない	まったく活用していない
第29回	32.5%	28.0%	16.8%	13.2%
第28回	40.3%	30.7%	16.2%	11.0%
第27回	30.7%	32.8%	19.2%	14.3%
第26回	35.2%	29.9%	18.8%	15.0%
第25回	31.1%	34.5%	17.2%	15.8%

図表 36 資源回収を活用しているか(全体、属性別)

		合計 (人)	積極的に 活用して いる	どちらか といえば 活用して いる	あまり 活用して いない	まったく 活用して いない	無回答
	全体	547	32.5%	28.0%	16.8%	13.2%	9.5%
性別	男性	239	30.1%	31.8%	18.8%	15.1%	4.2%
	女性	271	37.3%	27.3%	16.2%	12.9%	6.3%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	12.1%	6.1%	6.1%	0.0%	75.8%
年齢	10歳代	7	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	15.4%	53.8%	11.5%	19.2%	0.0%
	30歳代	56	44.6%	26.8%	16.1%	10.7%	1.8%
	40歳代	66	33.3%	33.3%	18.2%	13.6%	1.5%
	50歳代	84	41.7%	26.2%	17.9%	11.9%	2.4%
	60歳代	113	29.2%	30.1%	18.6%	18.6%	3.5%
	70歳代	130	31.5%	23.1%	13.8%	12.3%	19.2%
	80歳以上	48	31.3%	25.0%	22.9%	8.3%	12.5%
	無回答	17	5.9%	11.8%	11.8%	0.0%	70.6%
居住地区	東金地区	73	32.9%	35.6%	13.7%	11.0%	6.8%
	田間地区	60	40.0%	30.0%	11.7%	16.7%	1.7%
	嶺南地区	43	41.9%	23.3%	16.3%	18.6%	0.0%
	城西地区	29	27.6%	34.5%	13.8%	13.8%	10.3%
	日吉台地区	42	33.3%	33.3%	21.4%	9.5%	2.4%
	公平地区	37	37.8%	18.9%	21.6%	18.9%	2.7%
	丘山地区	26	34.6%	15.4%	7.7%	15.4%	26.9%
	大和地区	29	48.3%	31.0%	10.3%	3.4%	6.9%
	正気地区	58	20.7%	29.3%	25.9%	19.0%	5.2%
	豊成地区	43	32.6%	30.2%	16.3%	9.3%	11.6%
	福岡地区	38	21.1%	23.7%	10.5%	5.3%	39.5%
	源地区	21	14.3%	14.3%	28.6%	19.0%	23.8%
	無回答	48	33.3%	27.1%	20.8%	10.4%	8.3%

5 市の公共交通（鉄道、バス、タクシー）について

（1）公共交通について

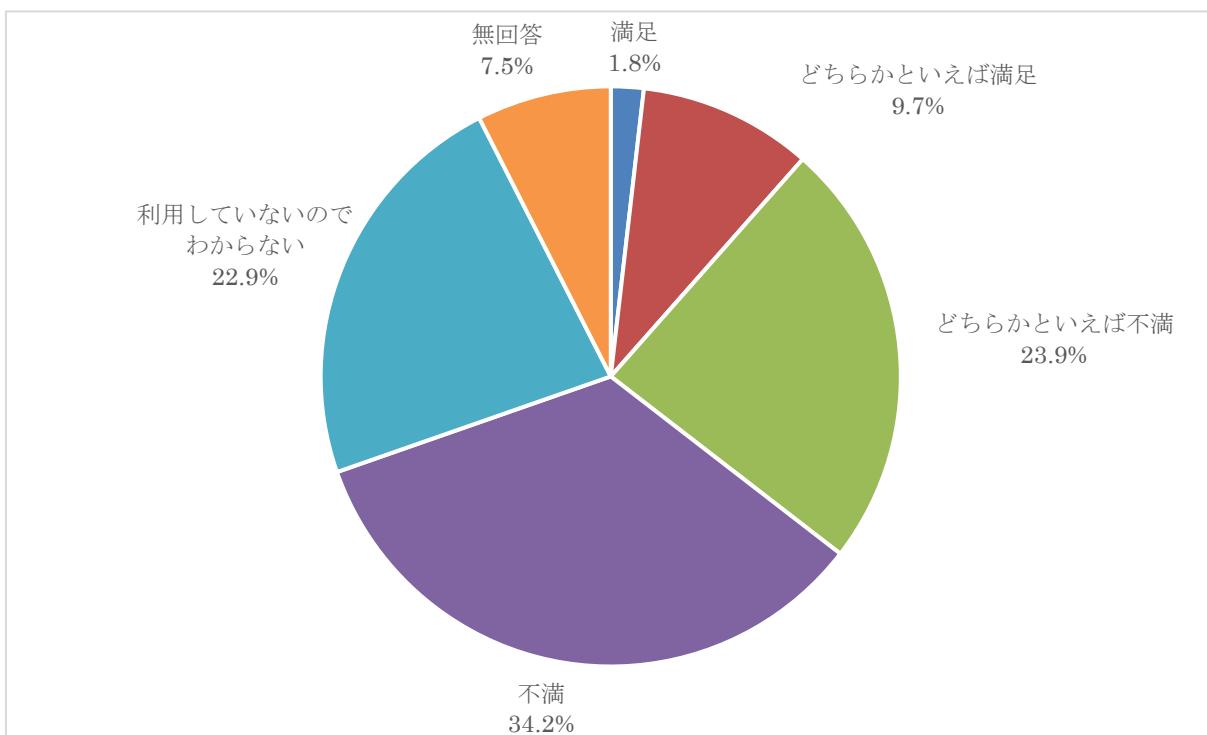
問37 東金市の公共交通について、どのように感じていますか。



“満足”が11.5%、“不満”が58.1%。

公共交通についてたずねたところ、“満足”（「満足している」1.8%と「どちらかといえば満足している」9.7%の合計）と答えた人は11.5%でした。これに対し、“不満”（「どちらかといえば不満」23.9%と「不満」34.2%の合計）は58.1%となっています。なお、「利用しないのでわからない」は22.9%となっています。

図表 37 公共交通について（全体）



図表 38 過去からのアンケート結果推移（全体）

	満足している	どちらかといえれば満足している	どちらかといえれば不満	不満	利用しないのでわからない
第29回	1.8%	9.7%	23.9%	34.2%	22.9%
第28回	2.8%	11.9%	26.0%	28.6%	27.9%
第27回	1.7%	12.0%	26.4%	27.2%	29.3%
第26回	2.9%	15.5%	26.2%	25.6%	28.1%
第25回	4.5%	24.2%	45.0%	21.7%	

図表 39 公共交通について(全体、属性別)

		合 計 (人)	満足	どちら かと いえば 満足	どちら かと いえば 不満	不満	利用 して いない ので わから ない	無回答
	全体	547	1.8%	9.7%	23.9%	34.2%	22.9%	7.5%
性 別	男性	239	2.1%	11.3%	28.9%	31.4%	22.6%	3.8%
	女性	271	1.5%	9.6%	22.1%	34.7%	25.8%	6.3%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	0.0%	3.0%	48.5%	0.0%	45.5%
年 齢	10歳代	7	0.0%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%
	20歳代	26	3.8%	19.2%	26.9%	42.3%	7.7%	0.0%
	30歳代	56	3.6%	7.1%	17.9%	39.3%	32.1%	0.0%
	40歳代	66	3.0%	12.1%	27.3%	27.3%	28.8%	1.5%
	50歳代	84	1.2%	7.1%	34.5%	36.9%	19.0%	1.2%
	60歳代	113	0.9%	8.0%	28.3%	40.7%	15.9%	6.2%
	70歳代	130	0.0%	6.2%	19.2%	29.2%	30.8%	14.6%
	80歳以上	48	6.3%	20.8%	16.7%	22.9%	25.0%	8.3%
	無回答	17	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	0.0%	47.1%
居 住 地 区	東金地区	73	0.0%	17.8%	20.5%	26.0%	27.4%	8.2%
	田間地区	60	3.3%	18.3%	25.0%	30.0%	21.7%	1.7%
	嶺南地区	43	0.0%	16.3%	20.9%	32.6%	30.2%	0.0%
	城西地区	29	0.0%	17.2%	31.0%	27.6%	24.1%	0.0%
	日吉台地区	42	0.0%	2.4%	21.4%	57.1%	11.9%	7.1%
	公平地区	37	5.4%	8.1%	24.3%	32.4%	29.7%	0.0%
	丘山地区	26	3.8%	3.8%	19.2%	42.3%	19.2%	11.5%
	大和地区	29	3.4%	13.8%	34.5%	31.0%	10.3%	6.9%
	正気地区	58	1.7%	6.9%	24.1%	34.5%	27.6%	5.2%
	豊成地区	43	2.3%	2.3%	20.9%	39.5%	27.9%	7.0%
	福岡地区	38	0.0%	2.6%	15.8%	26.3%	26.3%	28.9%
	源地区	21	4.8%	0.0%	23.8%	42.9%	14.3%	14.3%
	無回答	48	2.1%	4.2%	33.3%	33.3%	14.6%	12.5%

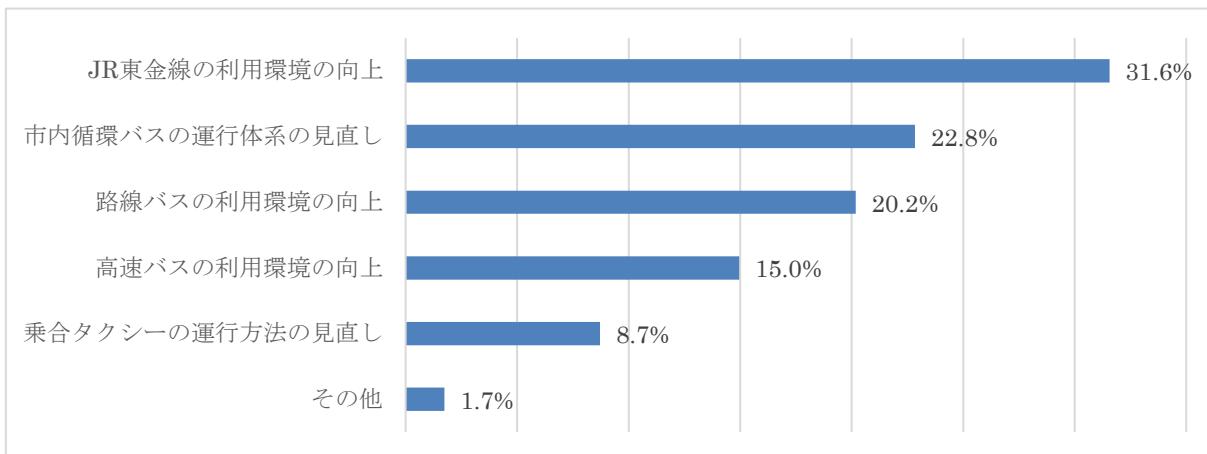
(2) 行政に実施してほしい公共交通施策

問 38 行政に実施してほしい公共交通施策について、あてはまるものをすべて選んでください。

▼
「JR東金線の利用環境の向上」が第1位。次いで「市内循環バスの運行体系の見直し」、「路線バスの利用環境の向上」の順。

行政に実施してほしい公共交通施策については、「JR東金線の利用環境の向上」(31.6%)が最も多く、次いで「市内循環バスの運行体系の見直し」(22.8%)、「路線バスの利用環境の向上」(20.2%)が上位3項目となっています。

図表 40 行政に実施してほしい公共交通施策(全体／複数回答)



図表 41 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	JR東金線の利用環境の向上 31.6%	市内循環バスの運行体系の見直し 22.8%	路線バスの利用環境の向上 20.2%
第28回	JR東金線の利用環境の向上 54.5%	路線バスの利用環境の向上 47.2%	市内循環バスの運行体系の見直し 46.5%
第27回	JR東金線の利用環境の向上 60.0%	市内循環バスの運行体系の見直し 40.0%	路線バスの利用環境の向上 39.1%
第26回	JR東日本に対する運行便数の拡充への働きかけ 45.7%	市内循環バスの運行体系の見直し 34.7%	バス事業者に対する路線バスの運行便数の拡充への働きかけ 27.8%
第25回	JR東金線の運行面の充実 54.8%	市内循環バスの充実 41.9%	民間路線バスの充実 34.2%

図表 42 行政に実施してほしい公共交通施策(全体、属性別)

		合計 (人)	JR 東金線の利用 環境の向上	市内循環バスの 運行体系の 見直し	路線バスの利用 環境の向上
	全体	547	31.6%	22.8%	20.2%
性別	男性	239	34.6%	20.6%	18.2%
	女性	271	30.2%	22.3%	20.3%
	選べない・答えたくない	4	20.0%	40.0%	20.0%
	無回答	33	25.6%	37.2%	29.1%
年齢	10 歳代	7	54.5%	18.2%	27.3%
	20 歳代	26	47.2%	11.3%	18.9%
	30 歳代	56	43.0%	17.0%	17.0%
	40 歳代	66	34.6%	21.8%	19.5%
	50 歳代	84	30.7%	22.9%	20.1%
	60 歳代	113	26.3%	21.5%	22.3%
	70 歳代	130	28.9%	25.5%	20.9%
	80 歳以上	48	29.3%	28.0%	13.4%
	無回答	17	23.9%	37.0%	26.1%
居住地区	東金地区	73	40.7%	19.5%	16.1%
	田間地区	60	32.6%	19.6%	18.8%
	嶺南地区	43	36.0%	15.7%	19.1%
	城西地区	29	43.1%	17.6%	11.8%
	日吉台地区	42	24.8%	22.9%	23.8%
	公平地区	37	35.7%	25.7%	14.3%
	丘山地区	26	22.4%	25.9%	27.6%
	大和地区	29	38.5%	23.1%	13.5%
	正気地区	58	28.9%	21.5%	22.3%
	豊成地区	43	23.5%	28.4%	19.8%
	福岡地区	38	27.5%	33.8%	28.8%
	源地区	21	19.5%	34.1%	24.4%
	無回答	48	33.7%	19.8%	20.9%

6 市の公共施設について

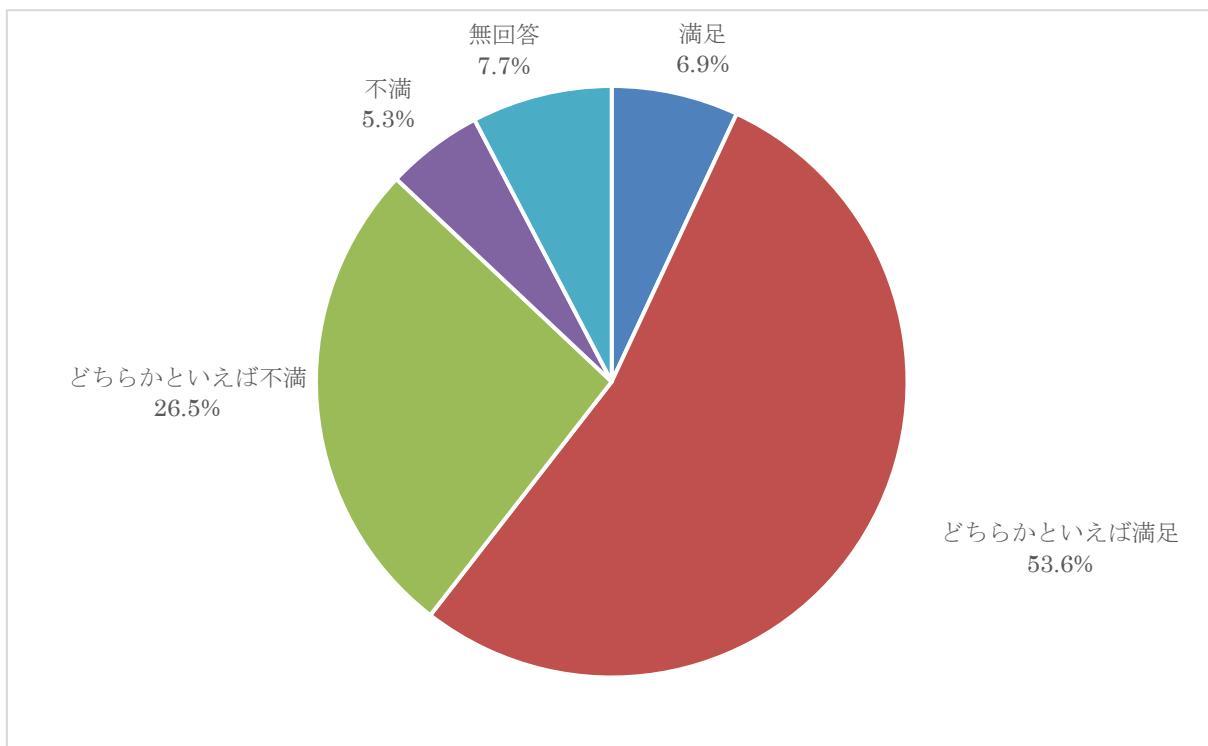
(1) 公共施設の設置状況や使いやすさ

問 16 東金市の公共施設（文化・スポーツ施設、コミュニティセンター、図書館等）の設置状況や使いやすさについてどのように感じていますか。

▼
“満足”が 60.5%、“不満”が 31.8%。

市の公共施設の設置状況や使いやすさについてたずねたところ、“満足”（「満足している」（6.9%）と「どちらかといえば満足している」（53.6%）の合計）と答えた人は 60.5%でした。一方、“不満”（「どちらかといえば不満」（26.5%）と「不満」（5.3%）の合計）は 31.8%となっています。

図表 43 公共施設の設置状況や使いやすさ(全体)



図表 44 過去からのアンケート結果推移(全体)

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満	不満
第 29 回	6.9%	53.6%	26.5%	5.3%
第 28 回	8.6%	55.2%	22.9%	7.6%
第 27 回	5.6%	53.8%	25.8%	5.1%
第 26 回	9.9%	53.8%	23.6%	6.2%
第 25 回	10.1%	57.8%	22.4%	4.5%

図表 45 公共施設の設置状況や使いやすさ(全体、属性別)

		合 計 (人)	満足	どちらか といえど 満足	どちらか といえど 不満	不満	無回答
	全体	547	6.9%	53.6%	26.5%	5.3%	7.7%
性 別	男性	239	6.7%	58.6%	27.2%	4.6%	2.9%
	女性	271	6.3%	56.1%	27.7%	6.3%	3.7%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	15.2%	0.0%	6.1%	3.0%	75.8%
年 齢	10 歳代	7	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%
	20 歳代	26	11.5%	53.8%	23.1%	7.7%	3.8%
	30 歳代	56	3.6%	53.6%	33.9%	7.1%	1.8%
	40 歳代	66	7.6%	62.1%	27.3%	3.0%	0.0%
	50 歳代	84	4.8%	63.1%	26.2%	6.0%	0.0%
	60 歳代	113	4.4%	54.9%	35.4%	4.4%	0.9%
	70 歳代	130	6.2%	46.2%	21.5%	6.9%	19.2%
	80 歳以上	48	14.6%	62.5%	16.7%	2.1%	4.2%
	無回答	17	11.8%	0.0%	11.8%	5.9%	70.6%
居 住 地 区	東金地区	73	11.0%	60.3%	21.9%	4.1%	2.7%
	田間地区	60	6.7%	51.7%	26.7%	6.7%	8.3%
	嶺南地区	43	9.3%	55.8%	32.6%	2.3%	0.0%
	城西地区	29	6.9%	48.3%	31.0%	10.3%	3.4%
	日吉台地区	42	2.4%	64.3%	21.4%	7.1%	4.8%
	公平地区	37	8.1%	35.1%	43.2%	10.8%	2.7%
	丘山地区	26	7.7%	42.3%	26.9%	0.0%	23.1%
	大和地区	29	6.9%	62.1%	20.7%	10.3%	0.0%
	正気地区	58	3.4%	63.8%	27.6%	3.4%	1.7%
	豊成地区	43	7.0%	46.5%	39.5%	7.0%	0.0%
	福岡地区	38	10.5%	42.1%	7.9%	2.6%	36.8%
	源地区	21	4.8%	52.4%	19.0%	4.8%	19.0%
	無回答	48	4.2%	56.3%	25.0%	2.1%	12.5%

7 近隣市町との連携について

(1)近隣市町との連携について

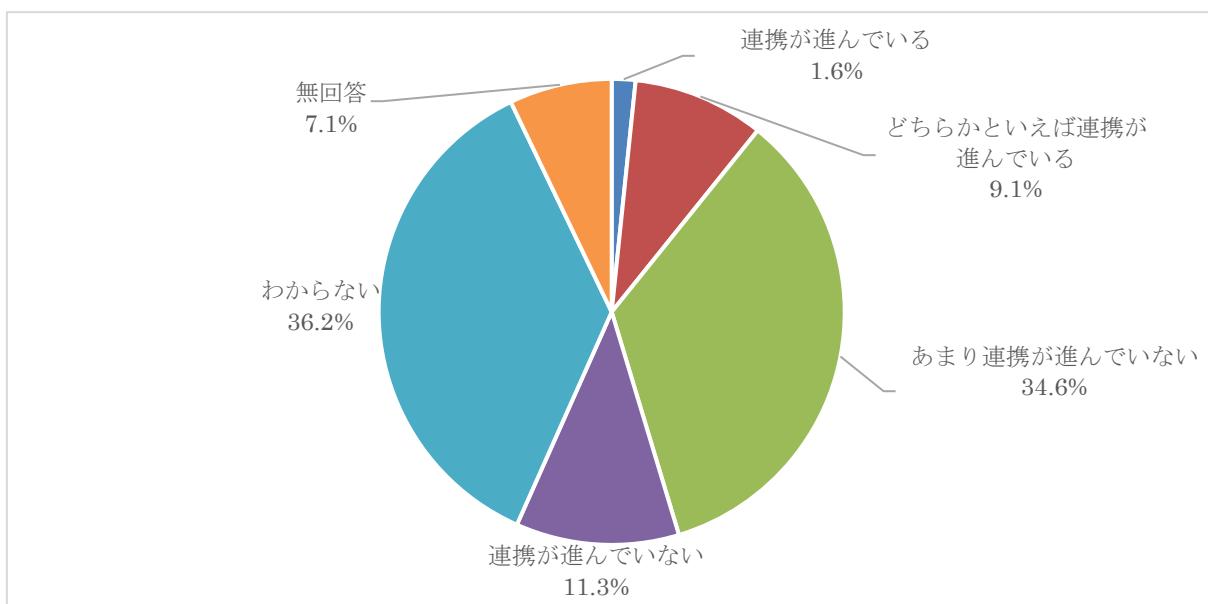
問17 東金市は、生活圏をともにする近隣市町と連携を進めることで、市民の皆さまの生活利便性を高めることを目指しています。この市の取組についてどのように感じていますか。



“進んでいる”が10.7%、“進んでいない”が45.9%。

近隣市町との連携についてたずねたところ、“進んでいる”（「連携が進んでいる」（1.6%）と「どちらかといえば連携が進んでいる」（9.1%）の合計）と答えた人は10.7%でした。これに対し、“進んでいない”（「あまり連携が進んでいない」（34.6%）と「連携が進んでいない」（11.3%）の合計）は45.9%となっています。なお、「わからない」は36.2%となっています。

図表 46 近隣市町との連携について(全体)



図表 47 過去からのアンケート結果推移(全体)

	連携が進んでいる	どちらかといえば連携が進んでいる	あまり連携が進んでいない	連携が進んでいない	わからない
第29回	1.6%	9.1%	34.6%	11.3%	36.2%
第28回	1.1%	11.3%	30.9%	12.1%	41.8%
第27回	1.6%	8.2%	25.7%	12.4%	48.7%
第26回	3.2%	9.9%	26.0%	10.1%	48.3%
第25回	0.9%	11.4%	30.0%	7.7%	48.3%

図表 48 近隣市町との連携について(全体、属性別)

		合計 (人)	連携が 進んで いる	どちら かと いえば 連携が 進んで いる	あまり 連携が 進んで いない	連携が 進んで いない	わから ない	無回答
	全体	547	1.6%	9.1%	34.6%	11.3%	36.2%	7.1%
性別	男性	239	1.7%	12.6%	38.1%	12.1%	34.3%	1.3%
	女性	271	1.5%	7.4%	35.4%	12.2%	41.3%	2.2%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	3.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	14.3%	42.9%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%
	20歳代	26	0.0%	26.9%	15.4%	42.3%	11.5%	3.8%
	30歳代	56	1.8%	8.9%	41.1%	33.9%	12.5%	1.8%
	40歳代	66	0.0%	10.6%	40.9%	40.9%	7.6%	0.0%
	50歳代	84	0.0%	8.3%	39.3%	40.5%	11.9%	0.0%
	60歳代	113	2.7%	5.3%	42.5%	34.5%	12.4%	2.7%
	70歳代	130	1.5%	5.4%	30.0%	36.2%	13.8%	13.1%
	80歳以上	48	4.2%	16.7%	29.2%	37.5%	8.3%	4.2%
	無回答	17	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	1.4%	13.7%	31.5%	6.8%	46.6%	0.0%
	田間地区	60	0.0%	13.3%	30.0%	8.3%	46.7%	1.7%
	嶺南地区	43	0.0%	9.3%	39.5%	11.6%	39.5%	0.0%
	城西地区	29	0.0%	6.9%	37.9%	13.8%	37.9%	3.4%
	日吉台地区	42	0.0%	9.5%	31.0%	9.5%	47.6%	2.4%
	公平地区	37	5.4%	5.4%	16.2%	29.7%	43.2%	0.0%
	丘山地区	26	7.7%	7.7%	30.8%	7.7%	19.2%	26.9%
	大和地区	29	3.4%	6.9%	37.9%	20.7%	27.6%	3.4%
	正気地区	58	3.4%	10.3%	39.7%	13.8%	31.0%	1.7%
	豊成地区	43	0.0%	14.0%	48.8%	11.6%	23.3%	2.3%
	福岡地区	38	0.0%	7.9%	18.4%	5.3%	21.1%	47.4%
	源地区	21	0.0%	0.0%	33.3%	9.5%	33.3%	23.8%
	無回答	48	2.1%	2.1%	50.0%	6.3%	33.3%	6.3%

8 広報・情報発信について

(1)市の実施事業の情報発信について

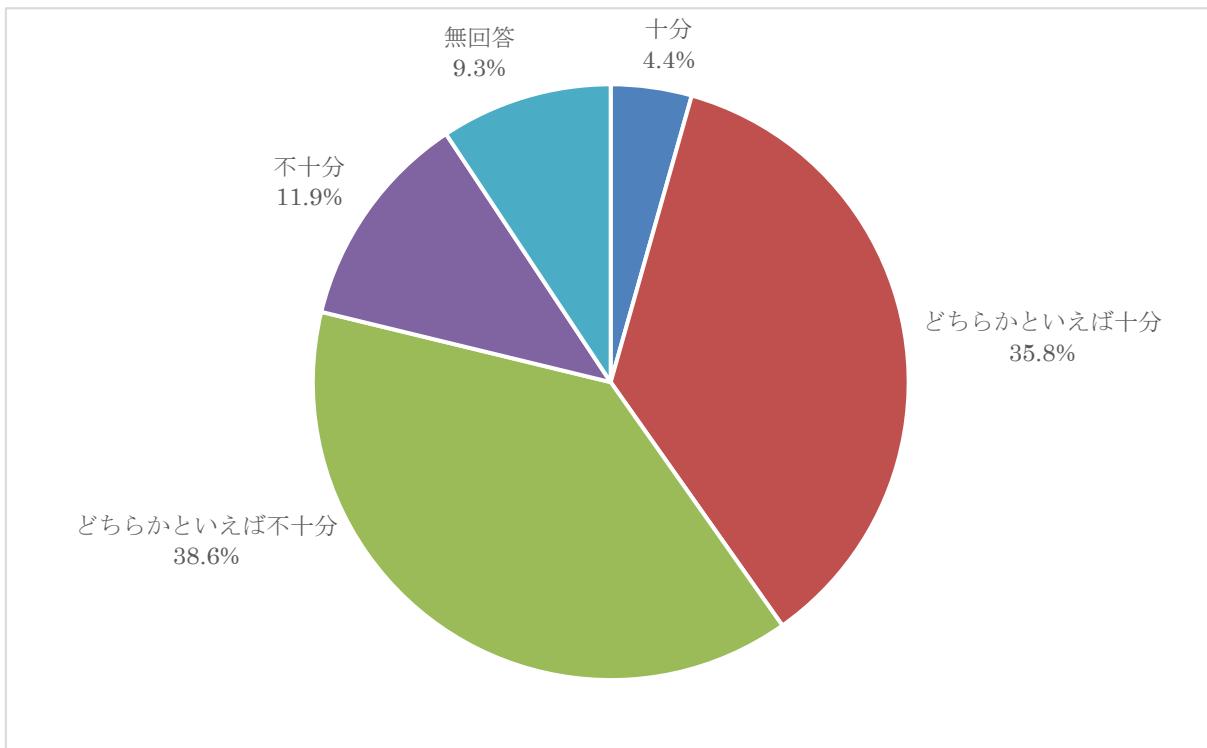
問 48 東金市が実施している事業についての情報発信は、十分に行われていますか。



“情報発信されている”が40.2%、“情報発信されていない”50.5%。

市の実施事業の情報発信の状況についてたずねたところ、“情報発信されている”（「十分」（4.4%）と「どちらかといえば十分」（35.8%）との合計）と答えた人は40.2%でした。これに対し、“情報発信されていない”（「どちらかといえば不十分」（38.6%）と「不十分」（11.9%）の合計）は50.5%となっています。

図表 49 市の実施事業の情報発信について(全体)



図表 50 過去からのアンケート結果推移(全体)

	十分	どちらかといえば十分	どちらかといえば不十分	不十分
第 29 回	4.4%	35.8%	38.6%	11.9%
第 28 回	4.6%	38.5%	45.2%	7.1%
第 27 回	3.7%	31.9%	47.8%	10.5%
第 26 回	4.5%	36.2%	43.9%	11.0%
第 25 回	6.5%	37.6%	44.0%	8.8%

図表 51 市の実施事業の情報発信について(全体、属性別)

		合 計 (人)	十 分	ど ち ら か とい え ば 十 分	ど ち ら か とい え ば 不 十 分	不 十 分	無回答
	全体	547	4.4%	35.8%	38.6%	11.9%	9.3%
性 別	男性	239	3.8%	33.1%	45.6%	14.6%	2.9%
	女性	271	5.2%	42.4%	33.9%	11.1%	7.4%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	6.1%	21.2%	0.0%	72.7%
年 齢	10 歳代	7	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%
	20 歳代	26	11.5%	34.6%	34.6%	19.2%	0.0%
	30 歳代	56	7.1%	32.1%	35.7%	23.2%	1.8%
	40 歳代	66	3.0%	43.9%	45.5%	7.6%	0.0%
	50 歳代	84	4.8%	34.5%	48.8%	11.9%	0.0%
	60 歳代	113	1.8%	28.3%	48.7%	13.3%	8.0%
	70 歳代	130	3.8%	36.2%	28.5%	10.8%	20.8%
	80 歳以上	48	4.2%	56.3%	27.1%	6.3%	6.3%
	無回答	17	0.0%	5.9%	29.4%	0.0%	64.7%
居 住 地 区	東金地区	73	4.1%	39.7%	42.5%	12.3%	1.4%
	田間地区	60	6.7%	45.0%	33.3%	10.0%	5.0%
	嶺南地区	43	7.0%	34.9%	46.5%	9.3%	2.3%
	城西地区	29	0.0%	34.5%	55.2%	10.3%	0.0%
	日吉台地区	42	2.4%	38.1%	33.3%	16.7%	9.5%
	公平地区	37	2.7%	40.5%	29.7%	21.6%	5.4%
	丘山地区	26	7.7%	23.1%	42.3%	0.0%	26.9%
	大和地区	29	3.4%	41.4%	34.5%	17.2%	3.4%
	正気地区	58	3.4%	34.5%	44.8%	15.5%	1.7%
	豊成地区	43	9.3%	37.2%	32.6%	11.6%	9.3%
	福岡地区	38	0.0%	23.7%	31.6%	7.9%	36.8%
	源地区	21	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%
	無回答	48	6.3%	25.0%	41.7%	12.5%	14.6%

(2) 市からの情報を取得するために活用したいもの

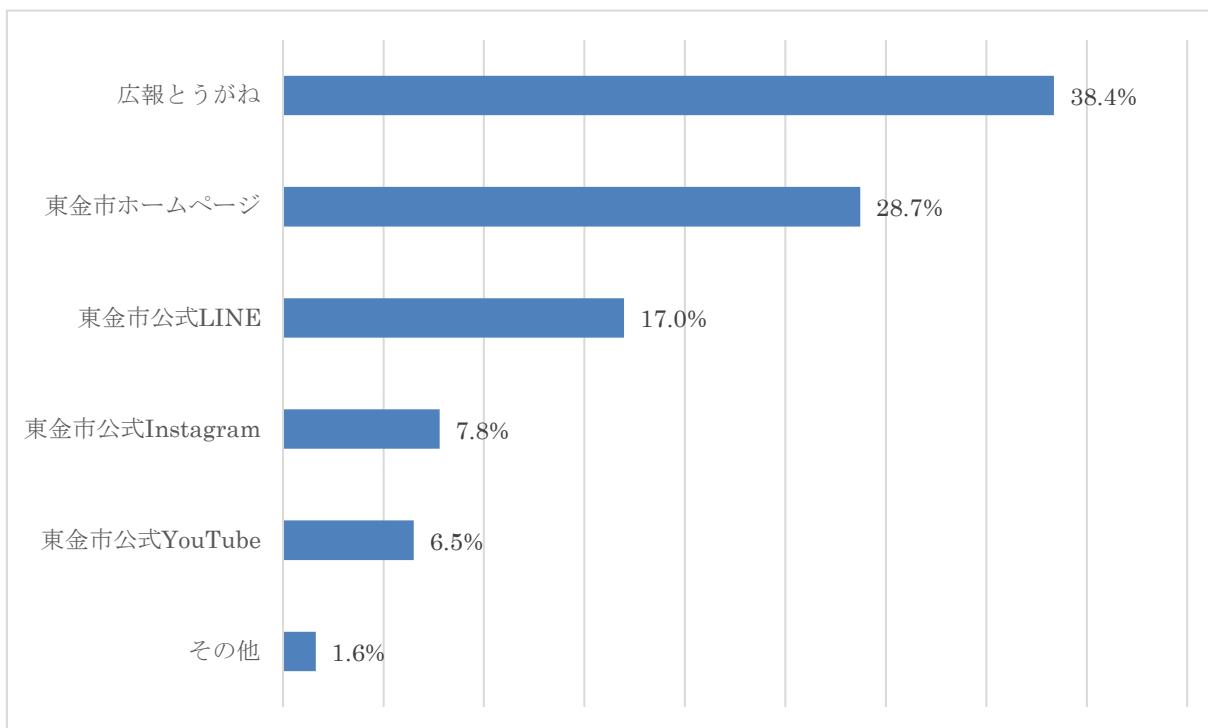
問 49 市からの情報をどの方法で取得したいですか。活用したいもの（これからも使いたいもの）をすべて選んでください。



「広報とうがね」が第1位。次いで「東金市ホームページ」、「東金市公式LINE」の順。

市からの情報を取得するために活用したいものについては、「広報とうがね」(38.4%)が最も多く、次いで「東金市ホームページ」(28.7%)、「東金市公式LINE」(17.0%)が上位3項目となっています。

図表 52 市からの情報を取得するために活用したいもの(全体／複数回答)



図表 53 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	広報とうがね	東金市ホームページ	東金市公式LINE
	38.4%	28.7%	17.0%
第28回	広報とうがね	東金市ホームページ	東金市公式LINE
	66.7%	53.0%	31.2%
第27回	広報とうがね	東金市ホームページ	東金市公式LINE
	66.5%	46.1%	31.9%
第26回	広報とうがね	東金市ホームページ	東金市公式LINE
	64.7%	52.9%	32.3%

図表 54 市からの情報を取得するために活用したいもの(全体、属性別)

		合 計 (人)	広報とうがね	東金市 ホームページ	東金市公式 LINE
	全体	547	38.4%	28.7%	17.0%
性 別	男性	239	36.5%	31.5%	13.8%
	女性	271	39.9%	26.4%	20.3%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	50.0%	0.0%
	無回答	33	62.5%	0.0%	12.5%
年 齢	10歳代	7	33.3%	25.0%	16.7%
	20歳代	26	15.0%	45.0%	15.0%
	30歳代	56	23.1%	20.4%	22.2%
	40歳代	66	26.2%	31.0%	24.6%
	50歳代	84	31.2%	33.8%	19.1%
	60歳代	113	38.7%	33.1%	17.1%
	70歳代	130	57.1%	22.9%	10.6%
	80歳以上	48	71.2%	22.0%	5.1%
	無回答	17	57.1%	0.0%	14.3%
居 住 地 区	東金地区	73	25.5%	30.9%	21.8%
	田間地区	60	27.4%	28.8%	17.8%
	嶺南地区	43	43.9%	31.7%	17.1%
	城西地区	29	40.7%	25.9%	18.5%
	日吉台地区	42	42.0%	32.0%	12.0%
	公平地区	37	46.2%	30.8%	17.9%
	丘山地区	26	37.5%	29.2%	16.7%
	大和地区	29	42.9%	35.7%	10.7%
	正気地区	58	33.3%	31.7%	15.0%
	豊成地区	43	33.3%	25.0%	20.8%
	福岡地区	38	35.7%	57.1%	7.1%
	源地区	21	50.0%	25.0%	18.8%
	無回答	48	31.5%	33.3%	9.3%

(3)「市からもっと発信してほしい」と思う情報

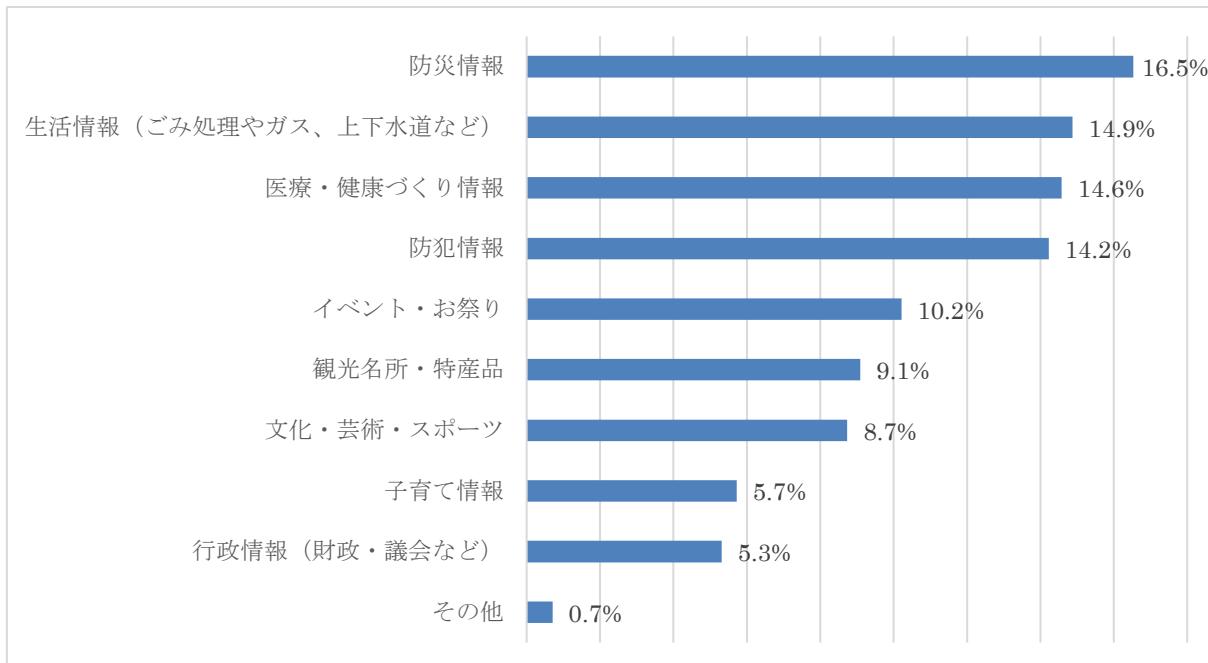
問 50 「市からもっと発信してほしい」と思う情報について、あてはまるものをすべて選んでください。



「防災情報」が第1位。次いで「生活情報（ごみ処理やガス、上下水道など）」、「医療・健康づくり関連情報」の順。

「市からもっと発信してほしい」と思う情報については、「防災情報」(16.5%)が最も多く、次いで「生活情報（ごみ処理やガス、上下水道など）」(14.9%)、「医療・健康づくり関連情報」(14.6%)が上位3項目となっています。

図表 55 「市からもっと発信してほしい」と思う情報(全体／複数回答)



図表 56 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	防災情報	生活情報（ごみ処理やガス、上下水道など）	医療・健康づくり関連情報
	16.5%	14.9%	14.6%
第28回	防災情報	医療・健康づくり関連情報	生活情報（ごみ処理やガス、上下水道など）
	52.2%	38.7%	36.2%
第27回	防災情報	医療・健康づくり関連情報	防犯情報
	44.9%	39.3%	34.6%
第26回	防災・防犯情報	医療・健康づくり関連情報	生活情報（ごみ処理やガス、上下水道など）
	55.6%	46.3%	44.2%

図表 57 「市からもっと発信してほしい」と思う情報(全体、属性別)

		合 計 (人)	防災情報	生活情報（ごみ 処理やガス、上 下水道など）	医療・健康 づくり情報
	全体	547	16.5%	14.9%	14.6%
性 別	男性	239	16.9%	15.0%	12.6%
	女性	271	18.0%	16.5%	14.6%
	選べない・答えたくない	4	15.4%	15.4%	7.7%
	無回答	33	1.0%	0.0%	31.3%
年 齢	10歳代	7	13.0%	4.3%	4.3%
	20歳代	26	12.6%	12.6%	11.5%
	30歳代	56	11.1%	11.6%	11.6%
	40歳代	66	14.9%	13.3%	12.0%
	50歳代	84	17.8%	19.6%	14.8%
	60歳代	113	21.1%	16.5%	14.4%
	70歳代	130	17.2%	13.3%	17.7%
	80歳以上	48	22.2%	23.9%	12.8%
	無回答	17	1.9%	0.0%	30.2%
居 住 地 区	東金地区	73	17.4%	15.7%	16.2%
	田間地区	60	18.0%	11.7%	14.6%
	嶺南地区	43	16.8%	16.0%	10.1%
	城西地区	29	14.6%	18.3%	9.8%
	日吉台地区	42	17.5%	17.5%	13.3%
	公平地区	37	20.5%	15.2%	14.3%
	丘山地区	26	19.4%	13.4%	17.9%
	大和地区	29	17.5%	21.6%	11.3%
	正気地区	58	19.3%	14.6%	12.9%
	豊成地区	43	18.0%	18.0%	15.8%
	福岡地区	38	7.8%	10.4%	22.6%
	源地区	21	17.0%	11.3%	13.2%
	無回答	48	11.2%	11.8%	15.2%

(4) 以前の「広報とうがね」と比べたとき

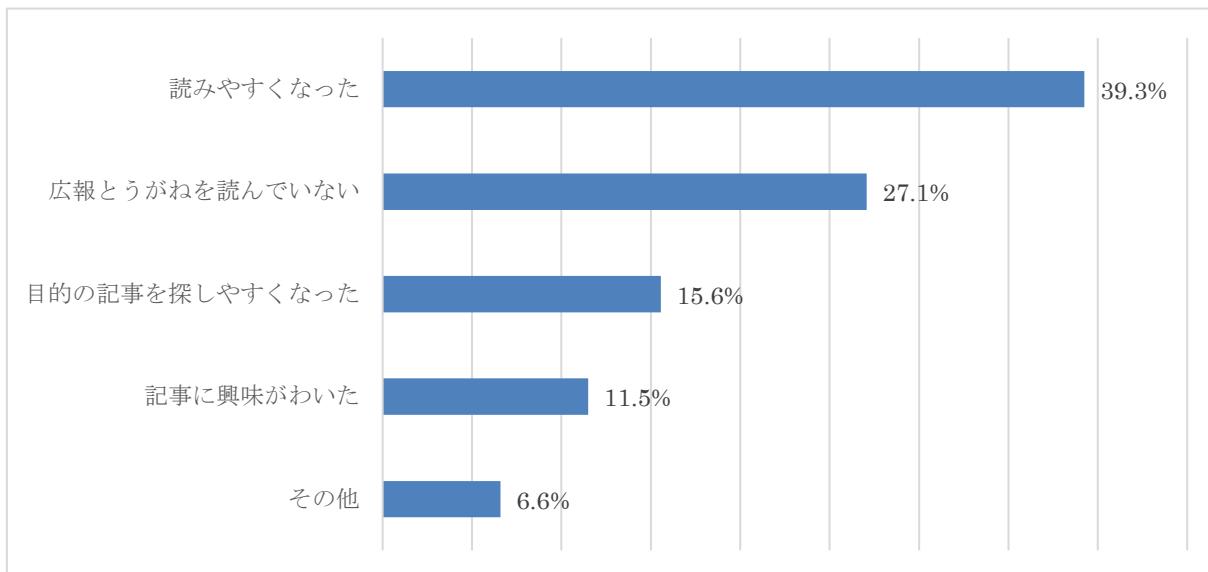
問51 以前の「広報とうがね」と比べたとき、あてはまるものをすべて選んでください。



「読みやすくなった」が第1位。次いで「広報とうがねを読んでいない」、「目的の記事を探しやすくなった」の順。

以前の「広報とうがね」と比べたとき、あてはまるものについては、「読みやすくなった」(39.3%)が最も多く、次いで「広報とうがねを読んでいない」(27.1%)、「目的の記事を探しやすくなった」(15.6%)が上位3項目となっています。

図表 58 以前の「広報とうがね」と比べたとき(全体／複数回答)



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

図表 59 以前の「広報とうがね」と比べたとき(全体、属性別)

		合計 (人)	読みやすく なった	広報とうがねを 読んでいない	目的の記事を 探しやすく なった
	全体	547	39.3%	27.1%	15.6%
性別	男性	239	37.0%	30.2%	13.6%
	女性	271	41.9%	23.8%	17.8%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	50.0%	0.0%
	無回答	33	14.3%	42.9%	0.0%
年齢	10歳代	7	62.5%	25.0%	0.0%
	20歳代	26	18.8%	50.0%	12.5%
	30歳代	56	32.2%	47.5%	6.8%
	40歳代	66	37.8%	39.2%	10.8%
	50歳代	84	37.4%	28.6%	17.6%
	60歳代	113	37.7%	30.3%	15.6%
	70歳代	130	49.3%	11.8%	19.9%
	80歳以上	48	41.5%	6.2%	21.5%
	無回答	17	0.0%	50.0%	0.0%
居住地区	東金地区	73	41.5%	29.3%	13.4%
	田間地区	60	34.7%	22.2%	18.1%
	嶺南地区	43	40.0%	24.0%	12.0%
	城西地区	29	48.3%	27.6%	10.3%
	日吉台地区	42	37.0%	26.1%	21.7%
	公平地区	37	48.8%	11.6%	16.3%
	丘山地区	26	28.6%	28.6%	19.0%
	大和地区	29	36.4%	30.3%	12.1%
	正気地区	58	43.7%	28.2%	14.1%
	豊成地区	43	44.0%	22.0%	22.0%
	福岡地区	38	30.4%	43.5%	13.0%
	源地区	21	33.3%	19.0%	23.8%
	無回答	48	32.0%	44.0%	10.0%

9 生活や考え方について

(1) 地域活動の参加状況

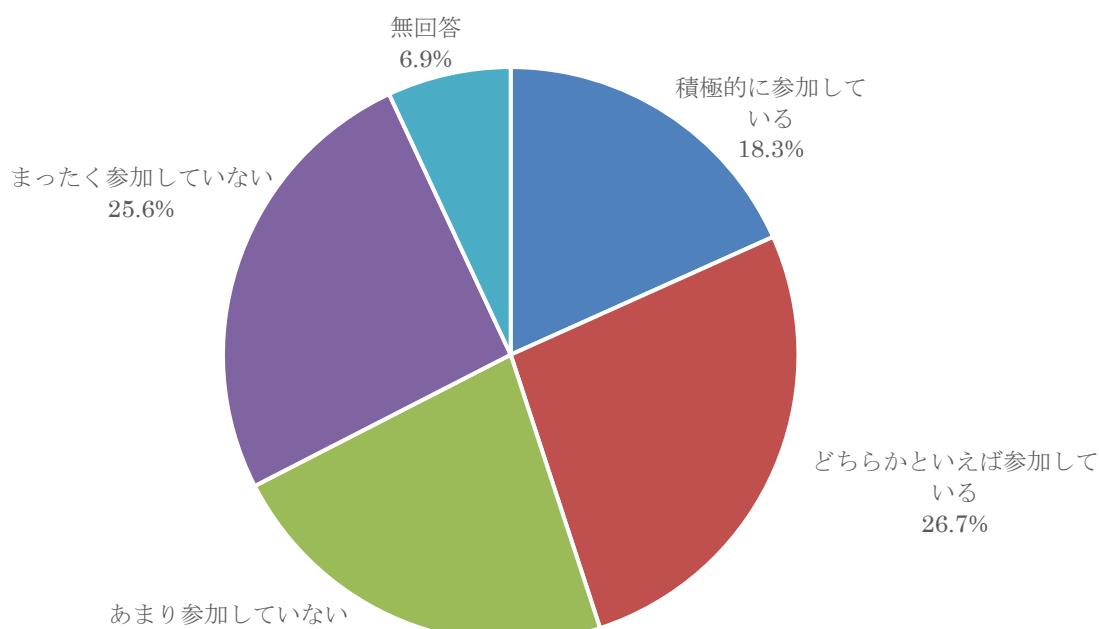
問39 自治会などが主催する地域活動（ごみ拾い、防犯・防災、子ども会など）に参加していますか。



“参加している”が45.0%、“参加していない”が48.1%。

ごみ拾い、防犯・防災、子ども会などの地域活動に参加しているかたずねたところ、“参加している”（「積極的に参加している」（18.3%）と「どちらかといえば参加している」（26.7%）との合計）と答えた人は45.0%でした。これに対し、“参加していない”（「あまり参加していない」（22.5%）と「まったく参加していない」（25.6%）の合計）は48.1%となっています。

図表 60 地域活動の参加状況(全体)



図表 61 過去からのアンケート結果推移(全体)

	積極的に 参加している	どちらかといえば 参加している	あまり参加 していない	まったく参加 していない
第29回	18.3%	26.7%	22.5%	25.6%
第28回	23.0%	31.0%	19.1%	24.5%
第27回	19.4%	32.6%	19.4%	26.2%
第26回	21.2%	28.6%	22.3%	26.6%
第25回	19.0%	28.1%	23.2%	29.0%

図表 62 地域活動の参加状況(全体、属性別)

		合計 (人)	積極的に 参加して いる	どちらか といえば 参加して いる	あまり 参加して いない	まったく 参加して いない	無回答
	全体	547	18.3%	26.7%	22.5%	25.6%	6.9%
性別	男性	239	21.3%	28.5%	23.4%	21.3%	5.4%
	女性	271	17.7%	28.0%	23.6%	22.5%	8.1%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	3.0%	3.0%	81.8%	9.1%
年齢	10歳代	7	0.0%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%
	20歳代	26	7.7%	19.2%	19.2%	53.8%	0.0%
	30歳代	56	8.9%	17.9%	26.8%	44.6%	1.8%
	40歳代	66	13.6%	25.8%	28.8%	30.3%	1.5%
	50歳代	84	19.0%	28.6%	26.2%	23.8%	2.4%
	60歳代	113	19.5%	37.2%	26.5%	10.6%	6.2%
	70歳代	130	26.9%	21.5%	15.4%	21.5%	14.6%
	80歳以上	48	20.8%	31.3%	25.0%	8.3%	14.6%
	無回答	17	5.9%	5.9%	0.0%	88.2%	0.0%
居住地区	東金地区	73	17.8%	24.7%	28.8%	16.4%	12.3%
	田間地区	60	8.3%	33.3%	21.7%	30.0%	6.7%
	嶺南地区	43	25.6%	30.2%	18.6%	25.6%	0.0%
	城西地区	29	27.6%	17.2%	31.0%	24.1%	0.0%
	日吉台地区	42	11.9%	31.0%	33.3%	14.3%	9.5%
	公平地区	37	27.0%	24.3%	27.0%	18.9%	2.7%
	丘山地区	26	30.8%	23.1%	7.7%	26.9%	11.5%
	大和地区	29	13.8%	37.9%	24.1%	20.7%	3.4%
	正気地区	58	19.0%	36.2%	20.7%	19.0%	5.2%
	豊成地区	43	20.9%	18.6%	25.6%	27.9%	7.0%
	福岡地区	38	18.4%	13.2%	10.5%	52.6%	5.3%
	源地区	21	19.0%	19.0%	9.5%	42.9%	9.5%
	無回答	48	10.4%	27.1%	20.8%	29.2%	12.5%

(2) 地域活動の参加意向

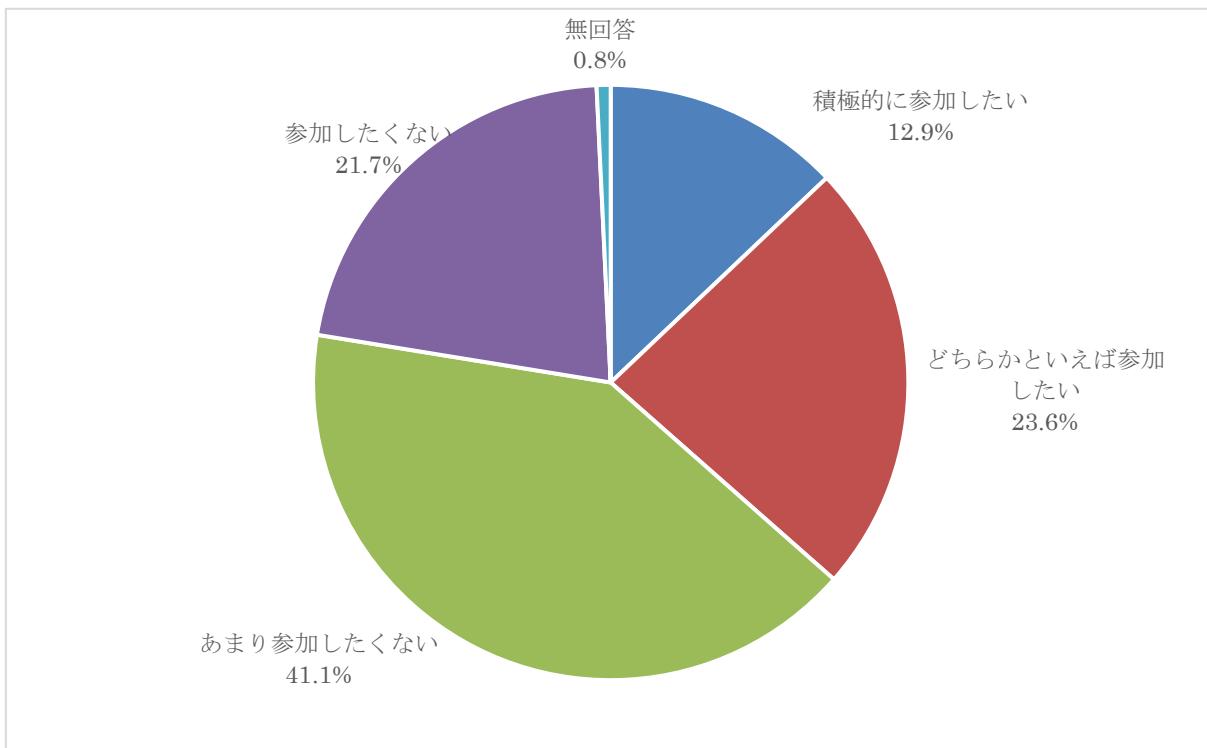
問 40 機会や時間があれば、こうした地域活動に参加したいと思いますか。



“参加したい”が36.5%、“参加したくない”が62.8%。

問39で“あまり参加していない”、“まったく参加していない”と答えた263人に、に地域活動に参加したいかたずねたところ、“参加したい”（「積極的に参加したい」（12.9%）と「どちらかといえば参加したい」（23.6%）との合計）と答えた人は36.5%でした。これに対し、“参加したくない”（「あまり参加したくない」（41.1%）と「参加したくない」（21.7%）の合計）は62.8%となっています。

図表 63 地域活動の参加意向(全体)



図表 64 過去からのアンケート結果推移(全体)

	積極的に 参加したい	どちらかといえ ば 参加したい	あまり参加 したくない	参加したくない
第29回	12.9%	23.6%	41.1%	21.7%
第28回	11.0%	38.5%	32.5%	13.8%
第27回	13.4%	40.3%	28.6%	14.1%
第26回	13.5%	36.4%	31.4%	16.4%
第25回	11.7%	39.2%	32.7%	15.2%

図表 65 地域活動の参加意向(全体、属性別)

		合計 (人)	積極的に 参加 したい	どちらか といえば 参加 したい	あまり 参加 したく ない	参加 したく ない	無回答
	全体	263	12.9%	23.6%	41.1%	21.7%	0.8%
性別	男性	107	2.8%	27.1%	42.1%	27.1%	0.9%
	女性	125	3.2%	26.4%	47.2%	22.4%	0.8%
	選べない・答えたくない	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	28	96.4%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	20歳代	19	10.5%	21.1%	42.1%	26.3%	0.0%
	30歳代	40	2.5%	32.5%	40.0%	25.0%	0.0%
	40歳代	39	2.6%	28.2%	33.3%	33.3%	2.6%
	50歳代	42	2.4%	16.7%	54.8%	26.2%	0.0%
	60歳代	42	0.0%	33.3%	52.4%	11.9%	2.4%
	70歳代	48	27.1%	10.4%	41.7%	20.8%	0.0%
	80歳以上	16	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%
	無回答	15	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地区	東金地区	33	0.0%	27.3%	48.5%	21.2%	3.0%
	田間地区	31	3.2%	41.9%	29.0%	25.8%	0.0%
	嶺南地区	19	0.0%	31.6%	42.1%	26.3%	0.0%
	城西地区	16	6.3%	31.3%	43.8%	12.5%	6.3%
	日吉台地区	20	0.0%	15.0%	70.0%	15.0%	0.0%
	公平地区	17	0.0%	5.9%	76.5%	17.6%	0.0%
	丘山地区	9	55.6%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
	大和地区	13	7.7%	15.4%	46.2%	30.8%	0.0%
	正気地区	23	4.3%	34.8%	34.8%	26.1%	0.0%
	豊成地区	23	8.7%	17.4%	52.2%	21.7%	0.0%
	福岡地区	24	66.7%	4.2%	20.8%	8.3%	0.0%
	源地区	11	45.5%	9.1%	9.1%	36.4%	0.0%
	無回答	24	8.3%	33.3%	33.3%	25.0%	0.0%

(3)ボランティア活動の参加状況

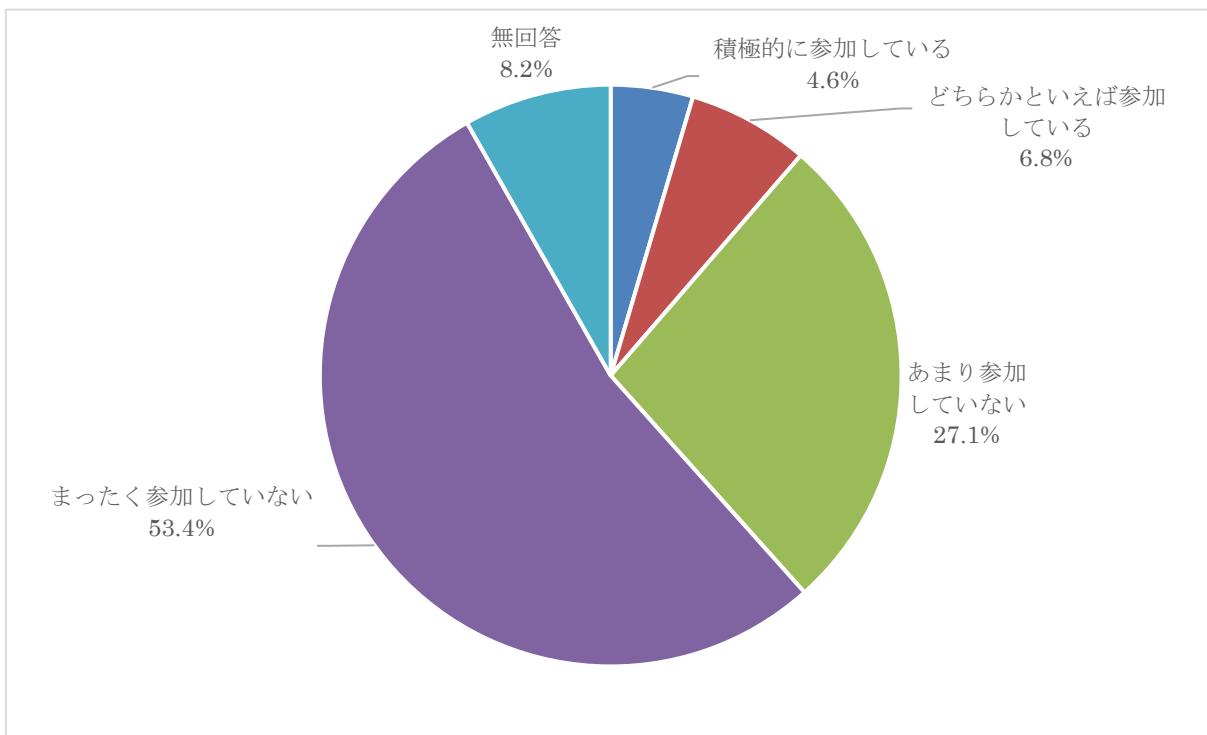
問 41 高齢者・障がい者・介護などの福祉関係や被災地などを支援するボランティア活動に参加していますか。



“参加している”が11.4%、“参加していない”が80.5%。

ボランティア活動への参加状況についてたずねたところ、“参加している”（「積極的に参加している」（4.6%）と「どちらかといえば参加している」（6.8%）の合計）と答えた人は11.4%でした。これに対し、“参加していない”（「あまり参加していない」（27.1%）と「まったく参加していない」（53.4%）の合計）は80.5%となっています。

図表 66 ボランティア活動の参加状況(全体)



図表 67 過去からのアンケート結果推移(全体)

	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
第29回	4.6%	6.8%	27.1%	53.4%
第28回	3.2%	6.3%	19.3%	68.8%
第27回	1.4%	8.6%	19.9%	67.9%
第26回	4.1%	8.7%	20.0%	66.0%
第25回	3.4%	8.2%	24.4%	63.6%

図表 68 ボランティア活動の参加状況(全体、属性別)

		合計 (人)	積極的に 参加して いる	どちらか といえば 参加して いる	あまり 参加して いない	まったく 参加して いない	無回答
	全体	547	4.6%	6.8%	27.1%	53.4%	8.2%
性別	男性	239	3.3%	9.2%	30.1%	52.7%	4.6%
	女性	271	1.8%	4.4%	27.7%	60.1%	5.9%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	無回答	33	36.4%	3.0%	3.0%	3.0%	54.5%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%
	20歳代	26	3.8%	7.7%	19.2%	69.2%	0.0%
	30歳代	56	3.6%	3.6%	16.1%	75.0%	1.8%
	40歳代	66	0.0%	3.0%	28.8%	65.2%	3.0%
	50歳代	84	0.0%	6.0%	26.2%	66.7%	1.2%
	60歳代	113	2.7%	9.7%	36.3%	45.1%	6.2%
	70歳代	130	7.7%	9.2%	21.5%	44.6%	16.9%
	80歳以上	48	4.2%	4.2%	41.7%	43.8%	6.3%
	無回答	17	41.2%	5.9%	5.9%	0.0%	47.1%
居住地区	東金地区	73	2.7%	1.4%	37.0%	47.9%	11.0%
	田間地区	60	6.7%	3.3%	20.0%	68.3%	1.7%
	嶺南地区	43	2.3%	7.0%	20.9%	69.8%	0.0%
	城西地区	29	0.0%	6.9%	31.0%	55.2%	6.9%
	日吉台地区	42	2.4%	9.5%	31.0%	50.0%	7.1%
	公平地区	37	2.7%	10.8%	27.0%	56.8%	2.7%
	丘山地区	26	7.7%	19.2%	30.8%	23.1%	19.2%
	大和地区	29	3.4%	3.4%	44.8%	44.8%	3.4%
	正気地区	58	0.0%	12.1%	25.9%	58.6%	3.4%
	豊成地区	43	2.3%	7.0%	25.6%	60.5%	4.7%
	福岡地区	38	23.7%	5.3%	13.2%	31.6%	26.3%
	源地区	21	14.3%	4.8%	33.3%	28.6%	19.0%
	無回答	48	0.0%	4.2%	18.8%	64.6%	12.5%

(4)ボランティア活動の参加意向

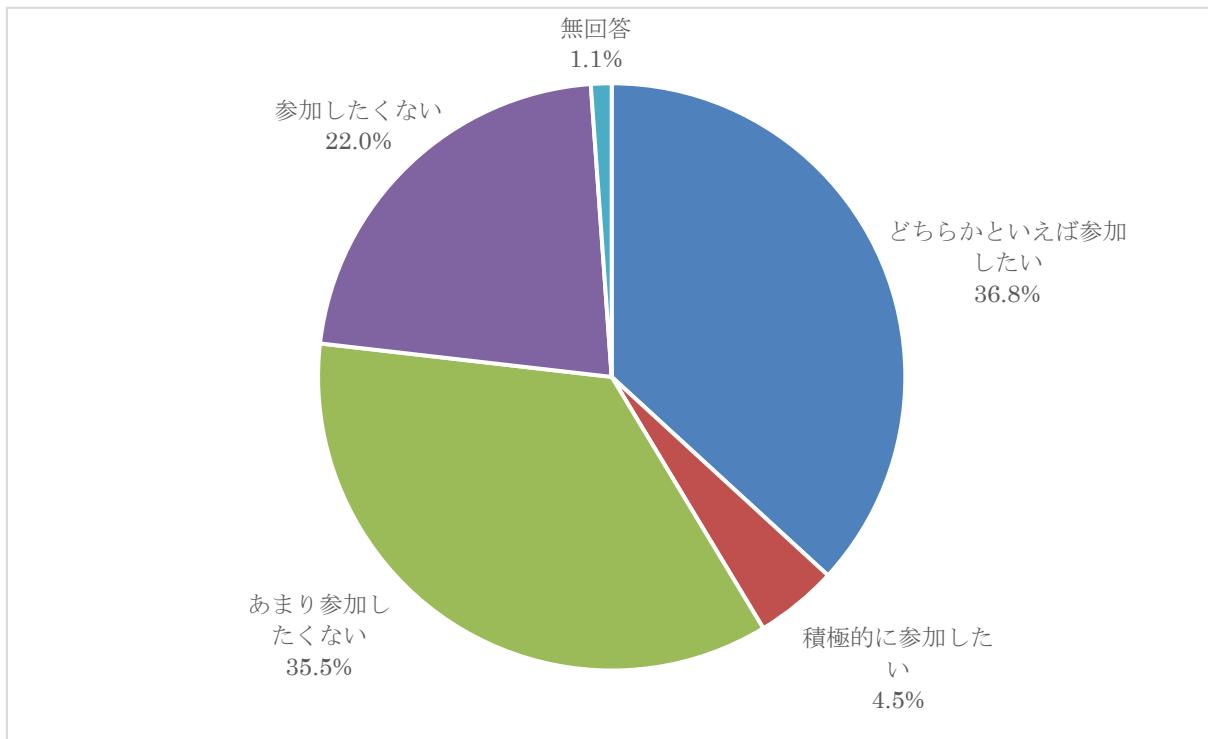
問 42 機会があれば、こうしたボランティア活動をしたいと思いますか。



“参加したい”が41.3%、“参加したくない”が57.5%。

問41で“あまり参加していない”、“まったく参加していない”と答えた440人に、に地域活動に参加したいかたずねたところ、今後のボランティア活動への参加意向についてたずねたところ、“参加したい”（「積極的に参加したい」（4.5%）と「どちらかといえば参加したい」（36.8%）との合計）と答えた人は41.3%でした。これに対し、“参加したくない”（「あまり参加したくない」（35.5%）と「参加したいと思わない」（22.0%）の合計）は57.5%となっています。

図表 69 ボランティア活動の参加意向(全体)



図表 70 過去からのアンケート結果推移(全体)

	積極的に 参加したい	どちらかといえば 参加したい	あまり参加 したくない	参加したいと 思わない
第29回	4.5%	36.8%	35.5%	22.0%
第28回	5.9%	32.5%	32.7%	24.9%
第27回	5.8%	35.1%	34.6%	21.5%
第26回	7.4%	31.9%	35.9%	22.7%
第25回	6.8%	35.4%	36.8%	19.2%

図表 71 ボランティア活動の参加意向(全体、属性別)

		合計 (人)	どちらか といえば 参加 したい	積極的に 参加 したい	あまり 参加 したく ない	参加 したく ない	無回答
	全体	440	4.6%	6.8%	27.1%	53.4%	8.2%
性別	男性	209	3.5%	35.9%	33.8%	25.3%	1.5%
	女性	254	5.5%	38.2%	36.1%	19.3%	0.8%
	選べない・答えたくない	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	20	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
年齢	10歳代	6	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%
	20歳代	23	4.3%	34.8%	26.1%	34.8%	0.0%
	30歳代	51	7.8%	25.5%	37.3%	29.4%	0.0%
	40歳代	62	3.2%	38.7%	35.5%	22.6%	0.0%
	50歳代	78	3.8%	35.9%	38.5%	21.8%	0.0%
	60歳代	92	1.1%	48.9%	32.6%	15.2%	2.2%
	70歳代	86	7.0%	29.1%	38.4%	23.3%	2.3%
	80歳以上	41	0.0%	46.3%	34.1%	17.1%	2.4%
	無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
居住地区	東金地区	62	4.8%	37.1%	41.9%	16.1%	0.0%
	田間地区	53	1.9%	39.6%	34.0%	22.6%	1.9%
	嶺南地区	39	7.7%	41.0%	28.2%	23.1%	0.0%
	城西地区	25	4.0%	48.0%	32.0%	16.0%	0.0%
	日吉台地区	34	0.0%	41.2%	38.2%	17.6%	2.9%
	公平地区	31	3.2%	29.0%	29.0%	38.7%	0.0%
	丘山地区	14	0.0%	42.9%	50.0%	0.0%	7.1%
	大和地区	26	3.8%	30.8%	38.5%	26.9%	0.0%
	正気地区	49	6.1%	34.7%	32.7%	26.5%	0.0%
	豊成地区	37	8.1%	24.3%	37.8%	29.7%	0.0%
	福岡地区	17	5.9%	35.3%	52.9%	5.9%	0.0%
	源地区	13	0.0%	53.8%	23.1%	23.1%	0.0%
	無回答	40	7.5%	35.0%	30.0%	22.5%	5.0%

10 物価高騰対策について

(1) 物価高騰対策への満足度

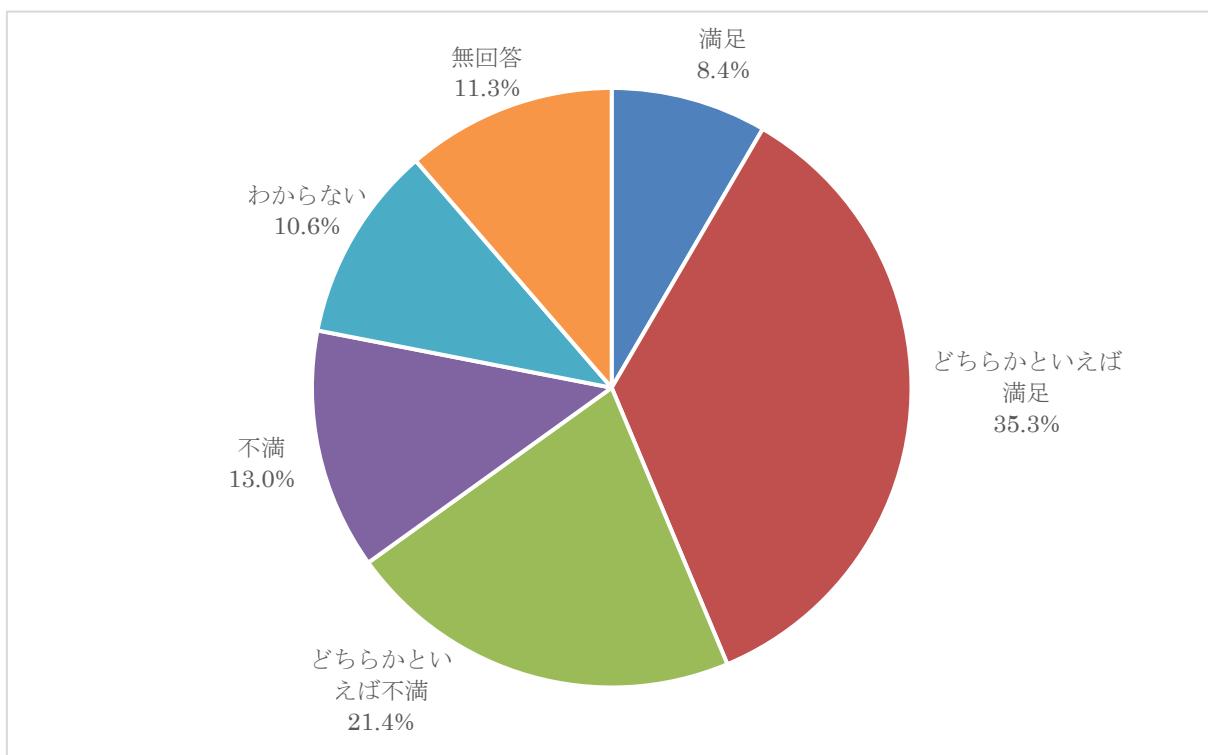
問 19 市の物価高騰対策への満足度についてお聞きします。



“満足”が43.7%、“不満”が34.4%。

物価高騰対策への満足度についてたずねたところ、“満足”（「満足」（8.4%）と「どちらかといえば満足」（35.3%）との合計）と答えた人は43.7%でした。これに対し、“不満”（「どちらかといえば不満」（21.4%）と「不満」（13.0%）の合計）は34.4%となっています。なお、「わからない」は10.6%となっています。

図表 72 物価高騰対策への満足度(全体)



図表 73 過去からのアンケート結果推移(全体)

	満足	どちらかといえれば満足	どちらかといえれば不満	不満	わからない
第 29 回	8.4%	35.3%	21.4%	13.0%	10.6%

図表 74 物価高騰対策への満足度(全体、属性別)

		合 計 (人)	満足	どちら かと いえば 満足	どちら かと いえば 不満	不満	わから ない	無回答
	全体	547	8.4%	35.3%	21.4%	13.0%	10.6%	11.3%
性 別	男性	239	9.6%	35.1%	20.9%	18.0%	8.4%	7.9%
	女性	271	8.5%	39.9%	23.6%	9.2%	9.6%	9.2%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	3.0%	6.1%	36.4%	54.5%
年 齢	10歳代	7	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	26	30.8%	38.5%	3.8%	23.1%	3.8%	0.0%
	30歳代	56	14.3%	33.9%	26.8%	17.9%	7.1%	0.0%
	40歳代	66	10.6%	45.5%	22.7%	13.6%	6.1%	1.5%
	50歳代	84	9.5%	51.2%	23.8%	7.1%	7.1%	1.2%
	60歳代	113	6.2%	34.5%	23.9%	14.2%	8.8%	12.4%
	70歳代	130	2.3%	27.7%	19.2%	13.1%	16.9%	20.8%
	80歳以上	48	8.3%	25.0%	25.0%	10.4%	10.4%	20.8%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	35.3%	52.9%
居住 地 区	東金地区	73	11.0%	35.6%	21.9%	16.4%	6.8%	8.2%
	田間地区	60	6.7%	40.0%	20.0%	13.3%	8.3%	11.7%
	嶺南地区	43	16.3%	44.2%	23.3%	11.6%	4.7%	0.0%
	城西地区	29	6.9%	34.5%	24.1%	17.2%	6.9%	10.3%
	日吉台地区	42	4.8%	45.2%	16.7%	19.0%	9.5%	4.8%
	公平地区	37	5.4%	37.8%	21.6%	21.6%	10.8%	2.7%
	丘山地区	26	0.0%	46.2%	19.2%	3.8%	7.7%	23.1%
	大和地区	29	6.9%	27.6%	31.0%	13.8%	6.9%	13.8%
	正気地区	58	13.8%	34.5%	24.1%	10.3%	10.3%	6.9%
	豊成地区	43	11.6%	27.9%	27.9%	7.0%	11.6%	14.0%
	福岡地区	38	5.3%	18.4%	13.2%	5.3%	23.7%	34.2%
	源地区	21	4.8%	23.8%	23.8%	14.3%	19.0%	14.3%
	無回答	48	6.3%	35.4%	14.6%	12.5%	16.7%	14.6%

1 1 デジタル化について

(1) 情報通信機器の利用率

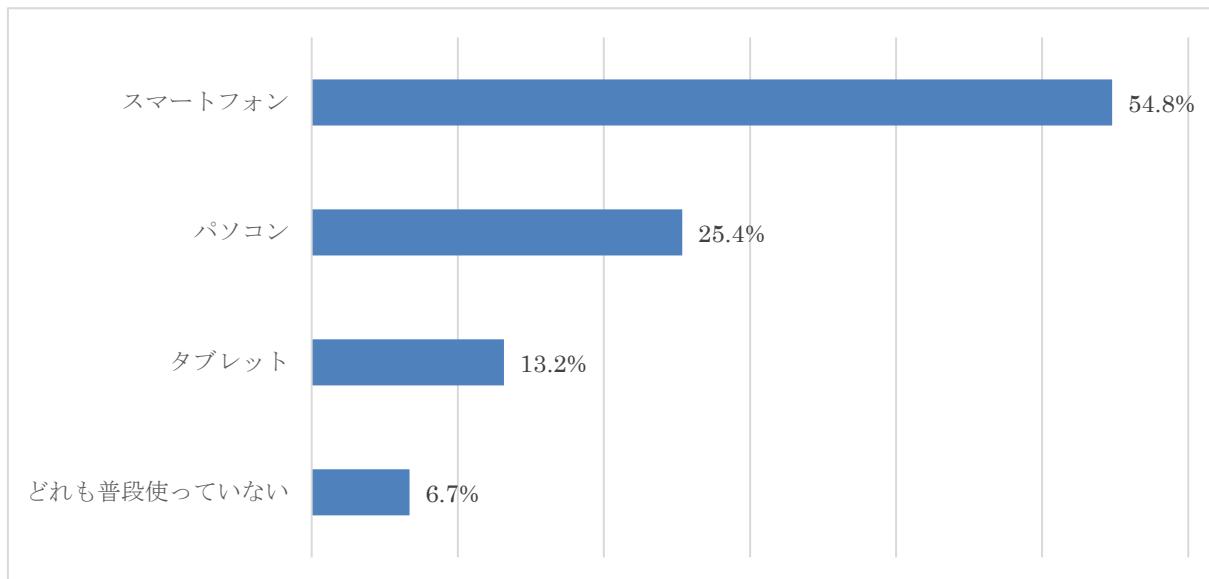
問 43 情報通信機器について利用しているものをすべて選んでください。(仕事以外で)



「スマートフォン」が第1位。次いで「パソコン」、「タブレット」の順。

利用している情報通信機器についてたずねたところ、「スマートフォン」(54.8%)が最も多く、次いで「パソコン」(25.4%)、「タブレット」(13.2%)となっています。

図表 75 情報通信機器の利用率(全体)



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

図表 76 情報通信機器の利用率(全体、属性別)

		合 計 (人)	スマートフォン	パソコン	タブレット
	全体	547	54.8%	25.4%	13.2%
性 別	男性	239	48.4%	30.8%	14.4%
	女性	271	57.8%	22.0%	12.9%
	選べない・答えたくない	4	75.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	93.9%	0.0%	3.0%
年 齢	10歳代	7	54.5%	36.4%	9.1%
	20歳代	26	52.0%	34.0%	14.0%
	30歳代	56	47.3%	25.0%	25.0%
	40歳代	66	57.0%	28.9%	14.0%
	50歳代	84	54.0%	30.0%	14.7%
	60歳代	113	56.9%	24.4%	12.5%
	70歳代	130	56.3%	21.0%	7.8%
	80歳以上	48	46.3%	20.4%	3.7%
	無回答	17	94.4%	0.0%	5.6%
居 住 地 区	東金地区	73	51.3%	27.4%	15.4%
	田間地区	60	52.0%	24.5%	15.3%
	嶺南地区	43	52.2%	25.4%	17.9%
	城西地区	29	55.3%	27.7%	10.6%
	日吉台地区	42	56.3%	25.0%	17.2%
	公平地区	37	52.6%	28.1%	10.5%
	丘山地区	26	63.6%	24.2%	9.1%
	大和地区	29	51.1%	25.5%	12.8%
	正気地区	58	54.4%	26.7%	10.0%
	豊成地区	43	52.4%	19.0%	14.3%
	福岡地区	38	68.6%	19.6%	9.8%
	源地区	21	64.0%	16.0%	8.0%
	無回答	48	54.5%	31.2%	11.7%

(2) キャッシュレス決済の利用率

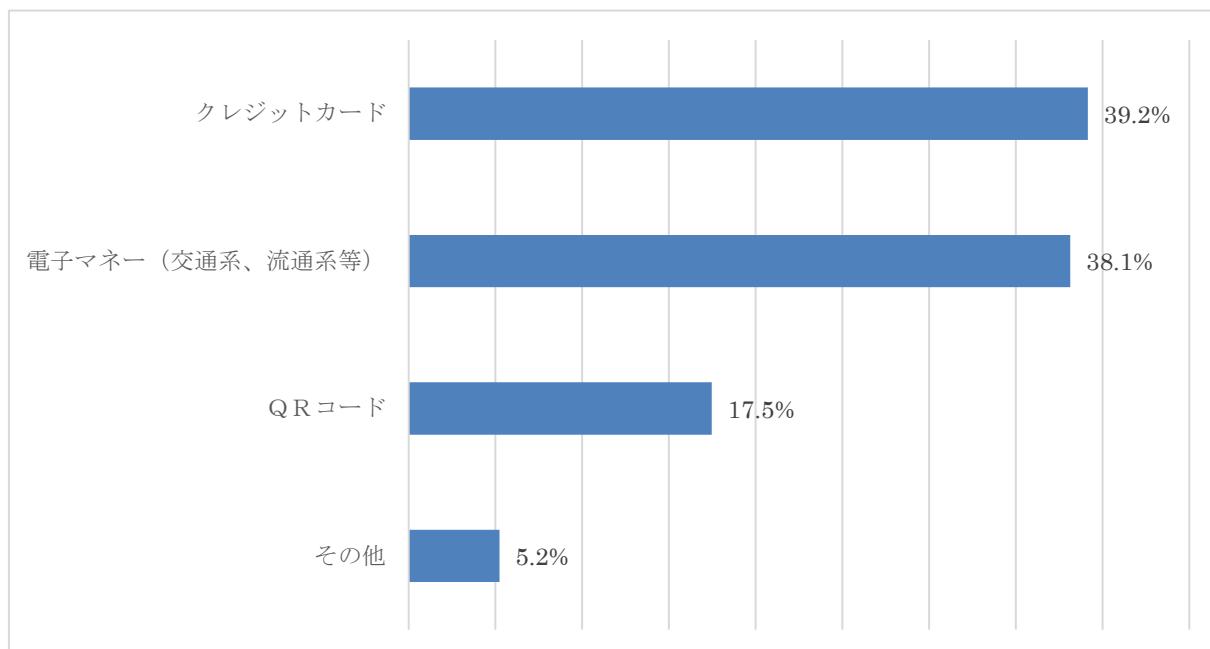
問 44 キャッシュレス決済について利用しているものすべて選んでください。



「クレジットカード」が第1位。次いで「電子マネー（交通系、流通系等）」、「QRコード」の順。

利用しているキャッシュレス決済についてたずねたところ、「クレジットカード」（39.2%）が最も多く、次いで「電子マネー（交通系、流通系等）」（38.1%）、「QRコード」（17.5%）となっています。

図表 77 キャッシュレス決済の利用率(全体)



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

図表 78 キャッシュレス決済の利用率(全体、属性別)

		合 計 (人)	クレジット カード	電子マネー (交通系、流通系等)	QRコード
	全体	547	39.2%	38.1%	17.5%
性 別	男性	239	38.9%	34.8%	19.0%
	女性	271	37.8%	39.4%	18.8%
	選べない・答えたくない	4	42.9%	28.6%	28.6%
	無回答	33	48.4%	50.0%	0.0%
年 齢	10歳代	7	27.3%	45.5%	18.2%
	20歳代	26	33.9%	33.9%	28.6%
	30歳代	56	36.1%	34.3%	26.9%
	40歳代	66	42.7%	30.0%	27.3%
	50歳代	84	38.6%	40.0%	18.6%
	60歳代	113	39.3%	42.9%	15.0%
	70歳代	130	41.9%	39.9%	8.8%
	80歳以上	48	31.6%	34.2%	0.0%
	無回答	17	48.5%	51.5%	0.0%
居 住 地 区	東金地区	73	35.5%	35.5%	21.5%
	田間地区	60	36.0%	39.5%	22.1%
	嶺南地区	43	32.2%	44.1%	18.6%
	城西地区	29	37.1%	37.1%	14.3%
	日吉台地区	42	40.0%	40.0%	14.5%
	公平地区	37	44.4%	35.6%	13.3%
	丘山地区	26	40.0%	45.0%	10.0%
	大和地区	29	37.2%	37.2%	16.3%
	正気地区	58	41.1%	39.7%	13.7%
	豊成地区	43	41.8%	34.5%	18.2%
	福岡地区	38	49.2%	42.6%	8.2%
	源地区	21	48.1%	33.3%	7.4%
	無回答	48	36.9%	33.3%	28.6%

(3) デジタル技術を活用してできるようになると望ましいこと

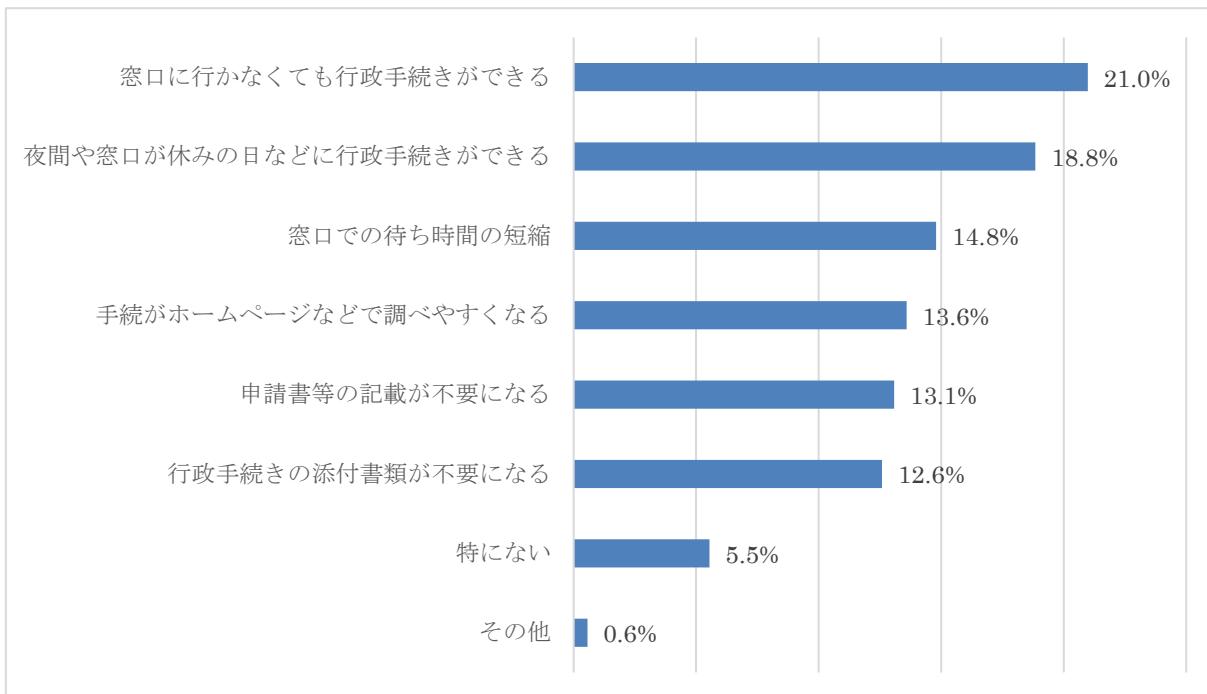
問 45 デジタル技術を活用してできるようになると望ましいことについて、あてはまるものをすべて選んでください。



「窓口に行かなくても行政手続きができる」が第1位。次いで「夜間や窓口が休みの日に行政手続きができる」、「窓口での待ち時間の短縮」の順。

デジタル技術を活用してできるようになると望ましいことについてたずねたところ、「窓口に行かなくても行政手続きができる」(21.0%)が最も多く、次いで「夜間や窓口が休みの日に行政手続きができる」(18.8%)、「窓口での待ち時間の短縮」(14.8%)となっています。

図表 79 デジタル技術を活用してできるようになると望ましいこと(全体)



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

図表 80 デジタル技術を活用してできるようになると望ましいこと(全体、属性別)

		合計 (人)	窓口に行かなく ても行政手続き ができる	夜間や窓口が休 みの日などに行 政手続きでき る	窓口での待ち時 間の短縮
	全体	547	21.0%	18.8%	14.8%
性別	男性	239	20.6%	18.2%	15.1%
	女性	271	21.7%	19.1%	14.5%
	選べない・答えたくない	4	14.3%	28.6%	14.3%
	無回答	33	0.0%	37.5%	12.5%
年齢	10歳代	7	15.8%	26.3%	21.1%
	20歳代	26	20.6%	18.6%	16.5%
	30歳代	56	20.8%	18.3%	17.3%
	40歳代	66	21.9%	20.2%	14.5%
	50歳代	84	20.1%	20.9%	16.5%
	60歳代	113	22.3%	19.2%	13.2%
	70歳代	130	21.0%	15.3%	12.2%
	80歳以上	48	20.3%	14.1%	12.5%
	無回答	17	0.0%	42.9%	14.3%
居住地区	東金地区	73	18.3%	18.3%	17.9%
	田間地区	60	22.4%	18.2%	14.5%
	嶺南地区	43	16.0%	16.0%	19.2%
	城西地区	29	25.0%	16.7%	13.9%
	日吉台地区	42	25.0%	20.2%	7.1%
	公平地区	37	24.7%	19.1%	10.1%
	丘山地区	26	20.7%	20.7%	12.1%
	大和地区	29	20.7%	16.1%	12.6%
	正気地区	58	25.3%	19.9%	15.1%
	豊成地区	43	19.6%	20.6%	15.9%
	福岡地区	38	21.4%	28.6%	11.9%
	源地区	21	18.6%	18.6%	20.9%
	無回答	48	18.9%	18.9%	14.6%

(4) デジタル技術を活用して拡充・新規導入を期待するサービス

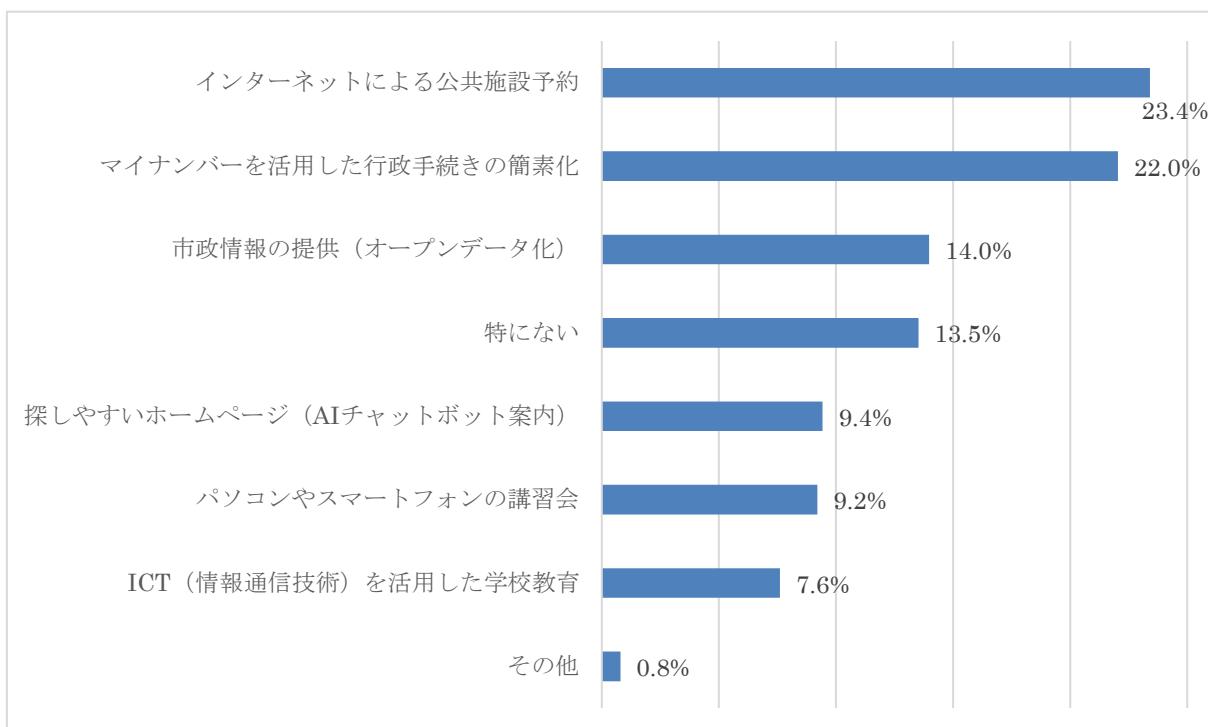
問 46 デジタル技術を活用して拡充・新規導入を期待するサービスについて、あてはまるものをすべて選んでください。



「インターネットによる公共施設予約」が第1位。次いで「マイナンバーを活用した行政手続きの簡素化」、「市政情報の提供（オープンデータ化）」の順。

デジタル技術を活用して拡充・新規導入を期待するサービスについてたずねたところ、「インターネットによる公共施設予約」(23.4%)が最も多く、次いで「マイナンバーを活用した行政手続きの簡素化」(22.0%)、「市政情報の提供（オープンデータ化）」(14.0%)となっています。

図表 81 デジタル技術を活用して拡充・新規導入を期待するサービス（全体）



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

図表 82 ジタル技術を活用して拡充・新規導入を期待するサービス(全体・属性別)

		合計 (人)	インターネットによる公共施設 予約	マイナンバーを 活用した行政手 続きの簡素化	市政情報の提供 (オープンデータ化)
	全体	547	23.4%	22.0%	14.0%
性別	男性	239	24.4%	21.6%	16.8%
	女性	271	22.5%	23.0%	11.5%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	16.7%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	7	33.3%	22.2%	0.0%
	20歳代	26	27.1%	22.0%	10.2%
	30歳代	56	27.2%	21.9%	14.0%
	40歳代	66	28.1%	22.2%	10.4%
	50歳代	84	25.2%	25.2%	15.9%
	60歳代	113	19.1%	23.5%	15.3%
	70歳代	130	22.2%	16.4%	15.2%
	80歳以上	48	11.1%	27.8%	16.7%
居住地区	東金地区	73	21.3%	21.3%	16.9%
	田間地区	60	20.4%	20.4%	13.3%
	嶺南地区	43	28.8%	19.7%	16.7%
	城西地区	29	25.0%	35.0%	10.0%
	日吉台地区	42	26.8%	25.0%	10.7%
	公平地区	37	16.7%	24.1%	11.1%
	丘山地区	26	28.1%	9.4%	9.4%
	大和地区	29	23.3%	18.3%	15.0%
	正気地区	58	28.4%	17.9%	12.6%
	豊成地区	43	24.3%	27.0%	17.6%
	福岡地区	38	25.8%	25.8%	9.7%
	源地区	21	16.0%	32.0%	12.0%
	無回答	48	21.4%	21.4%	15.3%

(5) デジタル技術に対する不安

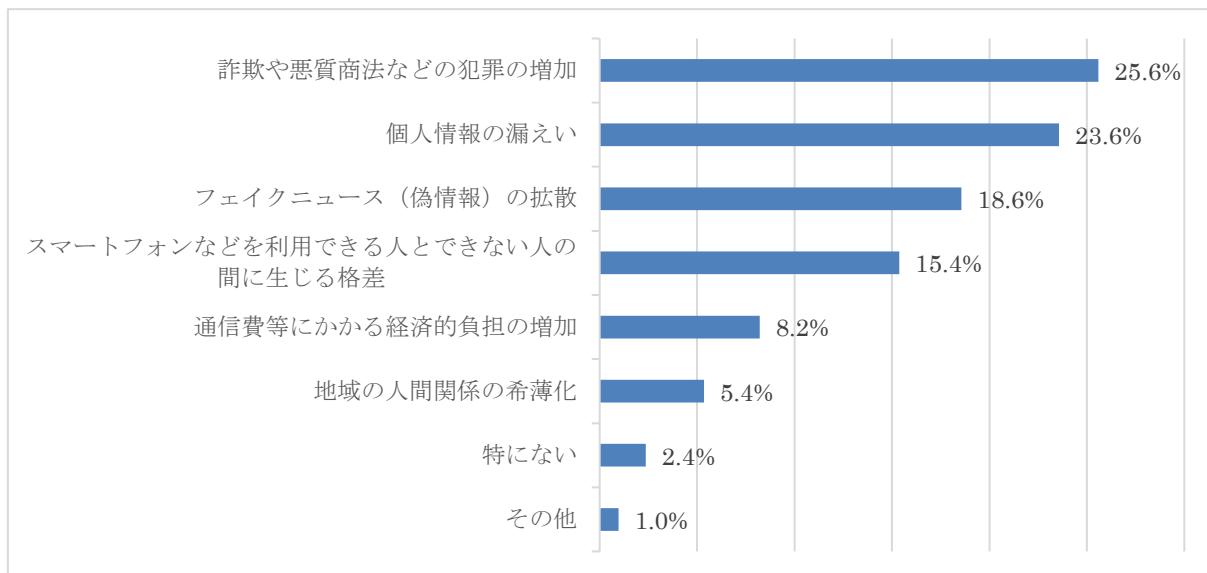
問 47 デジタル技術に対する不安について、あてはまるものをすべて選んでください。



「詐欺や悪質商法などの犯罪の増加」が第1位。次いで「個人情報の漏えい」、「フェイクニュース（偽情報）の拡散」の順。

デジタル技術に対する不安についてたずねたところ、「詐欺や悪質商法などの犯罪の増加」（25.6%）が最も多く、次いで「個人情報の漏えい」（23.6%）、「フェイクニュース（偽情報）の拡散」（18.6%）となっています。

図表 83 デジタル技術に対する不安(全体)



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

図表 84 デジタル技術に対する不安(全体、属性別)

		合計 (人)	詐欺や悪質商法などの犯罪の増加	個人情報の漏えい	フェイクニュース(偽情報)の拡散
	全体	547	25.6%	23.6%	15.4%
性別	男性	239	26.3%	23.2%	18.5%
	女性	271	26.3%	25.1%	16.1%
	選べない・答えたくない	4	16.7%	16.7%	16.7%
	無回答	33	4.8%	4.8%	61.9%
年齢	10歳代	7	27.8%	22.2%	27.8%
	20歳代	26	21.8%	24.4%	17.9%
	30歳代	56	23.8%	30.5%	19.2%
	40歳代	66	27.2%	24.8%	17.0%
	50歳代	84	25.8%	24.2%	17.7%
	60歳代	113	26.6%	23.7%	16.9%
	70歳代	130	26.3%	20.8%	18.7%
	80歳以上	48	26.7%	21.0%	15.2%
	無回答	17	4.3%	4.3%	69.6%
居住地区	東金地区	73	27.2%	24.1%	16.9%
	田間地区	60	25.3%	22.7%	20.1%
	嶺南地区	43	25.0%	24.2%	21.0%
	城西地区	29	26.7%	24.0%	14.7%
	日吉台地区	42	27.4%	26.4%	18.9%
	公平地区	37	23.0%	25.7%	15.0%
	丘山地区	26	24.2%	19.4%	17.7%
	大和地区	29	26.2%	22.6%	15.5%
	正気地区	58	26.2%	22.0%	18.9%
	豊成地区	43	26.9%	25.9%	13.9%
	福岡地区	38	18.9%	16.2%	33.8%
	源地区	21	25.0%	20.0%	22.5%
	無回答	48	26.6%	26.6%	18.0%

12 男女共同参画について

(1)社会全体の男女の地位

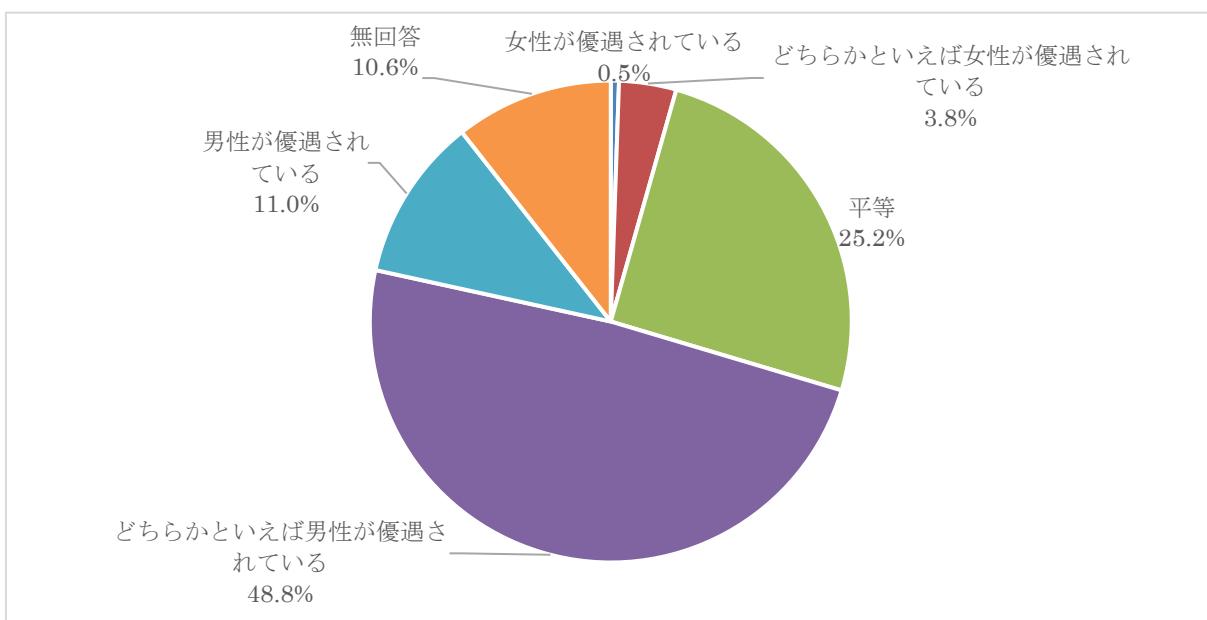
問26 社会全体で見た場合に、男女の地位は平等になっていると思いますか。



「平等」が25.2%、「男性が優遇されている」が59.8%、「女性が優遇されている」が4.3%。

社会全体の男女の地位についてたずねたところ、「男性が優遇されている」（「男性が優遇されている」（11.0%）と「どちらかといえば男性が優遇されている」（48.8%）との合計）と答えた人は59.8%でした。これに対し、「女性が優遇されている」（「どちらかといえば女性が優遇されている」（3.8%）と「女性が優遇されている」（0.5%）の合計）は4.3%となっています。なお、「平等」は25.2%となっています。

図表 85 社会全体の男女の地位(全体)



図表 86 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
第29回	11.0%	48.8%	25.2%	3.8%	0.5%	10.6%
第28回	11.5%	36.6%	11.9%	4.1%	1.3%	15.8%
第27回	11.5%	36.8%	14.7%	1.9%	1.6%	31.1%
第26回	14.0%	38.9%	11.7%	2.9%	1.4%	29.0%

図表 87 社会全体の男女の地位(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.5%	3.8%	25.2%	48.8%	11.0%	10.6%
性別	男性	239	0.8%	5.0%	35.6%	45.6%	9.6%	3.3%
	女性	271	0.4%	3.0%	18.8%	57.2%	13.3%	7.4%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%
	20歳代	26	0.0%	7.7%	50.0%	26.9%	15.4%	0.0%
	30歳代	56	3.6%	10.7%	30.4%	39.3%	14.3%	1.8%
	40歳代	66	1.5%	6.1%	24.2%	54.5%	12.1%	1.5%
	50歳代	84	0.0%	3.6%	28.6%	53.6%	11.9%	2.4%
	60歳代	113	0.0%	1.8%	21.2%	62.8%	8.8%	5.3%
	70歳代	130	0.0%	2.3%	23.1%	45.4%	9.2%	20.0%
	80歳以上	48	0.0%	2.1%	25.0%	47.9%	12.5%	12.5%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	0.0%	2.7%	31.5%	54.8%	5.5%	5.5%
	田間地区	60	1.7%	3.3%	25.0%	55.0%	11.7%	3.3%
	嶺南地区	43	2.3%	2.3%	27.9%	44.2%	23.3%	0.0%
	城西地区	29	0.0%	6.9%	24.1%	51.7%	10.3%	6.9%
	日吉台地区	42	0.0%	0.0%	28.6%	45.2%	16.7%	9.5%
	公平地区	37	0.0%	2.7%	21.6%	62.2%	8.1%	5.4%
	丘山地区	26	0.0%	0.0%	15.4%	46.2%	7.7%	30.8%
	大和地区	29	0.0%	17.2%	17.2%	51.7%	13.8%	0.0%
	正気地区	58	1.7%	1.7%	36.2%	44.8%	10.3%	5.2%
	豊成地区	43	0.0%	2.3%	25.6%	46.5%	16.3%	9.3%
	福岡地区	38	0.0%	2.6%	13.2%	34.2%	2.6%	47.4%
	源地区	21	0.0%	4.8%	19.0%	38.1%	14.3%	23.8%
	無回答	48	0.0%	8.3%	22.9%	50.0%	6.3%	12.5%

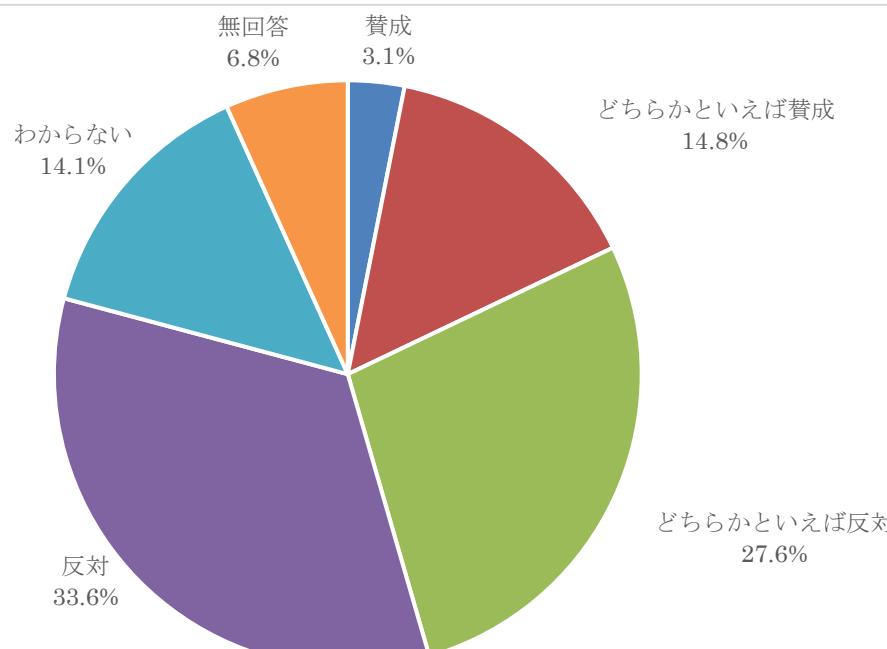
(2)性別による役割分担

問 26 「男性は仕事、女性は育児・家事」という考え方についてどのように思いましたか。

▼
“賛成”が17.9%、“反対”が61.2%。

「男性は仕事、女性は育児・家事」という考え方についてどのように思うかたずねたところ、“賛成”（「賛成」3.1%）と「どちらかといえば賛成」（14.8%）との合計）と答えた人は17.9%でした。これに対し、“反対”（「どちらかといえば反対」（27.6%）と「反対」（33.6%）の合計）は61.2%となっています。なお、「わからない」は14.1%となっています。

図表 88 性別による役割分担(全体)



図表 89 過去からのアンケート結果推移(全体)

	賛成	どちらかといえれば賛成	どちらかといえれば反対	反対	わからない
第 29 回	3.1%	14.8%	27.6%	33.6%	14.1%
第 28 回	2.4%	16.2%	24.3%	26.0%	12.6%

図表 90 性別による役割分担(全体、属性別)

		合 計 (人)	賛成	どちら かとい えば贊 成	どちら かとい えば反 対	反対	わから ない	無回答
	全体	547	3.1%	14.8%	27.6%	33.6%	14.1%	6.8%
性 別	男性	239	4.6%	19.2%	28.0%	30.1%	13.4%	4.6%
	女性	271	2.2%	12.5%	29.9%	37.6%	10.3%	7.4%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	3.0%	3.0%	24.2%	51.5%	18.2%
年 齢	10歳代	7	14.3%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	7.7%	19.2%	23.1%	42.3%	7.7%	0.0%
	30歳代	56	8.9%	14.3%	26.8%	37.5%	12.5%	0.0%
	40歳代	66	0.0%	19.7%	25.8%	39.4%	13.6%	1.5%
	50歳代	84	3.6%	9.5%	36.9%	38.1%	10.7%	1.2%
	60歳代	113	2.7%	15.9%	31.9%	30.1%	14.2%	5.3%
	70歳代	130	1.5%	11.5%	25.4%	33.1%	16.2%	12.3%
	80歳以上	48	2.1%	27.1%	27.1%	18.8%	8.3%	16.7%
	無回答	17	0.0%	5.9%	0.0%	23.5%	47.1%	23.5%
居住 地 区	東金地区	73	5.5%	19.2%	26.0%	28.8%	12.3%	8.2%
	田間地区	60	3.3%	21.7%	35.0%	28.3%	5.0%	6.7%
	嶺南地区	43	2.3%	18.6%	23.3%	44.2%	11.6%	0.0%
	城西地区	29	6.9%	27.6%	10.3%	41.4%	6.9%	6.9%
	日吉台地区	42	2.4%	14.3%	16.7%	42.9%	21.4%	2.4%
	公平地区	37	2.7%	2.7%	37.8%	48.6%	8.1%	0.0%
	丘山地区	26	0.0%	11.5%	23.1%	30.8%	19.2%	15.4%
	大和地区	29	3.4%	27.6%	27.6%	27.6%	6.9%	6.9%
	正気地区	58	5.2%	6.9%	31.0%	34.5%	15.5%	6.9%
	豊成地区	43	0.0%	16.3%	32.6%	30.2%	14.0%	7.0%
	福岡地区	38	0.0%	2.6%	21.1%	28.9%	36.8%	10.5%
	源地区	21	0.0%	14.3%	23.8%	42.9%	14.3%	4.8%
	無回答	48	4.2%	10.4%	37.5%	20.8%	14.6%	12.5%

(3)分野別の男女の地位

問 27 次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

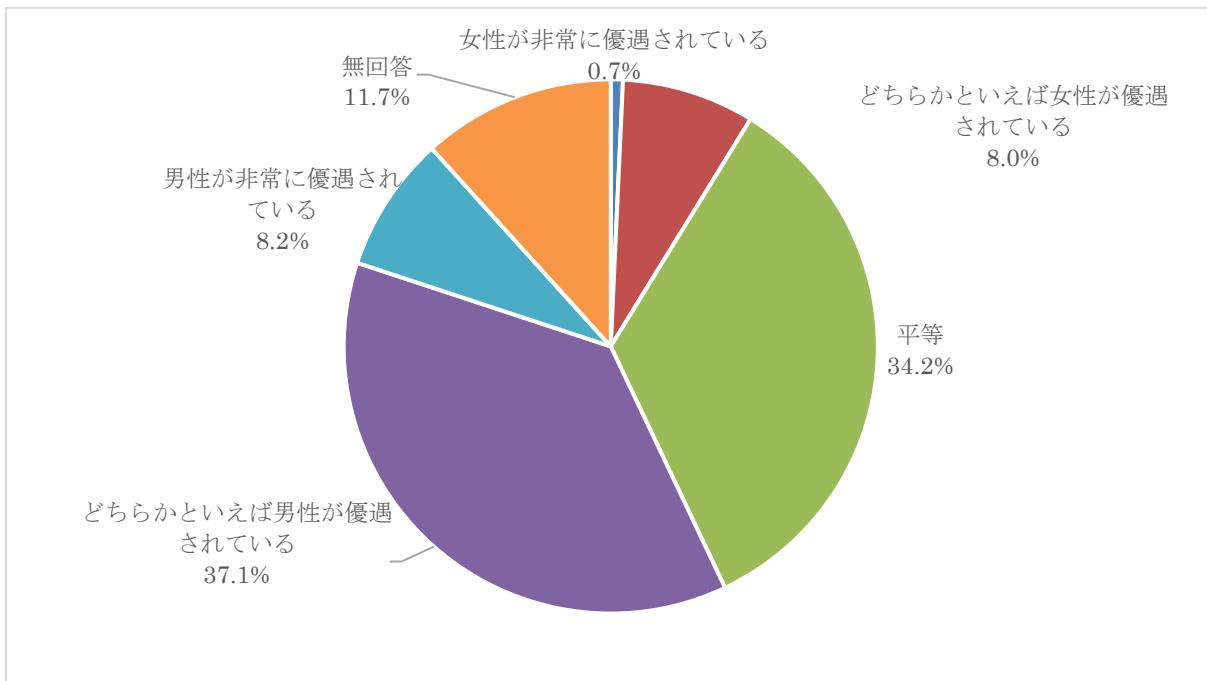


①【家庭生活の場】

「平等」が 34.2%、 “男性が優遇されている” が 45.3%、 “女性が優遇されている” が 8.7%。

家庭生活の場における男女の地位についてたずねたところ、“男性が優遇されている”（「男性の方が非常に優遇されている」（8.2%）と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（37.1%）との合計）と答えた人は 45.3%でした。これに対し、“女性が優遇されている”（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（8.0%）と「女性の方が非常に優遇されている」（0.7%）の合計）は 8.7%となっています。なお、「平等」は 34.2%となっています。

図表 91 分野別の男女の地位【家庭生活の場】(全体)



図表 92 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答
第 29 回	8.2%	37.1%	34.2%	8.0%	0.7%	11.7%
第 28 回	9.1%	28.3%	34.2%	8.6%	2.8%	11.2%

図表 93 分野別の男女の地位【家庭生活の場】(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.7%	8.0%	34.2%	37.1%	8.2%	11.7%
性別	男性	239	0.4%	11.7%	39.3%	37.7%	4.6%	6.3%
	女性	271	1.1%	5.9%	32.8%	41.3%	11.8%	7.0%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	14.3%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%
	20歳代	26	7.7%	26.9%	42.3%	19.2%	3.8%	0.0%
	30歳代	56	0.0%	8.9%	39.3%	33.9%	14.3%	3.6%
	40歳代	66	0.0%	12.1%	39.4%	37.9%	9.1%	1.5%
	50歳代	84	1.2%	8.3%	32.1%	47.6%	9.5%	1.2%
	60歳代	113	0.0%	5.3%	39.8%	42.5%	6.2%	6.2%
	70歳代	130	0.0%	4.6%	26.9%	37.7%	8.5%	22.3%
	80歳以上	48	0.0%	10.4%	33.3%	31.3%	8.3%	16.7%
	無回答	17	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	0.0%	6.8%	41.1%	43.8%	1.4%	6.8%
	田間地区	60	3.3%	6.7%	36.7%	41.7%	8.3%	3.3%
	嶺南地区	43	0.0%	11.6%	37.2%	39.5%	11.6%	0.0%
	城西地区	29	0.0%	3.4%	27.6%	48.3%	13.8%	6.9%
	日吉台地区	42	0.0%	7.1%	47.6%	16.7%	19.0%	9.5%
	公平地区	37	0.0%	13.5%	29.7%	43.2%	10.8%	2.7%
	丘山地区	26	0.0%	0.0%	30.8%	34.6%	3.8%	30.8%
	大和地区	29	0.0%	6.9%	37.9%	51.7%	3.4%	0.0%
	正気地区	58	0.0%	6.9%	34.5%	39.7%	12.1%	6.9%
	豊成地区	43	4.7%	9.3%	32.6%	27.9%	7.0%	18.6%
	福岡地区	38	0.0%	2.6%	21.1%	21.1%	5.3%	50.0%
	源地区	21	0.0%	14.3%	19.0%	28.6%	14.3%	23.8%
	無回答	48	0.0%	14.6%	31.3%	39.6%	2.1%	12.5%

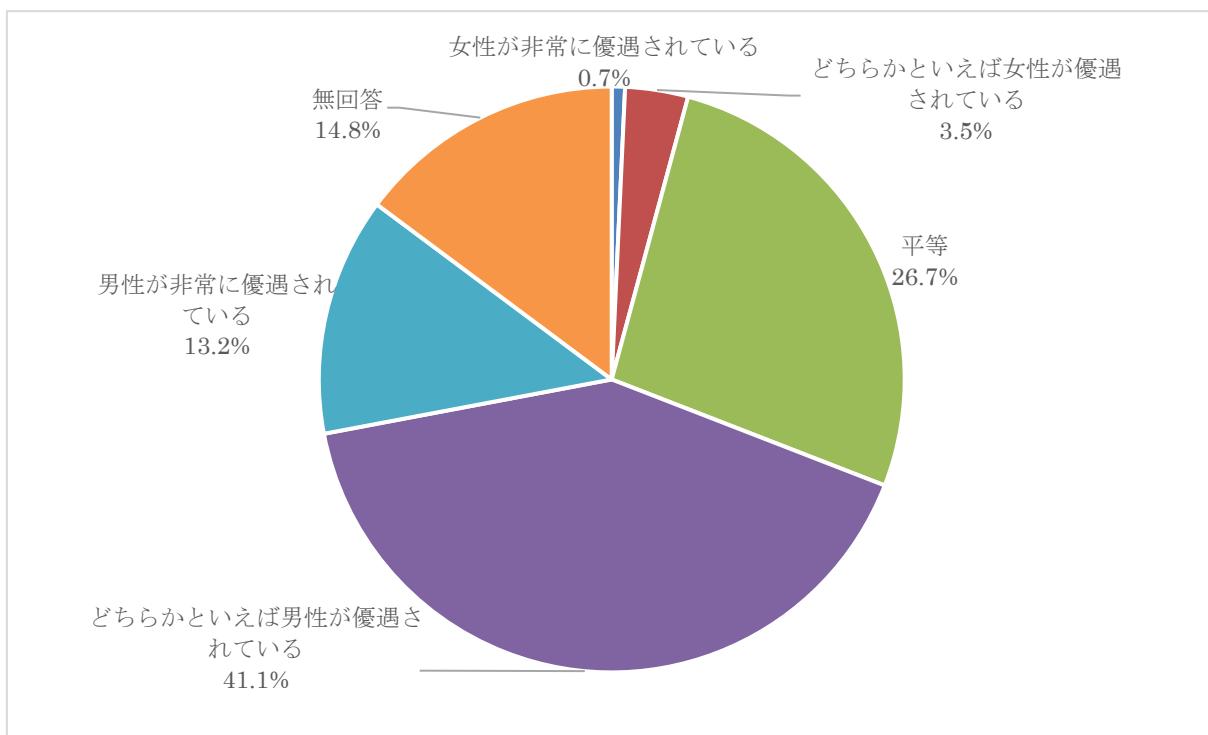
▼

② 【職場】

「平等」が 26.7%、 “男性が優遇されている” が 54.3%、 “女性が優遇されている” が 4.2%。

職場における男女の地位についてたずねたところ、“男性が優遇されている”（「男性の方が非常に優遇されている」（13.2%）と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（41.1%）との合計）と答えた人は 54.3%でした。これに対し、“女性が優遇されている”（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（3.5%）と「女性の方が非常に優遇されている」（0.7%）の合計）は 4.2%となっています。なお、「平等」は 26.7%となっています。

図表 94 分野別の男女の地位【職場】(全体)



図表 95 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
第 29 回	13.2%	41.1%	26.7%	3.5%	0.7%	14.8%
第 28 回	13.9%	35.9%	20.4%	3.5%	1.3%	17.1%

図表 96 分野別の男女の地位【職場】(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.7%	3.5%	26.7%	41.1%	13.2%	14.8%
性別	男性	239	0.8%	3.8%	32.2%	45.6%	10.0%	7.5%
	女性	271	0.7%	3.7%	24.7%	42.1%	16.6%	12.2%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	3.0%	6.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	7.7%	15.4%	42.3%	23.1%	11.5%	0.0%
	30歳代	56	1.8%	3.6%	30.4%	44.6%	17.9%	1.8%
	40歳代	66	0.0%	4.5%	33.3%	45.5%	16.7%	0.0%
	50歳代	84	0.0%	7.1%	34.5%	42.9%	14.3%	1.2%
	60歳代	113	0.0%	1.8%	27.4%	49.6%	13.3%	8.0%
	70歳代	130	0.0%	1.5%	21.5%	36.9%	10.0%	30.0%
	80歳以上	48	2.1%	0.0%	10.4%	41.7%	14.6%	31.3%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	1.4%	1.4%	26.0%	50.7%	11.0%	9.6%
	田間地区	60	3.3%	1.7%	36.7%	30.0%	18.3%	10.0%
	嶺南地区	43	0.0%	4.7%	20.9%	53.5%	20.9%	0.0%
	城西地区	29	0.0%	6.9%	34.5%	27.6%	17.2%	13.8%
	日吉台地区	42	0.0%	0.0%	26.2%	40.5%	19.0%	14.3%
	公平地区	37	0.0%	2.7%	43.2%	35.1%	10.8%	8.1%
	丘山地区	26	0.0%	0.0%	15.4%	38.5%	15.4%	30.8%
	大和地区	29	0.0%	10.3%	20.7%	55.2%	10.3%	3.4%
	正気地区	58	1.7%	0.0%	34.5%	44.8%	10.3%	8.6%
	豊成地区	43	0.0%	7.0%	23.3%	37.2%	11.6%	20.9%
	福岡地区	38	0.0%	2.6%	7.9%	26.3%	13.2%	50.0%
	源地区	21	0.0%	9.5%	19.0%	33.3%	4.8%	33.3%
	無回答	48	0.0%	6.3%	25.0%	50.0%	6.3%	12.5%

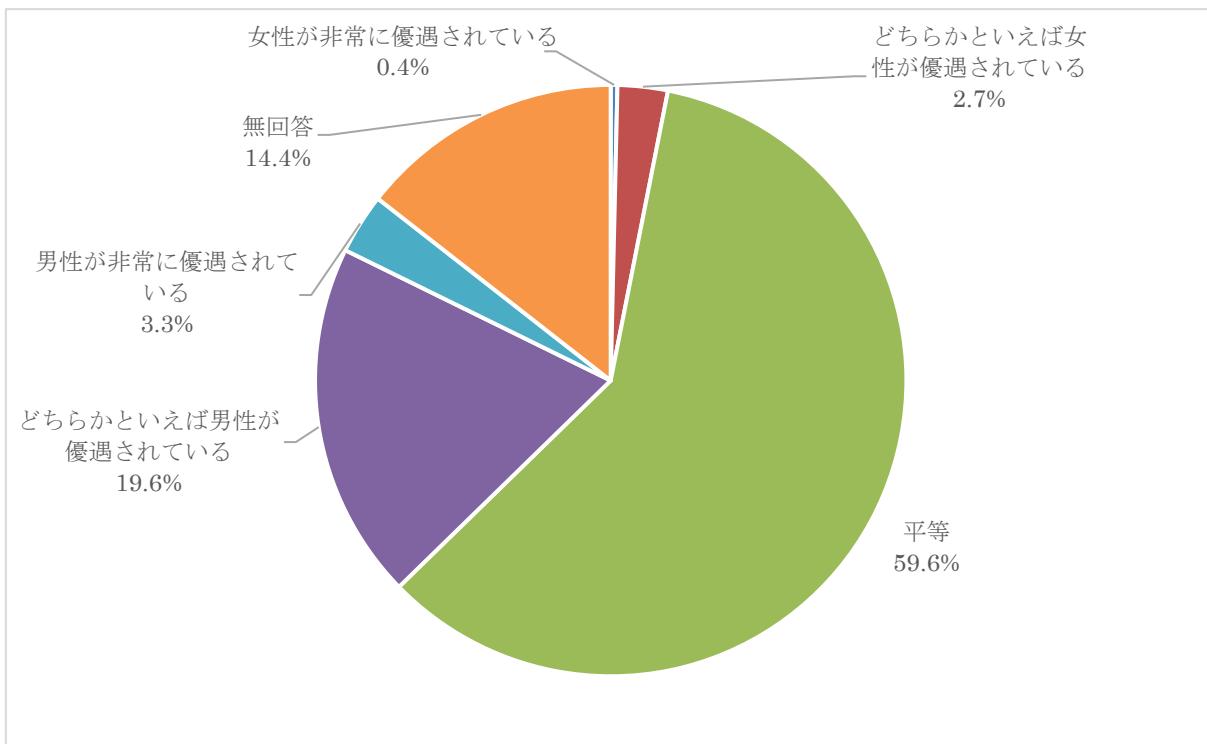
▼

③【学校教育の場】

「平等」が 59.6%、 “男性が優遇されている” が 22.9%、 “女性が優遇されている” が 3.1%。

学校教育の場における男女の地位についてたずねたところ、“男性が優遇されている”（「男性の方が非常に優遇されている」（3.3%）と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（19.6%）との合計）と答えた人は 22.9%でした。これに對し、“女性が優遇されている”（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（2.7%）と「女性の方が非常に優遇されている」（0.4%）の合計）は 3.1%となっています。なお、「平等」は 59.6%となっています。

図表 97 分野別の男女の地位【学校教育の場】(全体)



図表 98 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答
第 29 回	3.3%	19.6%	59.6%	2.7%	0.4%	14.4%
第 28 回	3.7%	14.3%	40.7%	2.0%	0.4%	29.9%

図表 99 分野別の男女の地位【学校教育の場】(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.4%	2.7%	59.6%	19.6%	3.3%	14.4%
性別	男性	239	0.4%	2.9%	68.2%	15.9%	2.9%	9.6%
	女性	271	0.4%	3.0%	58.7%	20.3%	4.1%	13.7%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	3.0%	39.4%	0.0%	57.6%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%
	20歳代	26	3.8%	11.5%	65.4%	11.5%	7.7%	0.0%
	30歳代	56	0.0%	5.4%	69.6%	16.1%	7.1%	1.8%
	40歳代	66	0.0%	1.5%	65.2%	24.2%	4.5%	4.5%
	50歳代	84	0.0%	1.2%	75.0%	20.2%	1.2%	2.4%
	60歳代	113	0.0%	1.8%	68.1%	17.7%	2.7%	9.7%
	70歳代	130	0.0%	3.8%	46.9%	17.7%	2.3%	29.2%
	80歳以上	48	2.1%	0.0%	43.8%	18.8%	4.2%	31.3%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	52.9%	0.0%	47.1%
居住地区	東金地区	73	0.0%	5.5%	54.8%	26.0%	1.4%	12.3%
	田間地区	60	0.0%	0.0%	71.7%	16.7%	0.0%	11.7%
	嶺南地区	43	0.0%	2.3%	60.5%	27.9%	7.0%	2.3%
	城西地区	29	0.0%	3.4%	58.6%	20.7%	10.3%	6.9%
	日吉台地区	42	0.0%	2.4%	57.1%	19.0%	7.1%	14.3%
	公平地区	37	0.0%	0.0%	67.6%	13.5%	2.7%	16.2%
	丘山地区	26	0.0%	0.0%	42.3%	38.5%	0.0%	19.2%
	大和地区	29	0.0%	0.0%	89.7%	6.9%	3.4%	0.0%
	正気地区	58	3.4%	6.9%	60.3%	13.8%	5.2%	10.3%
	豊成地区	43	0.0%	0.0%	48.8%	18.6%	4.7%	27.9%
	福岡地区	38	0.0%	2.6%	34.2%	21.1%	2.6%	39.5%
	源地区	21	0.0%	4.8%	52.4%	23.8%	0.0%	19.0%
	無回答	48	0.0%	4.2%	70.8%	12.5%	0.0%	12.5%

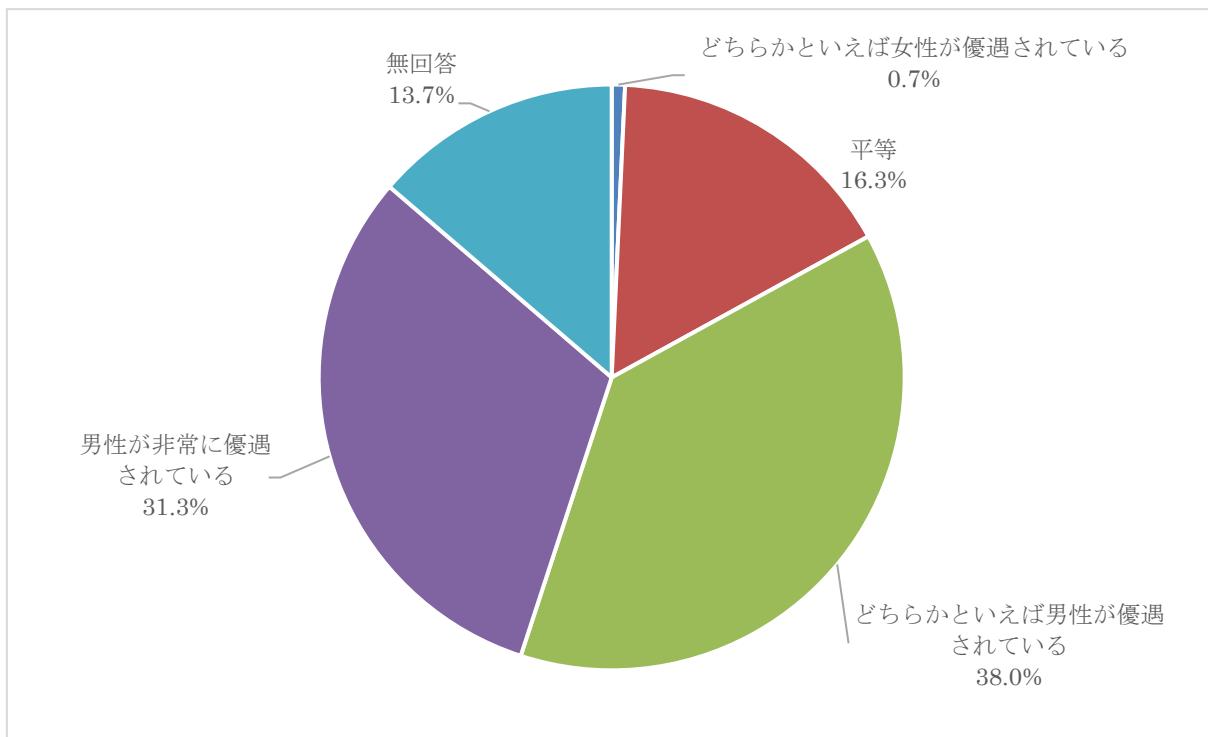
▼

④ 【政治の場】

「平等」が 16.3%、 “男性が優遇されている” が 69.3%、 “女性が優遇されている” が 0.7%。

政治の場における男女の地位についてたずねたところ、“男性が優遇されている”（「男性の方が非常に優遇されている」（31.3%）と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（38.0%）との合計）と答えた人は 69.3%でした。これに對し、“女性が優遇されている”（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（0.7%）と「女性の方が非常に優遇されている」（0.0%）の合計）は 0.7%となっています。なお、「平等」は 16.3%となっています。

図表 100 分野別の男女の地位【政治の場】(全体)



図表 101 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答
第 29 回	31.3%	38.0%	16.3%	0.7%	0.0%	13.7%
第 28 回	28.6%	37.4%	11.3%	0.9%	0.2%	15.1%

図表 102 分野別の男女の地位【政治の場】(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.0%	0.7%	16.3%	38.0%	31.3%	13.7%
性別	男性	239	0.0%	0.4%	23.4%	43.9%	25.1%	7.1%
	女性	271	0.0%	1.1%	11.4%	38.0%	39.1%	10.3%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	6.1%	90.9%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%
	20歳代	26	0.0%	3.8%	26.9%	26.9%	42.3%	0.0%
	30歳代	56	0.0%	0.0%	16.1%	42.9%	39.3%	1.8%
	40歳代	66	0.0%	1.5%	15.2%	34.8%	47.0%	1.5%
	50歳代	84	0.0%	0.0%	14.3%	45.2%	38.1%	2.4%
	60歳代	113	0.0%	0.9%	20.4%	42.5%	29.2%	7.1%
	70歳代	130	0.0%	0.8%	14.6%	35.4%	23.1%	26.2%
	80歳以上	48	0.0%	0.0%	14.6%	43.8%	14.6%	27.1%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	88.2%
居住地区	東金地区	73	0.0%	0.0%	17.8%	45.2%	26.0%	11.0%
	田間地区	60	0.0%	1.7%	21.7%	40.0%	30.0%	6.7%
	嶺南地区	43	0.0%	2.3%	18.6%	41.9%	34.9%	2.3%
	城西地区	29	0.0%	0.0%	24.1%	31.0%	37.9%	6.9%
	日吉台地区	42	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%
	公平地区	37	0.0%	0.0%	21.6%	37.8%	37.8%	2.7%
	丘山地区	26	0.0%	0.0%	15.4%	30.8%	23.1%	30.8%
	大和地区	29	0.0%	0.0%	6.9%	55.2%	37.9%	0.0%
	正気地区	58	0.0%	1.7%	20.7%	41.4%	25.9%	10.3%
	豊成地区	43	0.0%	0.0%	9.3%	44.2%	23.3%	23.3%
	福岡地区	38	0.0%	0.0%	7.9%	26.3%	18.4%	47.4%
	源地区	21	0.0%	0.0%	9.5%	28.6%	38.1%	23.8%
	無回答	48	0.0%	2.1%	14.6%	31.3%	39.6%	12.5%

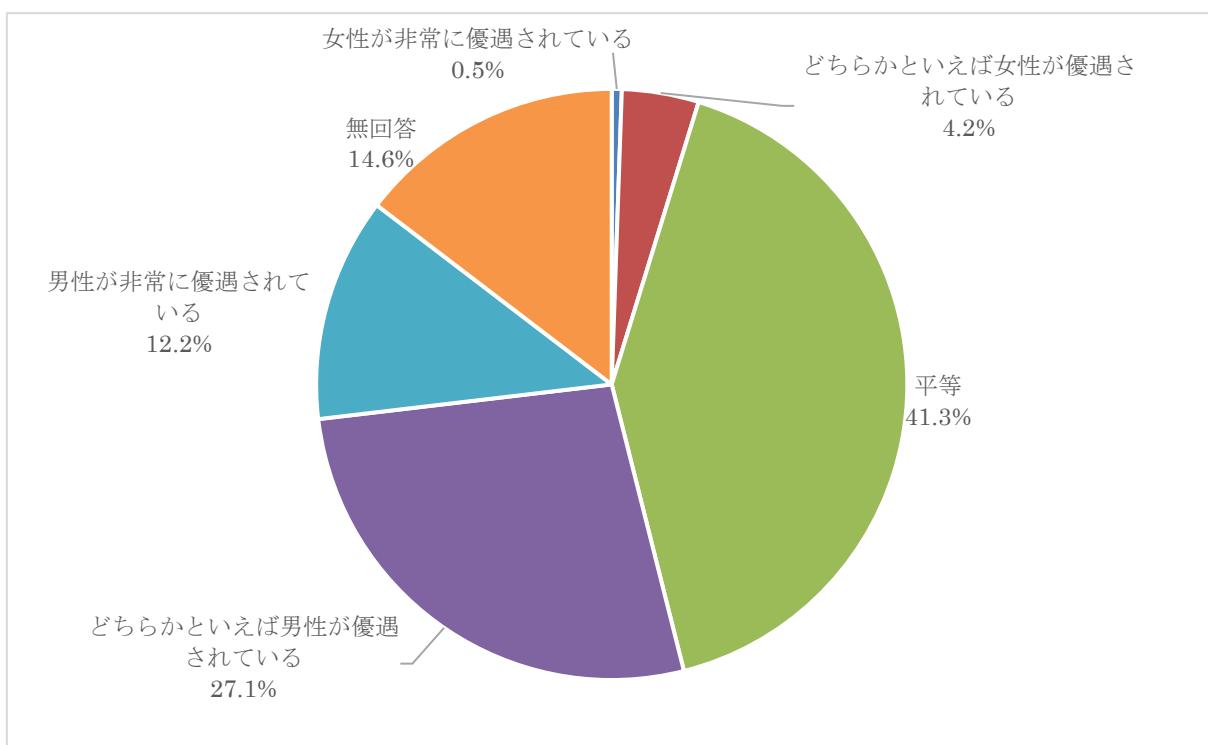
▼

⑤【法律や制度上】

「平等」が41.3%、「男性が優遇されている」が39.3%、「女性が優遇されている」が4.7%。

法律や制度上の男女の地位についてたずねたところ、「男性が優遇されている」（「男性の方が非常に優遇されている」（12.2%）と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（27.1%）との合計）と答えた人は39.3%でした。これに対し、「女性が優遇されている」（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（4.2%）と「女性の方が非常に優遇されている」（0.5%）の合計）は4.7%となっています。なお、「平等」は41.3%となっています。

図表 103 分野別の男女の地位【法律や制度上】(全体)



図表 104 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答
第29回	12.2%	27.1%	41.3%	4.2%	0.5%	14.6%
第28回	12.3%	26.0%	31.2%	3.3%	0.7%	19.1%

図表 105 分野別の男女の地位【法律や制度上】(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.5%	4.2%	41.3%	27.1%	12.2%	14.6%
性別	男性	239	1.3%	6.3%	51.9%	25.1%	8.8%	6.7%
	女性	271	0.0%	3.0%	36.5%	32.5%	15.5%	12.5%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	3.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%
	20歳代	26	0.0%	19.2%	61.5%	3.8%	15.4%	0.0%
	30歳代	56	1.8%	10.7%	33.9%	25.0%	26.8%	1.8%
	40歳代	66	1.5%	6.1%	40.9%	27.3%	22.7%	1.5%
	50歳代	84	0.0%	6.0%	51.2%	28.6%	13.1%	1.2%
	60歳代	113	0.0%	1.8%	46.9%	33.6%	8.8%	8.8%
	70歳代	130	0.8%	0.8%	34.6%	29.2%	6.2%	28.5%
	80歳以上	48	0.0%	0.0%	39.6%	29.2%	2.1%	29.2%
	無回答	17	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	88.2%
居住地区	東金地区	73	0.0%	2.7%	43.8%	34.2%	8.2%	11.0%
	田間地区	60	1.7%	3.3%	45.0%	25.0%	16.7%	8.3%
	嶺南地区	43	0.0%	4.7%	48.8%	23.3%	20.9%	2.3%
	城西地区	29	0.0%	3.4%	55.2%	24.1%	10.3%	6.9%
	日吉台地区	42	0.0%	0.0%	38.1%	33.3%	14.3%	14.3%
	公平地区	37	0.0%	0.0%	54.1%	27.0%	13.5%	5.4%
	丘山地区	26	0.0%	0.0%	34.6%	19.2%	15.4%	30.8%
	大和地区	29	3.4%	3.4%	44.8%	41.4%	6.9%	0.0%
	正気地区	58	0.0%	3.4%	46.6%	27.6%	13.8%	8.6%
	豊成地区	43	0.0%	4.7%	34.9%	23.3%	14.0%	23.3%
	福岡地区	38	0.0%	5.3%	18.4%	18.4%	5.3%	52.6%
	源地区	21	0.0%	9.5%	14.3%	38.1%	9.5%	28.6%
	無回答	48	2.1%	14.6%	41.7%	18.8%	8.3%	14.6%

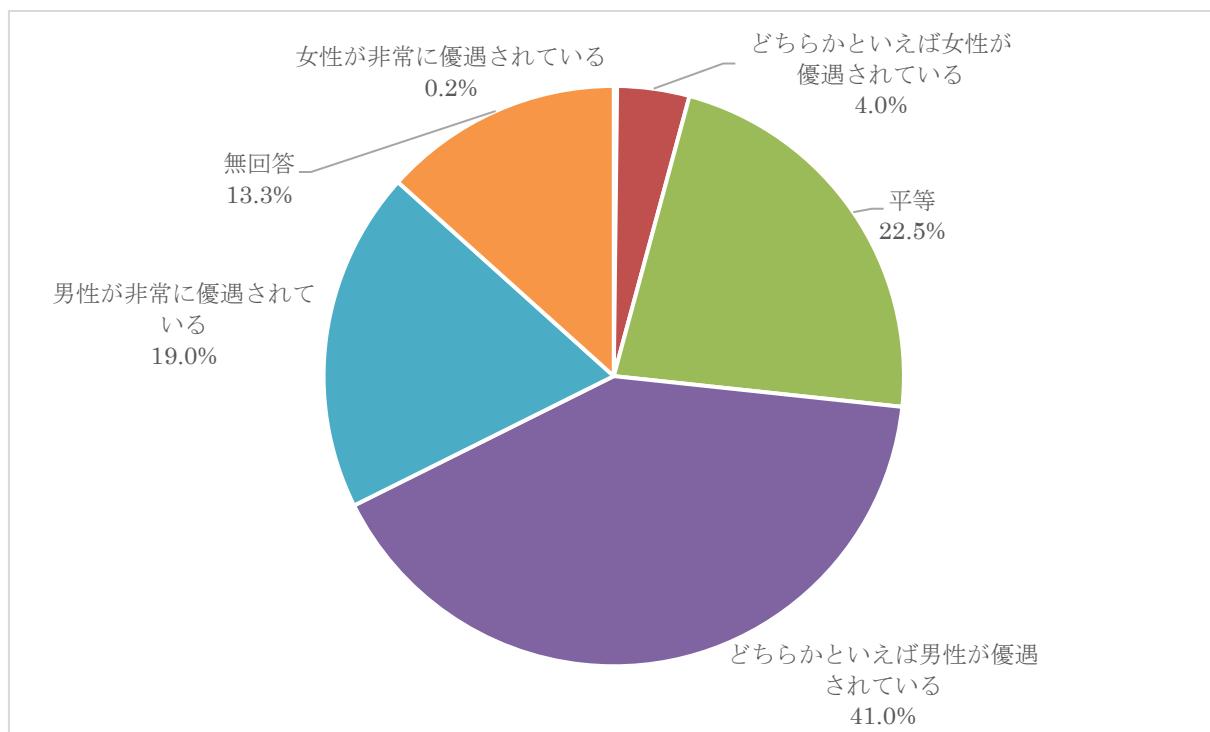
▼

⑥【社会通念や慣習など】

「平等」が 22.5%、 “男性が優遇されている” が 60.0%、 “女性が優遇されている” が 4.2%。

社会通念や慣習などにおける男女の地位についてたずねたところ、“男性が優遇されている”（「男性の方が非常に優遇されている」（19.0%）と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（41.0%）との合計）と答えた人は 60.0%でした。これに対し、“女性が優遇されている”（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（4.0%）と「女性の方が非常に優遇されている」（0.2%）の合計）は 4.2%となっています。なお、「平等」は 22.5%となっています。

図表 106 分野別の男女の地位【社会通念や慣習など】(全体)



図表 107 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答
第 29 回	19.0%	41.0%	22.5%	4.0%	0.2%	13.3%
第 28 回	15.4%	43.3%	15.2%	2.6%	0.7%	16.4%

図表 108 分野別の男女の地位【社会通念や慣習など】(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.2%	4.0%	22.5%	41.0%	19.0%	13.3%
性別	男性	239	0.0%	5.9%	29.7%	43.9%	13.8%	6.7%
	女性	271	0.4%	3.0%	18.5%	43.2%	25.1%	10.0%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	3.0%	6.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	0.0%	11.5%	50.0%	26.9%	11.5%	0.0%
	30歳代	56	0.0%	7.1%	33.9%	28.6%	28.6%	1.8%
	40歳代	66	1.5%	7.6%	22.7%	39.4%	27.3%	1.5%
	50歳代	84	0.0%	1.2%	19.0%	54.8%	23.8%	1.2%
	60歳代	113	0.0%	1.8%	24.8%	46.0%	20.4%	7.1%
	70歳代	130	0.0%	3.8%	17.7%	40.8%	10.8%	26.9%
	80歳以上	48	0.0%	4.2%	12.5%	41.7%	18.8%	22.9%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	0.0%	2.7%	26.0%	47.9%	13.7%	9.6%
	田間地区	60	0.0%	3.3%	28.3%	36.7%	25.0%	6.7%
	嶺南地区	43	0.0%	4.7%	34.9%	32.6%	25.6%	2.3%
	城西地区	29	0.0%	3.4%	17.2%	48.3%	24.1%	6.9%
	日吉台地区	42	0.0%	0.0%	31.0%	33.3%	23.8%	11.9%
	公平地区	37	0.0%	2.7%	24.3%	45.9%	24.3%	2.7%
	丘山地区	26	0.0%	3.8%	15.4%	34.6%	15.4%	30.8%
	大和地区	29	0.0%	6.9%	17.2%	62.1%	13.8%	0.0%
	正気地区	58	1.7%	3.4%	25.9%	43.1%	19.0%	6.9%
	豊成地区	43	0.0%	2.3%	18.6%	46.5%	9.3%	23.3%
	福岡地区	38	0.0%	2.6%	13.2%	21.1%	13.2%	50.0%
	源地区	21	0.0%	4.8%	0.0%	42.9%	23.8%	28.6%
	無回答	48	0.0%	12.5%	16.7%	39.6%	18.8%	12.5%

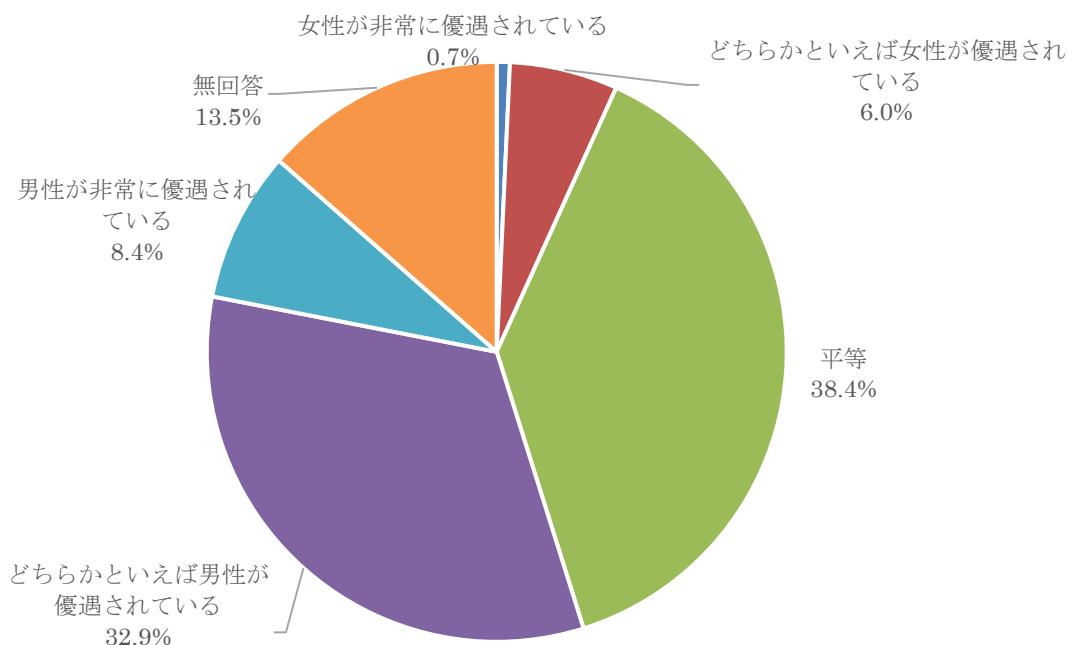
▼

⑦【地域活動の場】

「平等」が38.4%、「男性が優遇されている」が41.3%、「女性が優遇されている」が6.7%。

地域活動の場における男女の地位についてたずねたところ、「男性が優遇されている」（「男性の方が非常に優遇されている」（8.4%）と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（32.9%）との合計）と答えた人は41.3%でした。これに對し、「女性が優遇されている」（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（6.0%）と「女性の方が非常に優遇されている」（0.7%）の合計）は6.7%となっています。なお、「平等」は38.4%となっています。

図表 109 分野別の男女の地位【地域活動の場】(全体)



図表 110 過去からのアンケート結果推移(全体)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答
第29回	8.4%	32.9%	38.4%	6.0%	0.7%	13.5%
第28回	8.9%	27.7%	32.3%	4.8%	0.4%	19.3%

図表 111 分野別の男女の地位【地域活動の場】(全体、属性別)

		合計 (人)	女性が 優遇さ れてい る	どちら かとい えば女 性が優 遇され ている	平等	どちら かとい えば男 性が優 遇され ている	男性が 優遇さ れてい る	無回答
	全体	547	0.7%	6.0%	38.4%	32.9%	8.4%	13.5%
性別	男性	239	0.8%	7.9%	46.4%	32.6%	5.4%	6.7%
	女性	271	0.7%	5.2%	35.4%	36.9%	11.4%	10.3%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	0.0%	3.0%	6.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	0.0%	11.5%	57.7%	19.2%	11.5%	0.0%
	30歳代	56	0.0%	5.4%	53.6%	19.6%	17.9%	3.6%
	40歳代	66	0.0%	6.1%	48.5%	33.3%	9.1%	3.0%
	50歳代	84	0.0%	7.1%	35.7%	44.0%	11.9%	1.2%
	60歳代	113	2.7%	7.1%	35.4%	39.8%	8.8%	6.2%
	70歳代	130	0.0%	3.8%	33.1%	30.8%	3.1%	29.2%
	80歳以上	48	2.1%	8.3%	33.3%	35.4%	4.2%	16.7%
	無回答	17	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	1.4%	4.1%	37.0%	42.5%	2.7%	12.3%
	田間地区	60	1.7%	1.7%	53.3%	25.0%	8.3%	10.0%
	嶺南地区	43	0.0%	7.0%	46.5%	30.2%	14.0%	2.3%
	城西地区	29	3.4%	3.4%	41.4%	34.5%	10.3%	6.9%
	日吉台地区	42	0.0%	2.4%	45.2%	26.2%	11.9%	14.3%
	公平地区	37	0.0%	5.4%	48.6%	35.1%	5.4%	5.4%
	丘山地区	26	0.0%	11.5%	30.8%	19.2%	7.7%	30.8%
	大和地区	29	0.0%	17.2%	27.6%	44.8%	6.9%	3.4%
	正気地区	58	0.0%	3.4%	41.4%	37.9%	10.3%	6.9%
	豊成地区	43	0.0%	9.3%	30.2%	32.6%	11.6%	16.3%
	福岡地区	38	0.0%	7.9%	10.5%	21.1%	13.2%	47.4%
	源地区	21	0.0%	4.8%	28.6%	33.3%	9.5%	23.8%
	無回答	48	2.1%	8.3%	39.6%	37.5%	2.1%	10.4%

(4)言葉の認知度

問 29 次の言葉について、どの程度ご存知ですか。

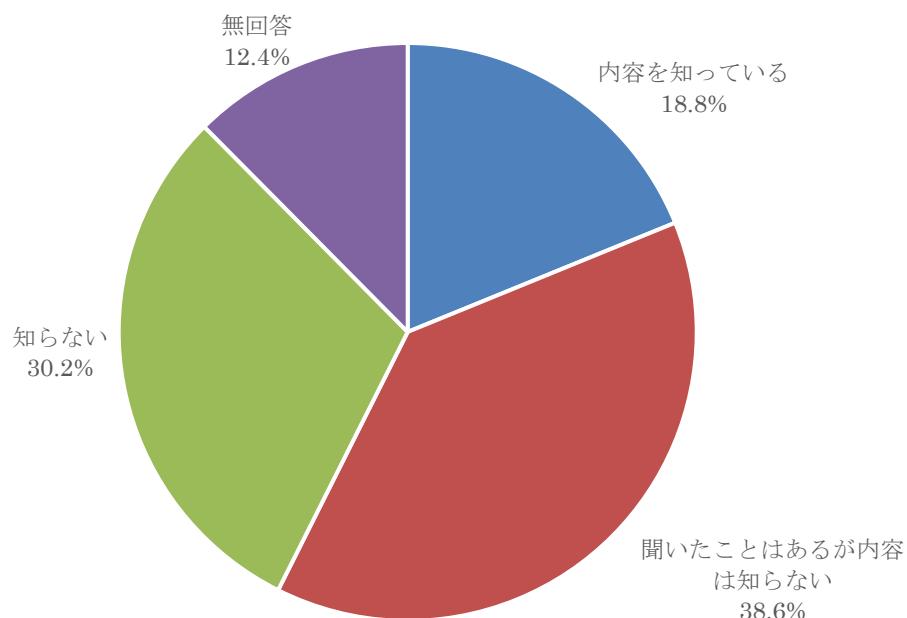


①【男女共同参画社会基本法】

“知っている”が57.4%、「知らない」が30.2%。

男女共同参画社会基本法という言葉を知っているかたずねたところ、“知っている”（「内容もよく知っている」（18.8%）と「聞いたことはあるが内容は知らない」（38.6%）との合計）と答えた人は57.4%でした。これに対し、「知らない」と答えた人は30.2%でした。

図表 112 言葉の認知度【男女共同参画社会基本法】(全体)



図表 113 過去からのアンケート結果推移(全体)

	内容もよく知っている	聞いたことはあるが 内容は知らない	知らない
第 29 回	18.8%	38.6%	30.2%
第 28 回	19.0%	48.3%	29.4%

図表 114 言葉の認知度【男女共同参画社会基本法】(全体、属性別)

		合計 (人)	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
	全体	547	18.8%	38.6%	30.2%	12.4%
性別	男性	239	20.5%	43.5%	30.5%	5.4%
	女性	271	18.8%	38.7%	33.2%	9.2%
	選べない・答えたくない	4	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	3.0%	3.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	46.2%	34.6%	19.2%	0.0%
	30歳代	56	30.4%	39.3%	30.4%	0.0%
	40歳代	66	12.1%	30.3%	56.1%	1.5%
	50歳代	84	11.9%	52.4%	33.3%	2.4%
	60歳代	113	23.0%	43.4%	26.5%	7.1%
	70歳代	130	13.8%	34.6%	26.9%	24.6%
	80歳以上	48	14.6%	41.7%	25.0%	18.8%
	無回答	17	5.9%	5.9%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	15.1%	42.5%	34.2%	8.2%
	田間地区	60	18.3%	53.3%	20.0%	8.3%
	嶺南地区	43	11.6%	46.5%	41.9%	0.0%
	城西地区	29	20.7%	34.5%	31.0%	13.8%
	日吉台地区	42	28.6%	28.6%	38.1%	4.8%
	公平地区	37	27.0%	35.1%	37.8%	0.0%
	丘山地区	26	11.5%	46.2%	11.5%	30.8%
	大和地区	29	10.3%	48.3%	34.5%	6.9%
	正気地区	58	17.2%	43.1%	34.5%	5.2%
	豊成地区	43	16.3%	39.5%	30.2%	14.0%
	福岡地区	38	13.2%	18.4%	18.4%	50.0%
	源地区	21	38.1%	14.3%	19.0%	28.6%
	無回答	48	25.0%	31.3%	29.2%	14.6%

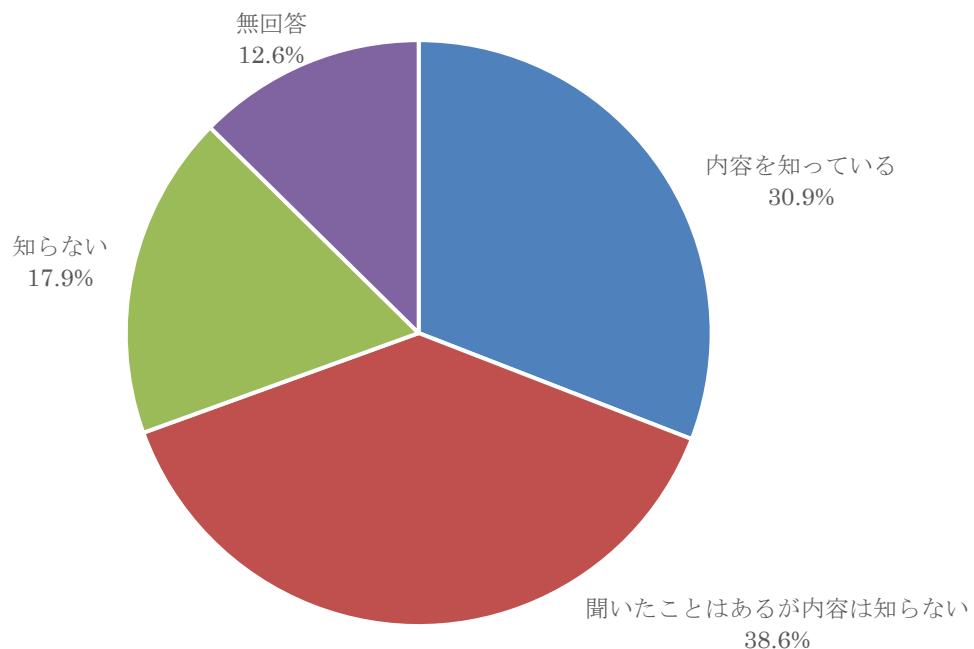


②【男女雇用機会均等法】

“知っている”が69.5%、「知らない」が17.9%。

男女雇用機会均等法という言葉を知っているかたずねたところ、“知っている”（「内容もよく知っている」（30.9%）と「聞いたことはあるが内容は知らない」（38.6%）との合計）と答えた人は69.5%でした。これに対し、「知らない」と答えた人は17.9%でした。

図表 115 言葉の認知度【男女雇用機会均等法】(全体)



図表 116 過去からのアンケート結果推移(全体)

	内容もよく知っている	聞いたことはあるが 内容は知らない	知らない
第 29 回	30.9%	38.6%	17.9%
第 28 回	31.8%	45.5%	18.4%

図表 117 言葉の認知度【男女雇用機会均等法】(全体、属性別)

		合計 (人)	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
	全体	547	30.9%	38.6%	17.9%	12.6%
性別	男性	239	33.9%	39.7%	20.1%	6.3%
	女性	271	31.7%	41.3%	18.1%	8.9%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	6.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	46.2%	30.8%	23.1%	0.0%
	30歳代	56	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%
	40歳代	66	31.8%	40.9%	24.2%	3.0%
	50歳代	84	34.5%	47.6%	15.5%	2.4%
	60歳代	113	36.3%	40.7%	15.0%	8.0%
	70歳代	130	23.8%	35.4%	16.9%	23.8%
	80歳以上	48	29.2%	37.5%	14.6%	18.8%
	無回答	17	5.9%	5.9%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	31.5%	31.5%	28.8%	8.2%
	田間地区	60	31.7%	38.3%	21.7%	8.3%
	嶺南地区	43	34.9%	48.8%	16.3%	0.0%
	城西地区	29	41.4%	34.5%	13.8%	10.3%
	日吉台地区	42	47.6%	31.0%	14.3%	7.1%
	公平地区	37	35.1%	48.6%	13.5%	2.7%
	丘山地区	26	23.1%	53.8%	0.0%	23.1%
	大和地区	29	27.6%	31.0%	34.5%	6.9%
	正気地区	58	24.1%	53.4%	17.2%	5.2%
	豊成地区	43	30.2%	41.9%	11.6%	16.3%
	福岡地区	38	10.5%	21.1%	15.8%	52.6%
	源地区	21	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%
	無回答	48	27.1%	41.7%	16.7%	14.6%

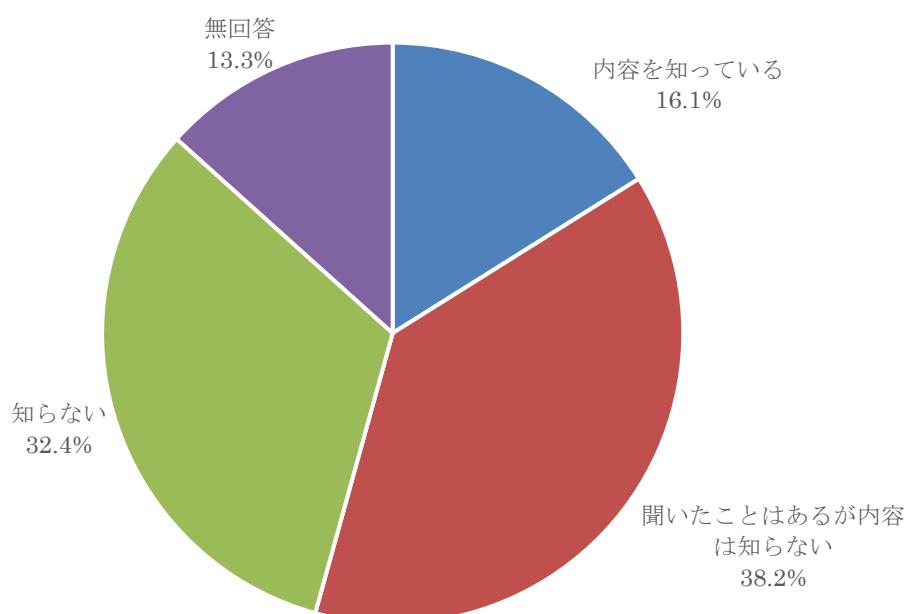
▼

③【女性活躍推進法】

“知っている”が54.3%、「知らない」が32.4%。

女性活躍推進法という言葉を知っているかたずねたところ、“知っている”（「内容もよく知っている」（16.1%）と「聞いたことはあるが内容は知らない」（38.2%）との合計）と答えた人は54.3%でした。これに対し、「知らない」と答えた人は32.4%でした。

図表 118 言葉の認知度【女性活躍推進法】(全体)



図表 119 過去からのアンケート結果推移(全体)

	内容もよく知っている	聞いたことはあるが 内容は知らない	知らない
第29回	16.1%	38.2%	32.4%
第28回	15.1%	48.0%	32.2%

図表 120 言葉の認知度【女性活躍推進法】(全体、属性別)

		合計 (人)	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
	全体	547	16.1%	38.2%	32.4%	13.3%
性別	男性	239	17.6%	41.8%	34.7%	5.9%
	女性	271	16.6%	38.4%	34.3%	10.7%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	9.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%
	20歳代	26	34.6%	34.6%	30.8%	0.0%
	30歳代	56	23.2%	37.5%	37.5%	1.8%
	40歳代	66	15.2%	42.4%	40.9%	1.5%
	50歳代	84	13.1%	52.4%	31.0%	3.6%
	60歳代	113	24.8%	32.7%	35.4%	7.1%
	70歳代	130	10.0%	32.3%	31.5%	26.2%
	80歳以上	48	4.2%	52.1%	22.9%	20.8%
	無回答	17	0.0%	11.8%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	16.4%	31.5%	43.8%	8.2%
	田間地区	60	11.7%	45.0%	36.7%	6.7%
	嶺南地区	43	9.3%	51.2%	39.5%	0.0%
	城西地区	29	13.8%	48.3%	24.1%	13.8%
	日吉台地区	42	26.2%	40.5%	28.6%	4.8%
	公平地区	37	13.5%	40.5%	40.5%	5.4%
	丘山地区	26	7.7%	26.9%	34.6%	30.8%
	大和地区	29	13.8%	51.7%	27.6%	6.9%
	正気地区	58	19.0%	44.8%	27.6%	8.6%
	豊成地区	43	11.6%	44.2%	25.6%	18.6%
	福岡地区	38	13.2%	15.8%	21.1%	50.0%
	源地区	21	19.0%	28.6%	23.8%	28.6%
	無回答	48	29.2%	25.0%	31.3%	14.6%

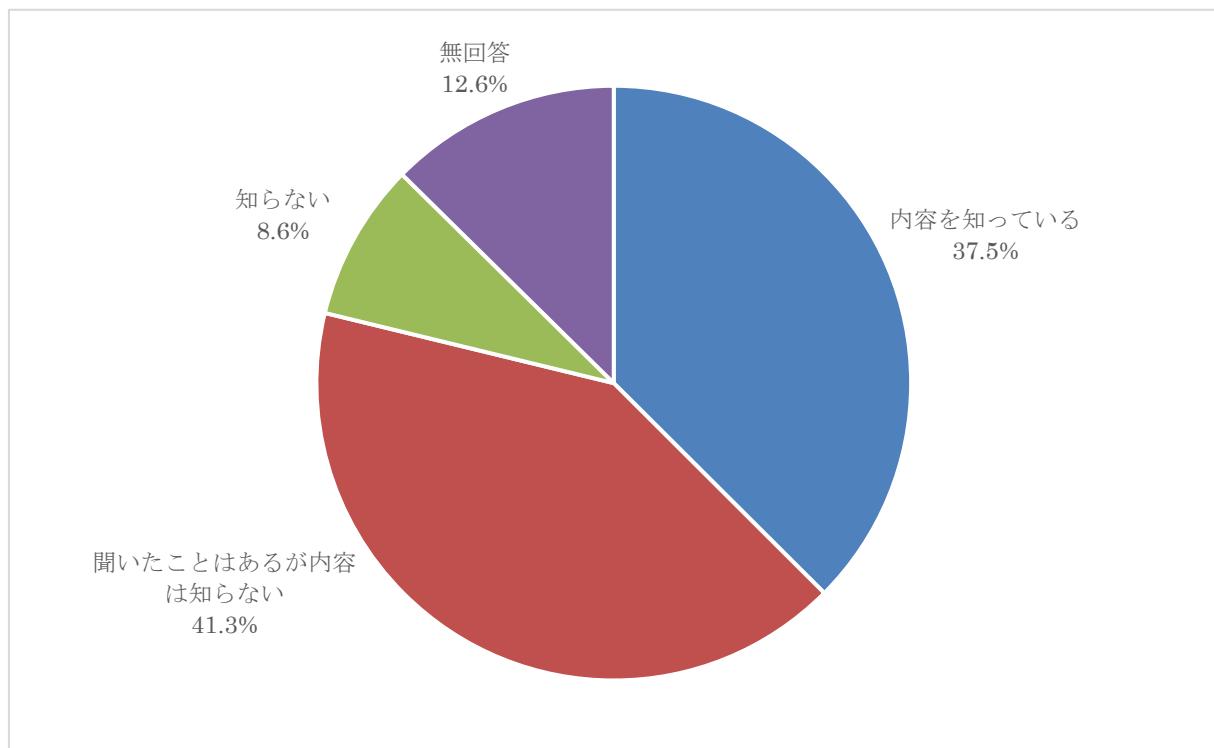
▼

④【DV防止法】

“知っている”が78.8%、「知らない」が8.6%。

DV防止法という言葉を知っているかたずねたところ、“知っている”（「内容もよく知っている」（37.5%）と「聞いたことはあるが内容は知らない」（41.3%）との合計）と答えた人は78.8%でした。これに対し、「知らない」と答えた人は8.6%でした。

図表 121 言葉の認知度【DV防止法】(全体)



図表 122 過去からのアンケート結果推移(全体)

	内容もよく知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
第 29 回	37.5%	41.3%	8.6%
第 28 回	38.8%	47.4%	9.5%

図表 123 言葉の認知度【DV防止法】(全体、属性別)

		合計 (人)	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
	全体	547	37.5%	41.3%	8.6%	12.6%
性別	男性	239	39.3%	43.1%	10.9%	6.7%
	女性	271	39.9%	43.9%	7.7%	8.5%
	選べない・答えたくない	4	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	6.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%
	20歳代	26	53.8%	42.3%	3.8%	0.0%
	30歳代	56	42.9%	41.1%	14.3%	1.8%
	40歳代	66	48.5%	37.9%	10.6%	3.0%
	50歳代	84	36.9%	54.8%	7.1%	1.2%
	60歳代	113	39.8%	44.2%	8.0%	8.0%
	70歳代	130	32.3%	36.2%	6.9%	24.6%
	80歳以上	48	27.1%	45.8%	10.4%	16.7%
	無回答	17	0.0%	11.8%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	39.7%	38.4%	15.1%	6.8%
	田間地区	60	40.0%	46.7%	6.7%	6.7%
	嶺南地区	43	39.5%	51.2%	9.3%	0.0%
	城西地区	29	37.9%	48.3%	3.4%	10.3%
	日吉台地区	42	50.0%	38.1%	4.8%	7.1%
	公平地区	37	45.9%	40.5%	8.1%	5.4%
	丘山地区	26	23.1%	42.3%	0.0%	34.6%
	大和地区	29	34.5%	44.8%	13.8%	6.9%
	正気地区	58	44.8%	44.8%	5.2%	5.2%
	豊成地区	43	25.6%	51.2%	4.7%	18.6%
	福岡地区	38	18.4%	26.3%	7.9%	47.4%
	源地区	21	23.8%	42.9%	4.8%	28.6%
	無回答	48	43.8%	25.0%	18.8%	12.5%

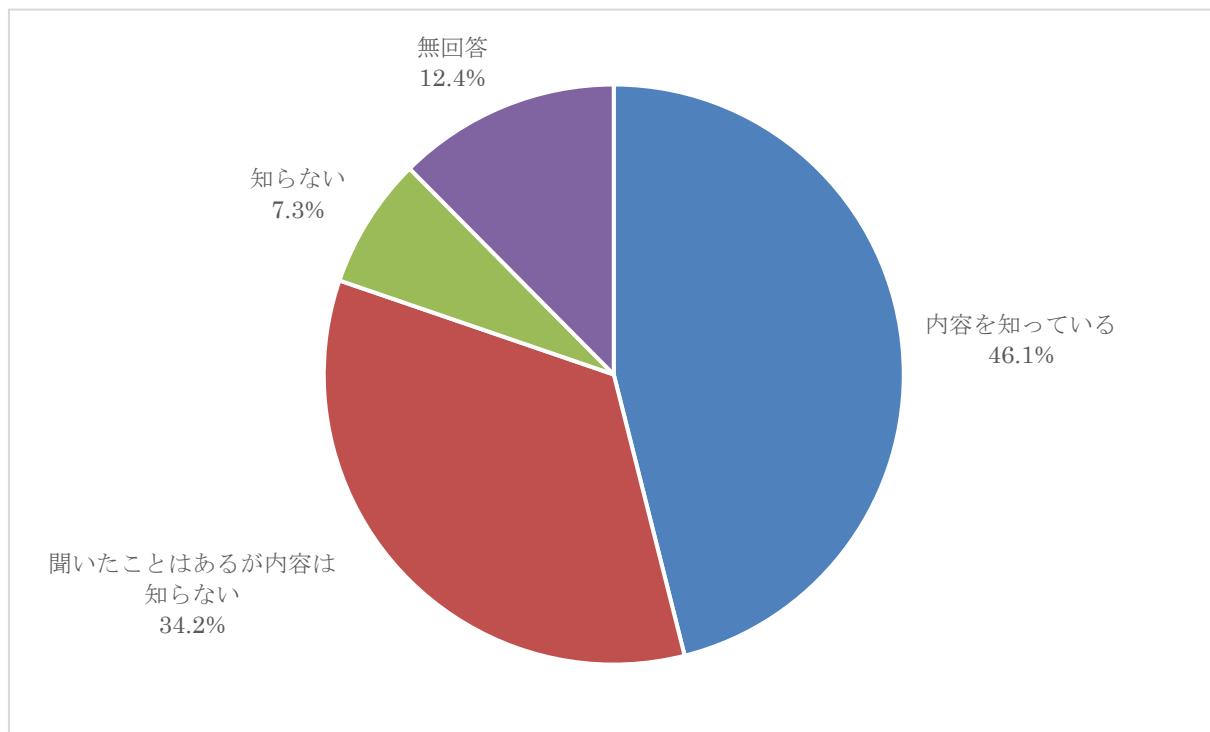
▼

⑤【ジェンダー】

“知っている”が80.3%、「知らない」が7.3%。

ジェンダーという言葉を知っているかたずねたところ、“知っている”（「内容もよく知っている」（46.1%）と「聞いたことはあるが内容は知らない」（34.2%）との合計）と答えた人は80.3%でした。これに対し、「知らない」と答えた人は7.3%でした。

図表 124 言葉の認知度【ジェンダー】(全体)



図表 125 過去からのアンケート結果推移(全般)

	内容もよく知っている	聞いたことはあるが 内容は知らない	知らない
第29回	46.1%	34.2%	7.3%
第28回	41.6%	43.9%	10.4%

図表 126 言葉の認知度【ジェンダー】(全体、属性別)

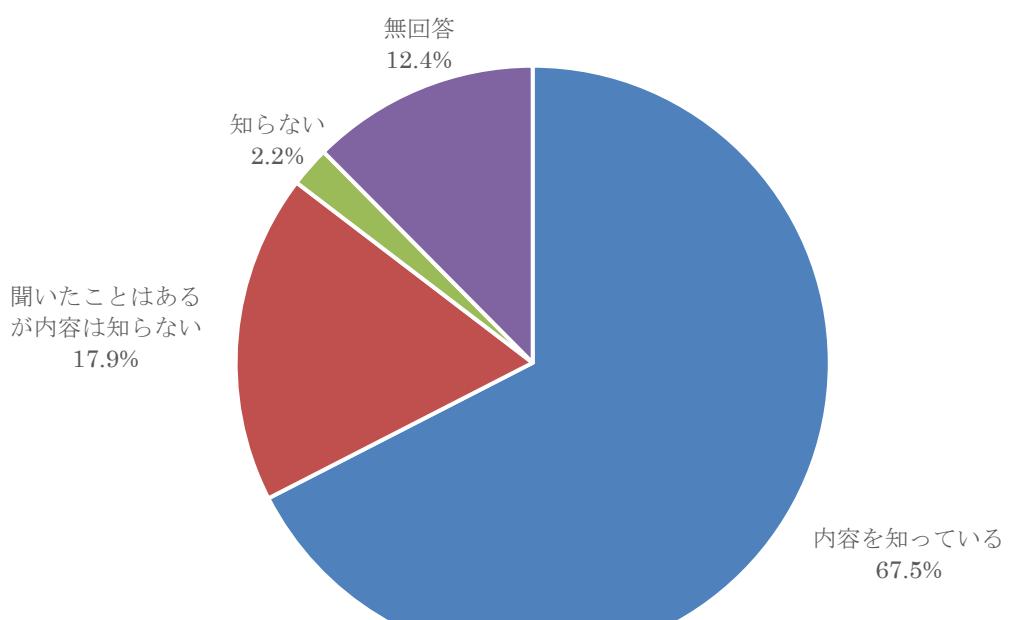
		合計 (人)	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
	全体	547	46.1%	34.2%	7.3%	12.4%
性別	男性	239	46.4%	38.5%	9.2%	5.9%
	女性	271	51.3%	33.6%	6.6%	8.5%
	選べない・答えたくない	4	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	6.1%	0.0%	93.9%
年齢	10歳代	7	71.4%	0.0%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	30歳代	56	55.4%	33.9%	8.9%	1.8%
	40歳代	66	65.2%	25.8%	7.6%	1.5%
	50歳代	84	54.8%	39.3%	3.6%	2.4%
	60歳代	113	46.9%	38.1%	8.0%	7.1%
	70歳代	130	33.1%	37.7%	6.2%	23.1%
	80歳以上	48	27.1%	33.3%	18.8%	20.8%
	無回答	17	0.0%	11.8%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	37.0%	39.7%	16.4%	6.8%
	田間地区	60	63.3%	26.7%	3.3%	6.7%
	嶺南地区	43	41.9%	51.2%	7.0%	0.0%
	城西地区	29	62.1%	20.7%	3.4%	13.8%
	日吉台地区	42	61.9%	33.3%	0.0%	4.8%
	公平地区	37	43.2%	43.2%	8.1%	5.4%
	丘山地区	26	26.9%	38.5%	3.8%	30.8%
	大和地区	29	48.3%	41.4%	3.4%	6.9%
	正気地区	58	46.6%	39.7%	8.6%	5.2%
	豊成地区	43	37.2%	41.9%	4.7%	16.3%
	福岡地区	38	26.3%	13.2%	10.5%	50.0%
	源地区	21	42.9%	23.8%	4.8%	28.6%
	無回答	48	54.2%	22.9%	10.4%	12.5%

▼
⑥【ハラスメント】

“知っている”が85.4%、「知らない」が2.2%。

ハラスメントという言葉を知っているかたずねたところ、“知っている”（「内容もよく知っている」（67.5%）と「聞いたことはあるが内容は知らない」（17.9%）との合計）と答えた人は85.4%でした。これに対し、「知らない」と答えた人は2.2%でした。

図表 127 言葉の認知度【ハラスメント】(全体)



図表 128 過去からのアンケート結果推移(全体)

	内容もよく知っている	聞いたことはあるが 内容は知らない	知らない
第 29 回	67.5%	17.9%	2.2%
第 28 回	61.7%	29.9%	4.1%

図表 129 言葉の認知度【ハラスメント】(全体、属性別)

		合計 (人)	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
	全体	547	67.5%	17.9%	2.2%	12.4%
性別	男性	239	74.1%	17.2%	2.5%	6.3%
	女性	271	68.6%	20.7%	2.2%	8.5%
	選べない・答えたくない	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	6.1%	3.0%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%
	20歳代	26	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
	30歳代	56	75.0%	21.4%	0.0%	3.6%
	40歳代	66	86.4%	10.6%	1.5%	1.5%
	50歳代	84	82.1%	14.3%	2.4%	1.2%
	60歳代	113	73.5%	18.6%	0.9%	7.1%
	70歳代	130	50.0%	23.1%	3.8%	23.1%
	80歳以上	48	52.1%	20.8%	6.3%	20.8%
	無回答	17	5.9%	5.9%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	63.0%	23.3%	5.5%	8.2%
	田間地区	60	73.3%	18.3%	1.7%	6.7%
	嶺南地区	43	65.1%	32.6%	2.3%	0.0%
	城西地区	29	79.3%	10.3%	0.0%	10.3%
	日吉台地区	42	85.7%	9.5%	0.0%	4.8%
	公平地区	37	70.3%	27.0%	0.0%	2.7%
	丘山地区	26	65.4%	3.8%	0.0%	30.8%
	大和地区	29	65.5%	24.1%	0.0%	10.3%
	正気地区	58	79.3%	12.1%	1.7%	6.9%
	豊成地区	43	65.1%	18.6%	0.0%	16.3%
	福岡地区	38	34.2%	15.8%	2.6%	47.4%
	源地区	21	47.6%	19.0%	4.8%	28.6%
	無回答	48	68.8%	12.5%	6.3%	12.5%

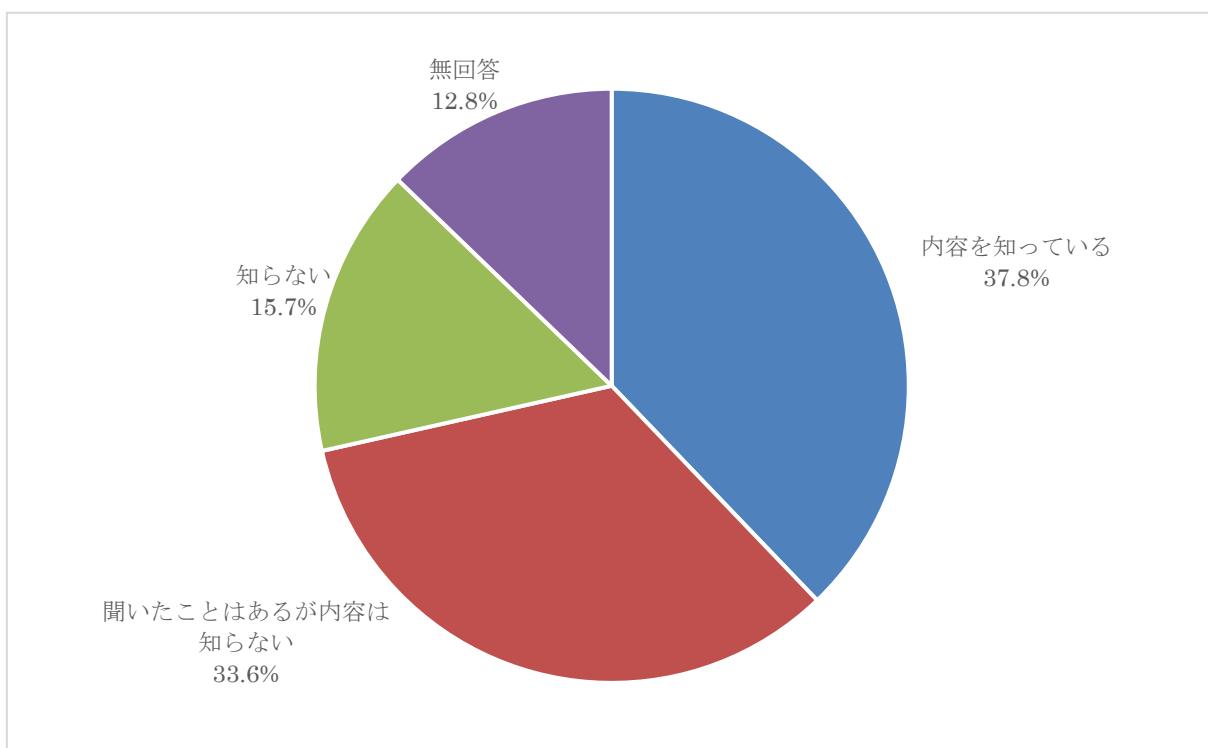


⑦【ワーク・ライフ・バランス】

“知っている”が71.4%、「知らない」が15.7%。

ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っているかたずねたところ、“知っている”（「内容もよく知っている」（37.8%）と「聞いたことはあるが内容は知らない」（33.6%）との合計）と答えた人は71.4%でした。これに対し、「知らない」と答えた人は15.7%でした。

図表 130 言葉の認知度【ワーク・ライフ・バランス】(全体)



図表 131 過去からのアンケート結果推移(全体)

	内容もよく知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
第29回	37.8%	33.6%	15.7%
第28回	32.5%	42.9%	20.8%

図表 132 言葉の認知度【ワーク・ライフ・バランス】(全体、属性別)

		合計 (人)	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
	全体	547	37.8%	33.6%	15.7%	12.8%
性別	男性	239	42.7%	35.6%	15.9%	5.9%
	女性	271	38.0%	34.7%	17.7%	9.6%
	選べない・答えたくない	4	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	3.0%	6.1%	0.0%	90.9%
年齢	10歳代	7	71.4%	0.0%	14.3%	14.3%
	20歳代	26	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
	30歳代	56	50.0%	37.5%	10.7%	1.8%
	40歳代	66	50.0%	28.8%	19.7%	1.5%
	50歳代	84	46.4%	39.3%	11.9%	2.4%
	60歳代	113	38.9%	40.7%	13.3%	7.1%
	70歳代	130	23.1%	30.0%	22.3%	24.6%
	80歳以上	48	14.6%	39.6%	25.0%	20.8%
	無回答	17	5.9%	5.9%	0.0%	88.2%
居住地区	東金地区	73	42.5%	35.6%	15.1%	6.8%
	田間地区	60	50.0%	28.3%	13.3%	8.3%
	嶺南地区	43	34.9%	55.8%	9.3%	0.0%
	城西地区	29	48.3%	27.6%	6.9%	17.2%
	日吉台地区	42	42.9%	19.0%	33.3%	4.8%
	公平地区	37	32.4%	45.9%	18.9%	2.7%
	丘山地区	26	19.2%	30.8%	19.2%	30.8%
	大和地区	29	44.8%	27.6%	20.7%	6.9%
	正気地区	58	39.7%	39.7%	13.8%	6.9%
	豊成地区	43	30.2%	39.5%	14.0%	16.3%
	福岡地区	38	13.2%	28.9%	7.9%	50.0%
	源地区	21	33.3%	19.0%	19.0%	28.6%
	無回答	48	43.8%	27.1%	16.7%	12.5%

(5) 男性が家事-育児-介護-地域活動に参加するために必要なこと

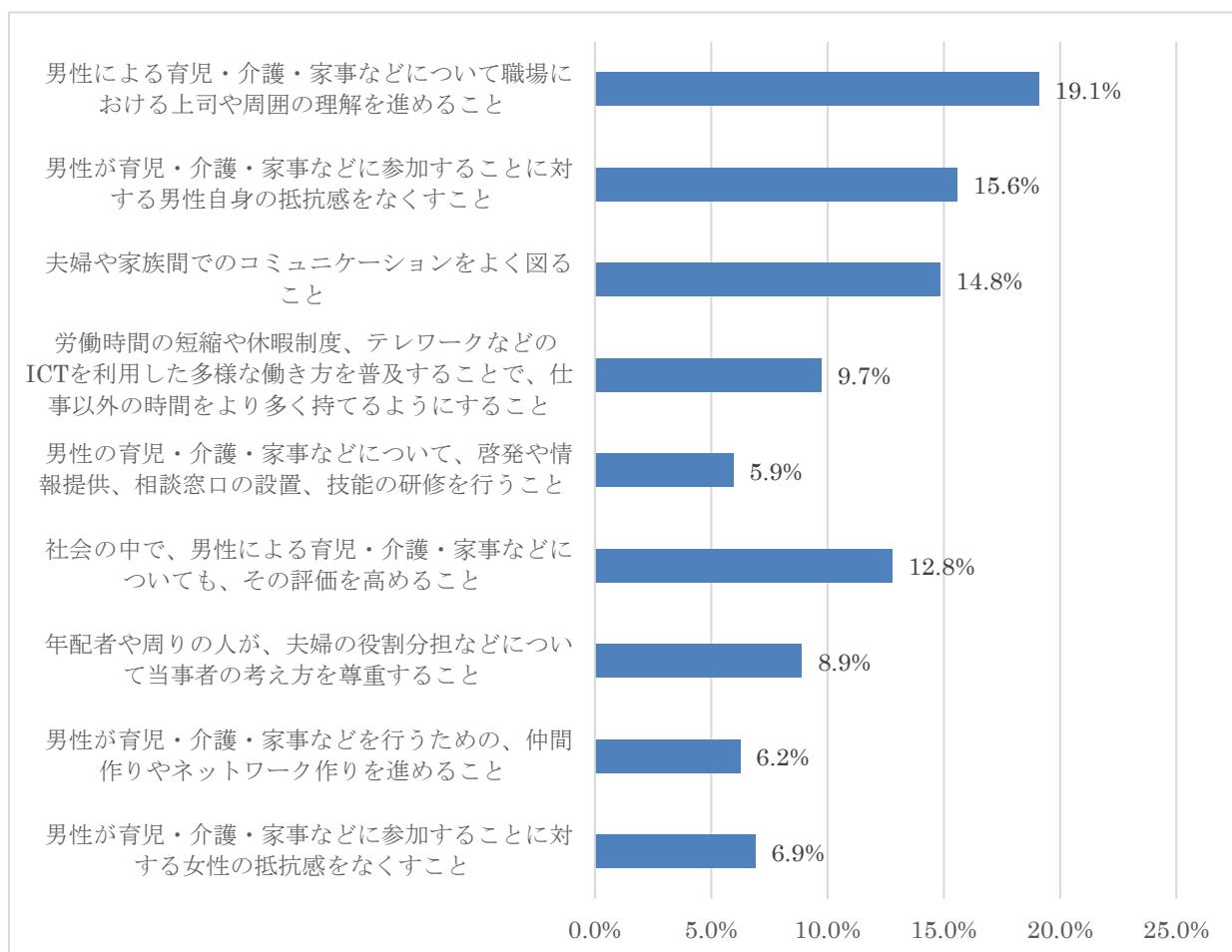
問 31 男性が家事・育児・介護・地域活動に積極的に参加するためには何が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



「男性による育児・介護・家事などについて職場における上司や周囲の理解を進めること」が第1位。次いで「男性が育児・介護・家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」の順。

男性が家事-育児-介護-地域活動に積極的に参加するためには何が必要かたずねたところ、「男性による育児・介護・家事などについて職場における上司や周囲の理解を進めること」(19.1%)が最も多く、次いで「男性が育児・介護・家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(15.6%)、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」(14.8%)が上位3項目となっています。

図表 133 男女共同参画社会の実現のために行政が取り組むべきこと(全体／複数回答)



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

図表 134 男女共同参画社会の実現のために行政が取り組むべきこと(全体／複数回答)

		合計 (人)	男性による育児・ 介護・家事などに ついて職場における 上司や周囲の理 解を進めること	男性が育児・介 護・家事などに参 加することに対する 男性自身の抵抗 感をなくすこと	夫婦や家族間での コミュニケーションをよく図ること
	全体	547	19.1%	15.6%	14.8%
性別	男性	239	20.5%	13.7%	15.7%
	女性	271	18.5%	15.3%	15.3%
	選べない・答えたくない	4	20.0%	26.7%	20.0%
	無回答	33	11.9%	35.7%	0.0%
年齢	10 歳代	7	18.5%	18.5%	14.8%
	20 歳代	26	18.4%	14.9%	15.8%
	30 歳代	56	19.4%	14.2%	18.5%
	40 歳代	66	21.2%	14.8%	14.4%
	50 歳代	84	18.5%	14.7%	15.3%
	60 歳代	113	19.9%	15.0%	14.6%
	70 歳代	130	18.9%	16.6%	13.9%
	80 歳以上	48	17.1%	13.8%	17.1%
	無回答	17	12.0%	32.0%	0.0%
居住地区	東金地区	73	22.5%	14.3%	17.6%
	田間地区	60	17.0%	15.6%	15.1%
	嶺南地区	43	20.0%	14.5%	18.2%
	城西地区	29	19.4%	17.5%	15.5%
	日吉台地区	42	20.2%	17.2%	12.3%
	公平地区	37	18.3%	16.3%	13.1%
	丘山地区	26	19.1%	20.2%	15.7%
	大和地区	29	16.7%	14.3%	14.3%
	正気地区	58	21.0%	13.1%	15.4%
	豊成地区	43	19.6%	13.9%	12.7%
	福岡地区	38	14.4%	22.3%	10.1%
	源地区	21	18.1%	15.3%	9.7%
	無回答	48	18.3%	12.8%	18.3%

(6)男女共同参画社会の実現のために行政が取り組むべきこと

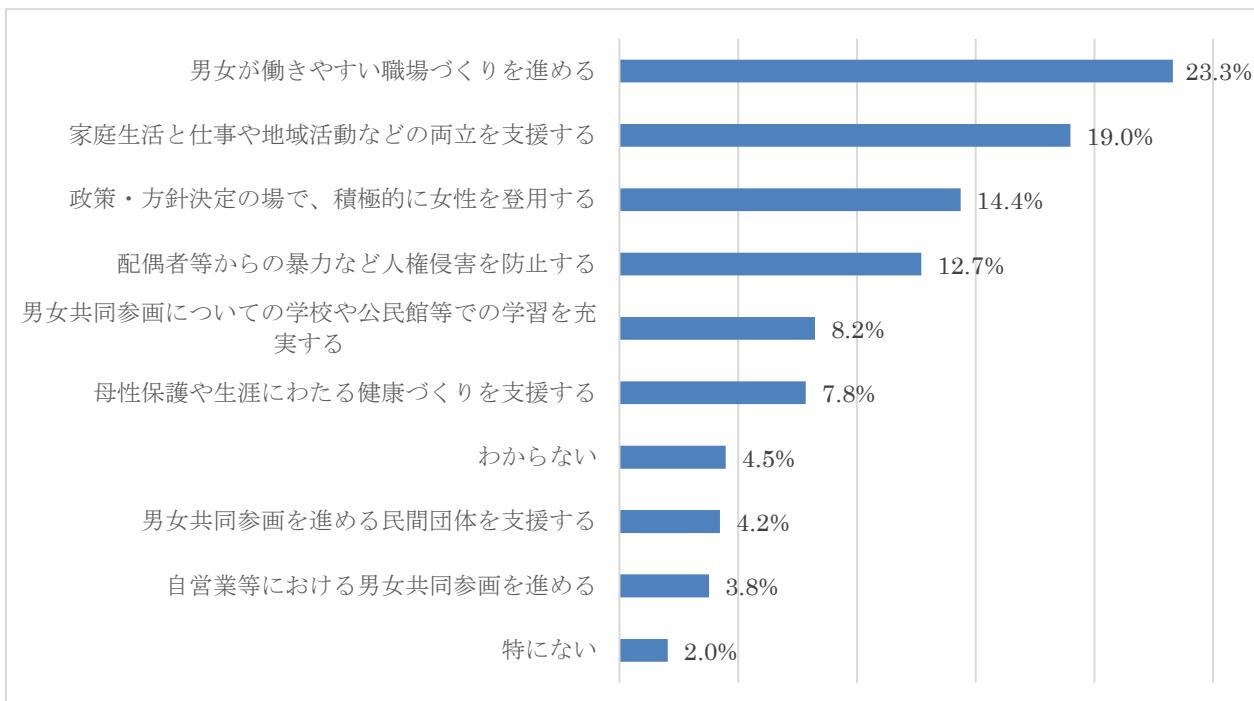
問28 男女共同参画社会の実現のために、東金市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



「男女が働きやすい職場づくりを進める」が第1位。次いで「家庭生活と仕事や地域活動などの両立を支援する」、「政策・方針決定の場で、積極的に女性を登用する」の順。

男女共同参画社会の実現のために行政が取り組むべきだと思うことについてたずねたところ、「男女が働きやすい職場づくりを進める」(23.3%)が最も多く、次いで「家庭生活と仕事や地域活動などの両立を支援する」(19.0%)、「政策・方針決定の場で、積極的に女性を登用する」(14.4%)が上位3項目となっています。

図表 135 男女共同参画社会の実現のために行政が取り組むべきこと(全体／複数回答)



図表 136 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	男女が働きやすい職場づくりを進める	家庭生活と仕事や地域活動などの両立を支援する	政策・方針決定の場で、積極的に女性を登用する
	23.3%	19.0%	14.4%
第28回	男女が働きやすい職場づくりを進める	家庭生活と仕事や地域活動などの両立を支援する	政策・方針決定の場で、積極的に女性を登用する
	63.9%	43.5%	35.9%

図表 137 男女共同参画社会の実現のために行政が取り組むべきこと(全体、属性別)

		合計 (人)	男女が働きやすい職場づくりを進める	家庭生活と仕事や地域活動などの両立を支援する	政策・方針決定の場で、積極的に女性を登用する
	全体	547	23.3%	19.0%	14.4%
性別	男性	239	24.0%	17.6%	15.4%
	女性	271	22.6%	20.2%	13.5%
	選べない・答えたくない	4	16.7%	16.7%	33.3%
	無回答	33	37.5%	25.0%	0.0%
年齢	10歳代	7	33.3%	33.3%	8.3%
	20歳代	26	20.9%	19.4%	6.0%
	30歳代	56	21.1%	24.6%	13.2%
	40歳代	66	21.5%	18.4%	12.9%
	50歳代	84	28.2%	20.6%	14.4%
	60歳代	113	28.4%	19.4%	14.2%
	70歳代	130	17.6%	16.6%	18.3%
	80歳以上	48	21.0%	15.3%	14.5%
	無回答	17	33.3%	16.7%	0.0%
居住地区	東金地区	73	20.3%	18.0%	14.0%
	田間地区	60	22.9%	18.3%	12.0%
	嶺南地区	43	22.0%	18.3%	14.7%
	城西地区	29	25.0%	17.6%	11.8%
	日吉台地区	42	19.2%	21.2%	13.5%
	公平地区	37	18.9%	21.7%	16.0%
	丘山地区	26	26.5%	16.3%	16.3%
	大和地区	29	28.0%	14.7%	18.7%
	正気地区	58	22.7%	16.2%	14.3%
	豊成地区	43	21.4%	20.4%	11.7%
	福岡地区	38	26.5%	20.4%	14.3%
	源地区	21	23.3%	14.0%	11.6%
	無回答	48	22.3%	17.4%	12.4%

13 今後のまちづくりについて

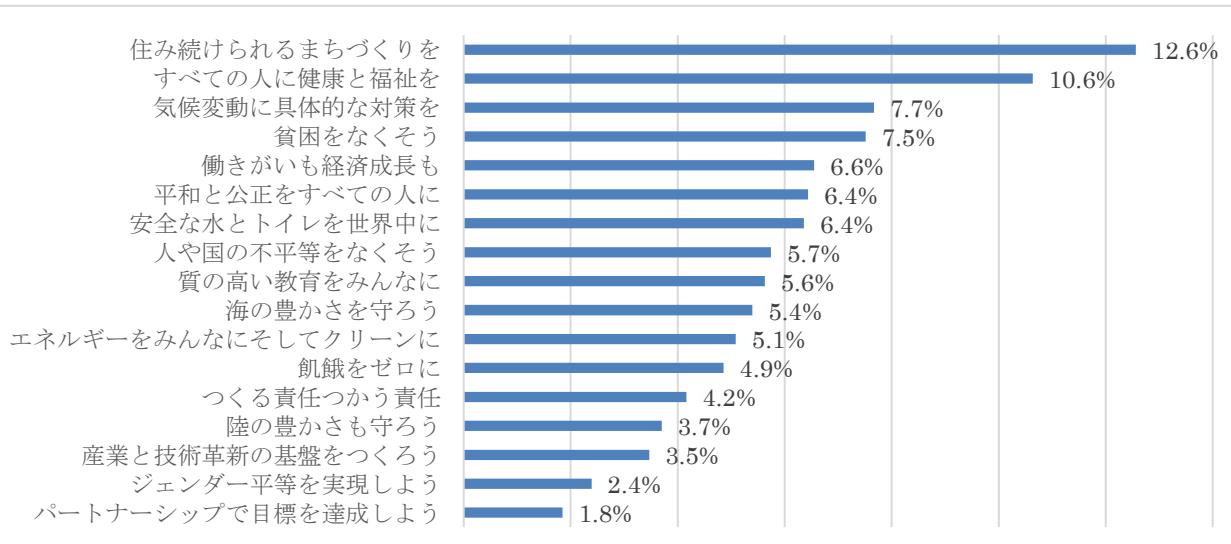
(1) SDGsのゴールのうち重点的に取り組むべきこと

問22 SDGsの17のゴールの中で、どの項目に重点的に取り組むべきだと思いますか。

「住み続けられるまちづくりを」が第1位。次いで「すべての人に健康と福祉を」、「気候変動に具体的な対策を」の順。

SDGsのゴールのうち重点的に取り組むべきだと思うことについてたずねたところ、「住み続けられるまちづくりを」(12.6%)が最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」(10.6%)、「気候変動に具体的な対策を」(7.7%)が上位3項目となっています。

図表 138 SDGsのゴールのうち重点的に取り組むべきこと(全体)



図表 139 過去からのアンケート結果推移(全体)

	第1位	第2位	第3位
第29回	住み続けられるまちづくりを	すべての人に健康と福祉を	気候変動に具体的な対策を
	12.6%	10.6%	7.7%
第28回	住み続けられるまちづくりを	すべての人に健康と福祉を	気候変動に具体的な対策を
	21.2%	15.8%	11.9%

図表 140 SDGsのゴールのうち重点的に取り組むべきこと(全体、属性別)

		合計 (人)	住み続けられる まちづくりを	すべての人に健 康と福祉を	気候変動に具体 的な対策を
	全体	547	12.6%	10.6%	7.7%
性別	男性	239	13.3%	10.7%	7.3%
	女性	271	12.3%	10.8%	8.1%
	選べない・答えたくない	4	16.7%	33.3%	0.0%
	無回答	33	4.9%	3.3%	4.9%
年齢	10歳代	7	11.8%	11.8%	11.8%
	20歳代	26	14.9%	14.9%	14.9%
	30歳代	56	16.7%	16.7%	16.7%
	40歳代	66	13.7%	13.7%	13.7%
	50歳代	84	14.0%	14.0%	14.0%
	60歳代	113	12.3%	12.3%	12.3%
	70歳代	130	10.3%	10.3%	10.3%
	80歳以上	48	10.3%	10.3%	10.3%
	無回答	17	6.7%	6.7%	6.7%
居住地区	東金地区	73	13.6%	13.0%	5.8%
	田間地区	60	14.5%	9.1%	5.9%
	嶺南地区	43	9.2%	9.2%	8.4%
	城西地区	29	15.1%	10.1%	7.6%
	日吉台地区	42	11.9%	10.8%	9.2%
	公平地区	37	12.4%	11.0%	10.0%
	丘山地区	26	15.1%	12.9%	7.5%
	大和地区	29	11.0%	12.4%	9.0%
	正気地区	58	13.4%	10.2%	8.8%
	豊成地区	43	13.6%	11.5%	12.0%
	福岡地区	38	5.2%	7.8%	5.2%
	源地区	21	13.5%	9.4%	6.3%
	無回答	48	12.4%	10.0%	4.8%

(2) 総合戦略の基本目標のうち重点的に取り組むべきこと

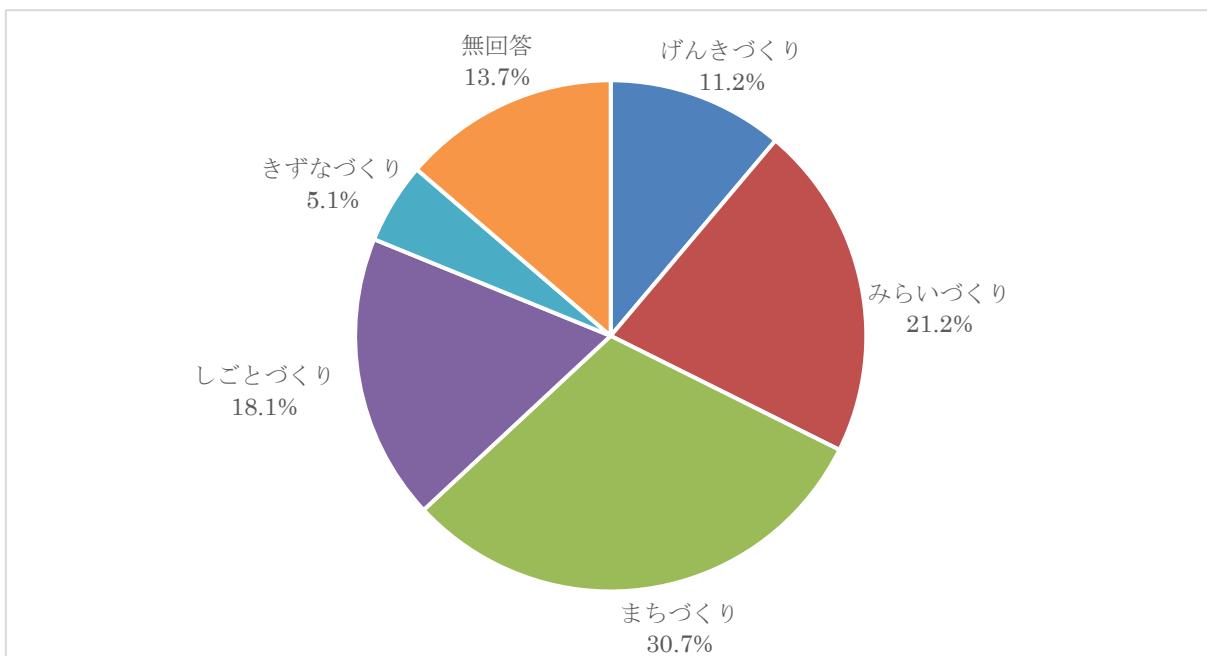
問42 「東金市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標について、今後、最も重点的に取り組むべきだと思う番号を選んでください。



「まちづくり」が第1位。次いで「みらいづくり」、「しごとづくり」の順。

総合戦略の基本目標のうち重点的に取り組むべきだと思うことについてたずねたところ、「まちづくり for Comfortable City～住みやすいまちをつくる～」(30.7%) が最も多く、次いで「みらいづくり for Next Generation～子育てのしやすい環境を整える～」(21.2%)、「しごとづくり for Job Creation～地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える～」(18.1%) が上位3項目となっています。

図表 141 総合戦略の基本目標のうち重点的に取り組むべきこと(全体)



図表 142 過去からのアンケート結果推移(全体)

	げんきづくり for Vitalization ～魅力あるまち をPRして人を 呼び込む～	みらいづくり for Next Generation～ 子育てのしや すい環境を整 える～	まちづくり for Comfortable City～住みやす いまちをつくる～	しごとづくり for Job Creation～地 域に雇用を創 出し働きやす い環境を整える～	きずなづくり for Friendship ～地域間の連 携を目指して ～
第29回	11.2%	21.2%	30.7%	18.1%	5.1%
第28回	7.1%	16.4%	34.2%	19.7%	5.8%

図表 143 総合戦略の基本目標のうち重点的に取り組むべきこと(全体、属性別)

		合 計 (人)	げんき づくり	みらい づくり	まち づくり	しごと づくり	きずな づくり	無回答
	全体	547	11.2%	21.2%	30.7%	18.1%	5.1%	13.7%
性 別	男性	239	13.0%	23.8%	30.1%	20.9%	4.6%	7.5%
	女性	271	11.1%	20.7%	34.3%	18.1%	6.3%	9.6%
	選べない・答えたくない	4	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	33	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	93.9%
年 齢	10歳代	7	0.0%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
	20歳代	26	3.8%	30.8%	53.8%	3.8%	0.0%	7.7%
	30歳代	56	12.5%	51.8%	23.2%	10.7%	1.8%	0.0%
	40歳代	66	6.1%	27.3%	31.8%	28.8%	3.0%	3.0%
	50歳代	84	9.5%	14.3%	38.1%	25.0%	7.1%	6.0%
	60歳代	113	12.4%	21.2%	31.0%	18.6%	9.7%	7.1%
	70歳代	130	14.6%	11.5%	26.9%	17.7%	5.4%	23.8%
	80歳以上	48	16.7%	10.4%	31.3%	14.6%	2.1%	25.0%
	無回答	17	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	88.2%
居 住 地 区	東金地区	73	16.4%	28.8%	28.8%	15.1%	5.5%	5.5%
	田間地区	60	10.0%	23.3%	31.7%	15.0%	8.3%	11.7%
	嶺南地区	43	7.0%	23.3%	27.9%	23.3%	16.3%	2.3%
	城西地区	29	6.9%	20.7%	37.9%	24.1%	3.4%	6.9%
	日吉台地区	42	9.5%	14.3%	42.9%	21.4%	7.1%	4.8%
	公平地区	37	13.5%	27.0%	35.1%	10.8%	2.7%	10.8%
	丘山地区	26	11.5%	15.4%	30.8%	11.5%	0.0%	30.8%
	大和地区	29	27.6%	13.8%	27.6%	27.6%	0.0%	3.4%
	正気地区	58	3.4%	17.2%	37.9%	29.3%	1.7%	10.3%
	豊成地区	43	14.0%	27.9%	27.9%	11.6%	0.0%	18.6%
	福岡地区	38	7.9%	13.2%	15.8%	10.5%	2.6%	50.0%
	源地区	21	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	19.0%	23.8%
	無回答	48	8.3%	22.9%	31.3%	18.8%	2.1%	16.7%

(3)JR 東金駅東口改札の新設を契機とした駅周辺のまちづくりに効果的な取組

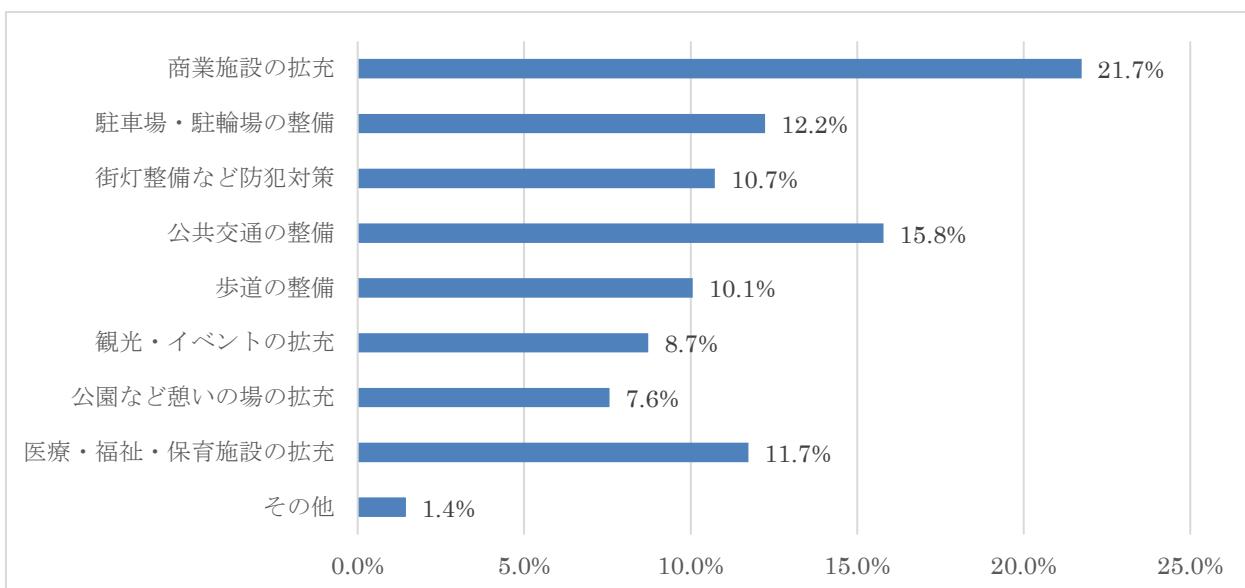
問 14 東金市では、JR東金駅東口改札の新設の取組と駅周辺の今後のまちづくりに関する取組を進めています。この取組によりひとが集い、まちがにぎわうためには、なにが効果的だとおもいますか。あてはまるものをすべて選んでください。



「商業施設の拡充」が第1位。次いで「公共交通の整備」、「駐車場・駐輪場の整備」の順。

JR 東金駅東口改札の新設を駅周辺のまちづくりに効果的な取組についてたずねたところ、「商業施設の拡充」(21.7%)が最も多く、次いで「公共交通の整備」(15.8%)、「駐車場・駐輪場の整備」(12.2%)が上位3項目となっています。

図表 144 JR 東金駅東口改札の新設を契機とした駅周辺のまちづくりに効果的な取組(全体)



※新規設問のため、過去からのアンケート結果推移はありません。

**図表 145 JR 東金駅東口改札の新設を契機とした駅周辺のまちづくりに効果的な取組
(全体、属性別)**

		合計 (人)	商業施設の拡充	公共交通の整備	駐車場・駐輪場の整備
	全体	547	21.7%	15.8%	12.2%
性別	男性	239	22.3%	15.6%	13.1%
	女性	271	19.6%	16.7%	12.2%
	選べない・答えたくない	4	18.2%	27.3%	18.2%
	無回答	33	53.7%	0.0%	0.0%
年齢	10 歳代	7	18.2%	22.7%	22.7%
	20 歳代	26	25.0%	13.6%	11.4%
	30 歳代	56	21.8%	15.0%	10.9%
	40 歳代	66	20.3%	14.5%	12.4%
	50 歳代	84	19.4%	17.0%	13.2%
	60 歳代	113	21.3%	17.6%	10.1%
	70 歳代	130	22.5%	15.6%	14.1%
	80 歳以上	48	20.6%	15.9%	14.3%
	無回答	17	45.5%	0.0%	0.0%
居住地区	東金地区	73	21.8%	14.5%	12.8%
	田間地区	60	19.9%	13.0%	13.9%
	嶺南地区	43	20.6%	19.0%	12.7%
	城西地区	29	25.0%	13.5%	13.5%
	日吉台地区	42	21.9%	18.5%	12.3%
	公平地区	37	19.7%	16.7%	15.9%
	丘山地区	26	27.3%	18.2%	13.0%
	大和地区	29	19.8%	15.1%	10.4%
	正気地区	58	19.7%	13.8%	14.2%
	豊成地区	43	17.9%	18.5%	10.6%
	福岡地区	38	35.6%	14.4%	6.7%
	源地区	21	26.4%	18.9%	9.4%
	無回答	48	19.8%	16.8%	7.6%

14 満足度と優先度について

(1)まちの各環境に関する満足度

問18 市の各分野の「現状の満足度」と「今後の優先度」をお聞きします。



【満足度】

- ・満足度評価が高い項目は「健康保健施策の充実」。次いで「心身共に健やかな生活を営むためのスポーツ振興」、「豊かな自然環境の保全」の順。
- ・満足度評価が低い項目は「生活に適応した公共交通網の再編」。次いで「住環境の整備」、「厳しい時代に適応した行財政運営」の順。

まちの各環境について、どの程度満足しているかを把握するため、33項目を設定し、項目ごとに「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」、「わからない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（満足度：最高点10点、最低点-10点）を算出しました（「わからない」及び無回答については除外）。

その結果、満足度評価が最も高い項目は、「健康保健施策の充実」（2.85点）となっており、次いで「心身共に健やかな生活を営むためのスポーツ振興」（1.48点）、「歴史・文化の継承」（1.20点）となっています。一方、満足度評価が低い項目をみると、「生活に適応した公共交通網の再編」（-5.06点）となっており、次いで「住環境の整備」（-4.47点）、「厳しい時代に適応した行財政運営」（-4.05点）となっています。

図表 146 過去からのアンケート結果推移(全体)

	上位		
	1位	2位	3位
第29回	健康保健施策の充実	心身共に健やかな生活を営むためのスポーツ振興	豊かな自然環境の保全
	2.85点	1.48点	1.20点
第28回	健康保健施策の充実	心身共に健やかな生活を営むためのスポーツ振興	歴史・文化の継承
	2.26点	0.76点	0.50点
第27回	健康保健施策の充実	心身共に健やかな生活を営むためのスポーツ振興	学校教育の充実
	2.31点	1.12点	0.61点
第26回	健康保健施策の充実	心身共に健やかな生活を営むためのスポーツ振興	学校教育の充実
	2.42点	1.58点	1.48点
第25回	健康保健施策の充実	世代を通して学び活動できる環境づくり	歴史・文化の継承
	2.18点	1.08点	1.04点

	下位		
	1位	2位	3位
第 29 回	生活に適応した公共交通網の再編	住環境の整備	厳しい時代に適応した行財政運営
	-5.06 点	-4.47 点	-4.05 点
第 28 回	生活に適応した公共交通網の再編	住環境の整備	利便性の高い市街地の形成
	-5.96 点	-4.31 点	-4.18 点
第 27 回	生活に適応した公共交通網の再編	厳しい時代に適応した行財政運営	住環境の整備
	-4.85 点	-4.38 点	-4.20 点
第 26 回	生活に適応した公共交通網の再編、生活と産業を支える道路整備		雇用・勤労者施策の推進
			-3.85 点
第 25 回	生活に適応した公共交通網の再編	生活と産業を支える道路整備	雇用・勤労者施策の推進
	-4.60 点	-3.94 点	-3.63 点

※加重平均値による評価点（満足度）の算出方法

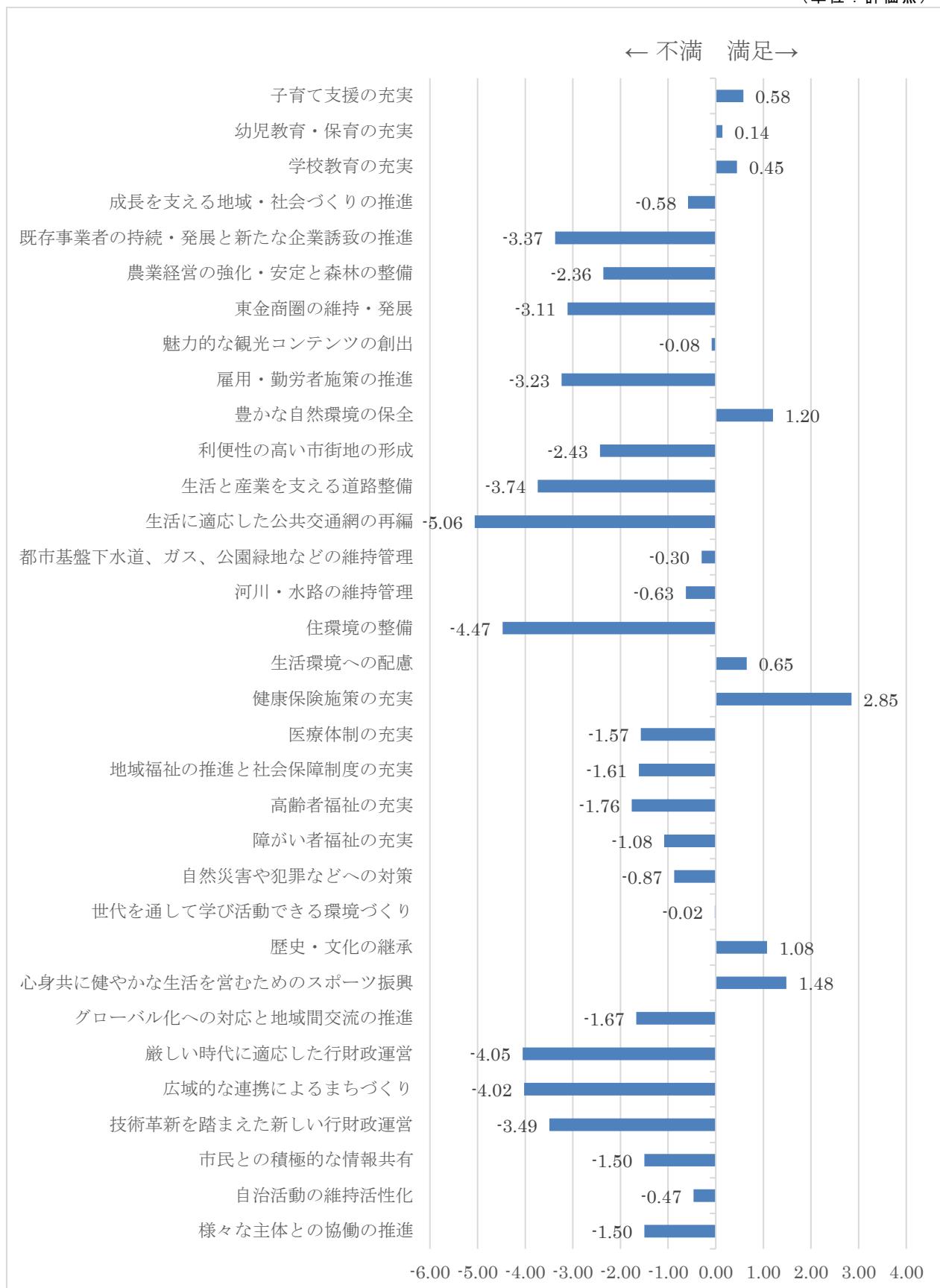
4段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の回答者数} \end{array} \right)}$$

この算出方法により、評価点は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

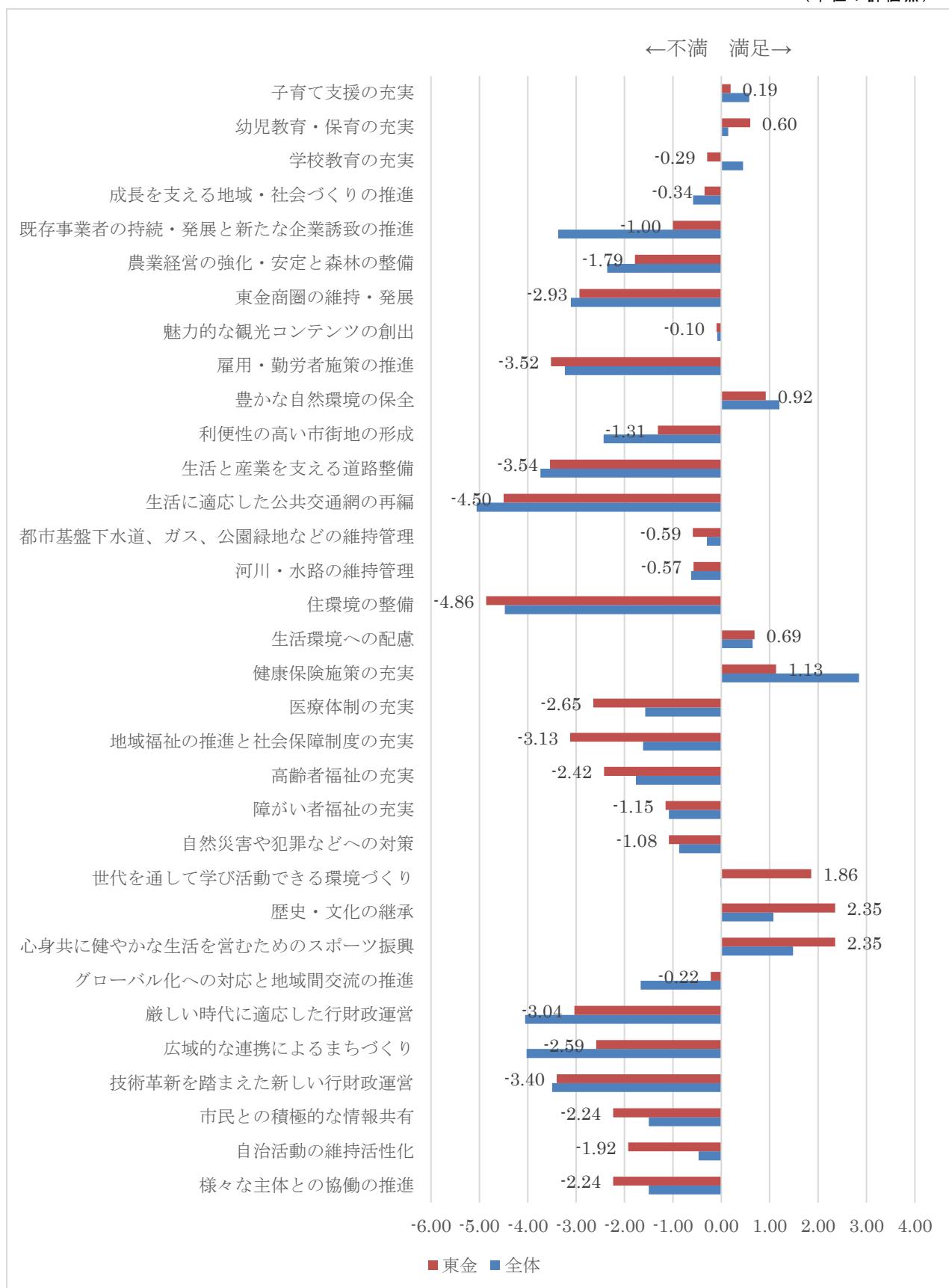
図表 147 まちの各環境に関する満足度【全体】

(単位 : 評価点)



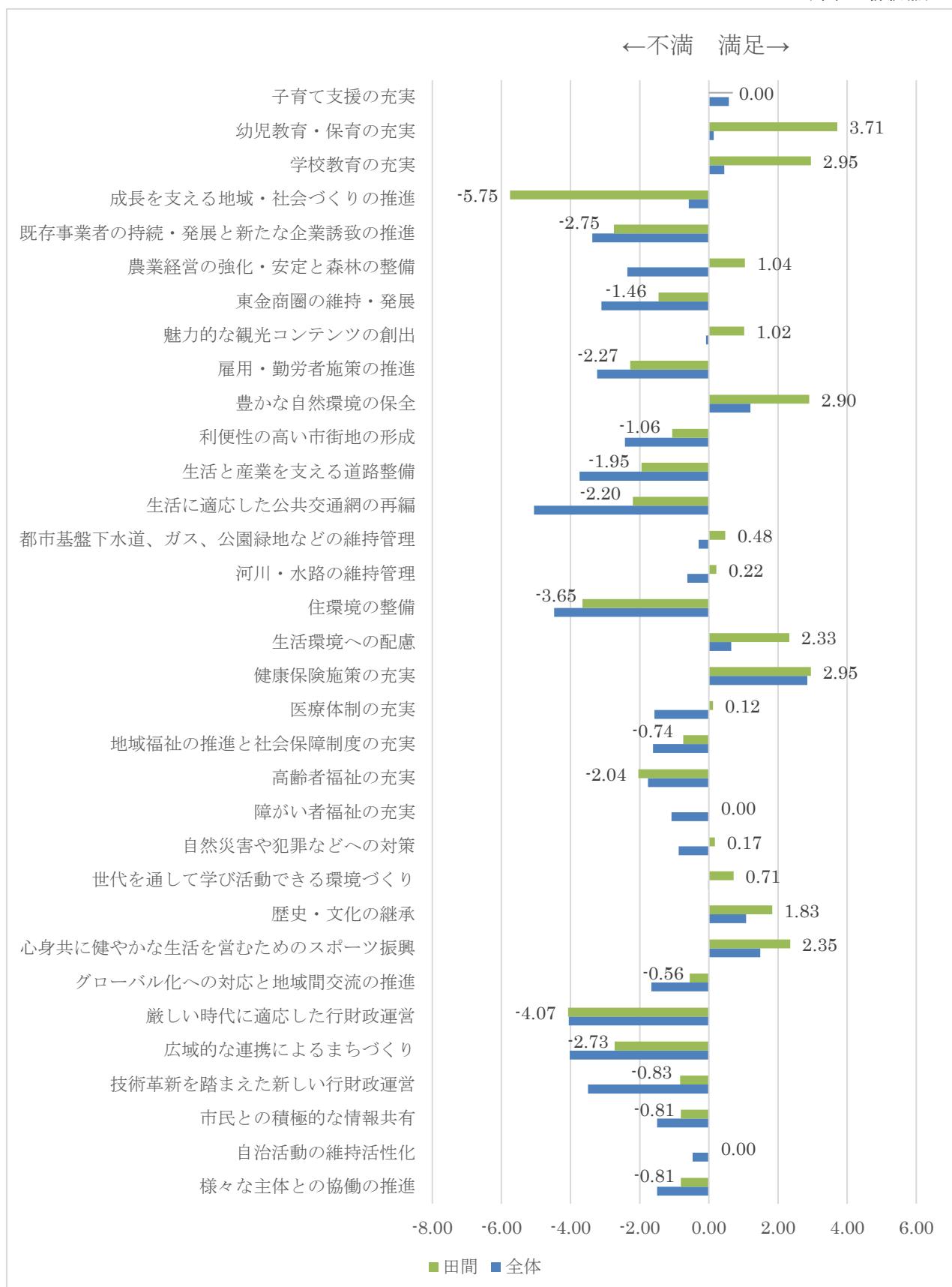
図表 148 まちの各環境に関する満足度【東金地区】

(単位 : 評価点)



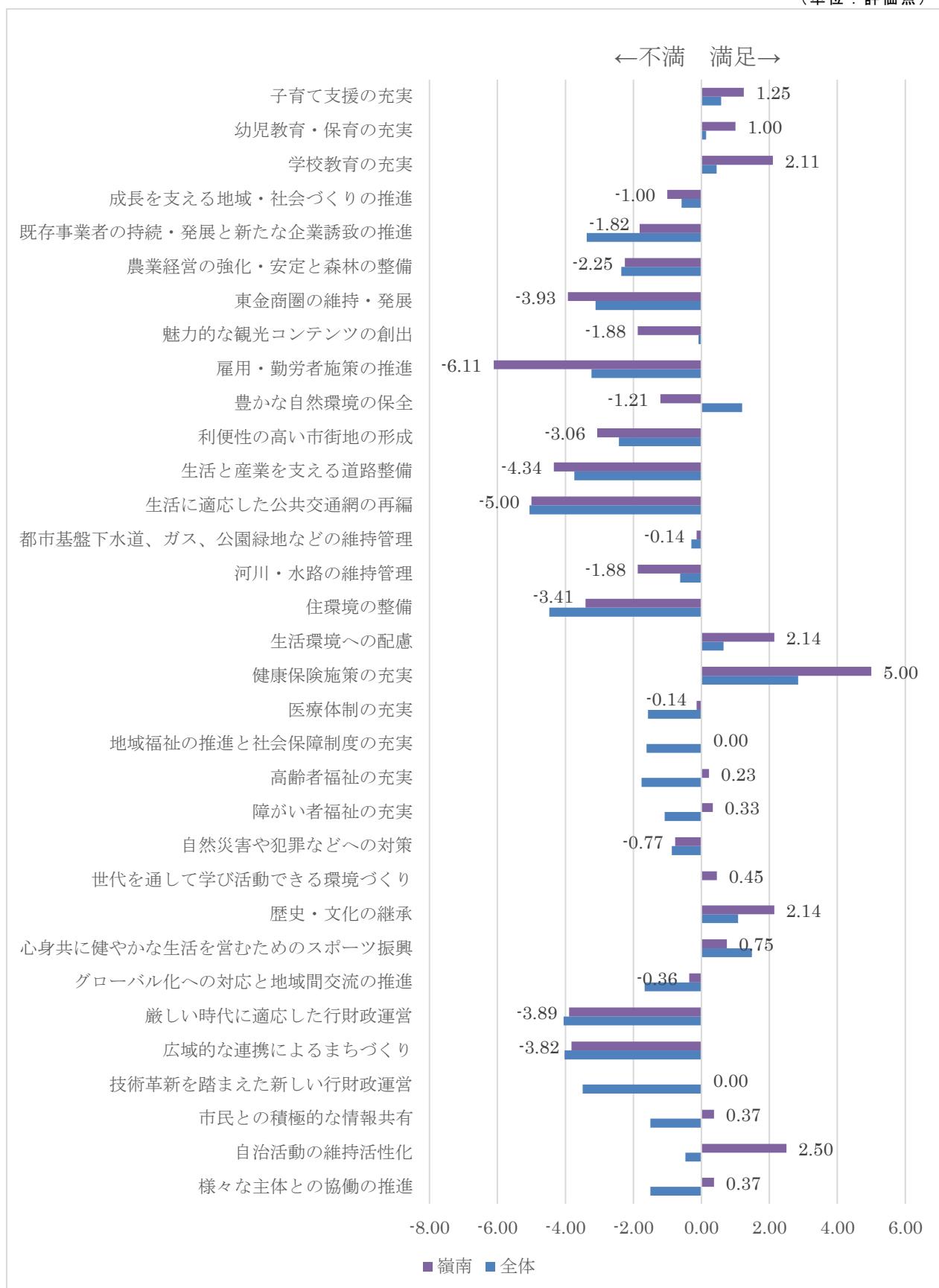
図表 149 まちの各環境に関する満足度【田間地区】

(単位 : 評価点)



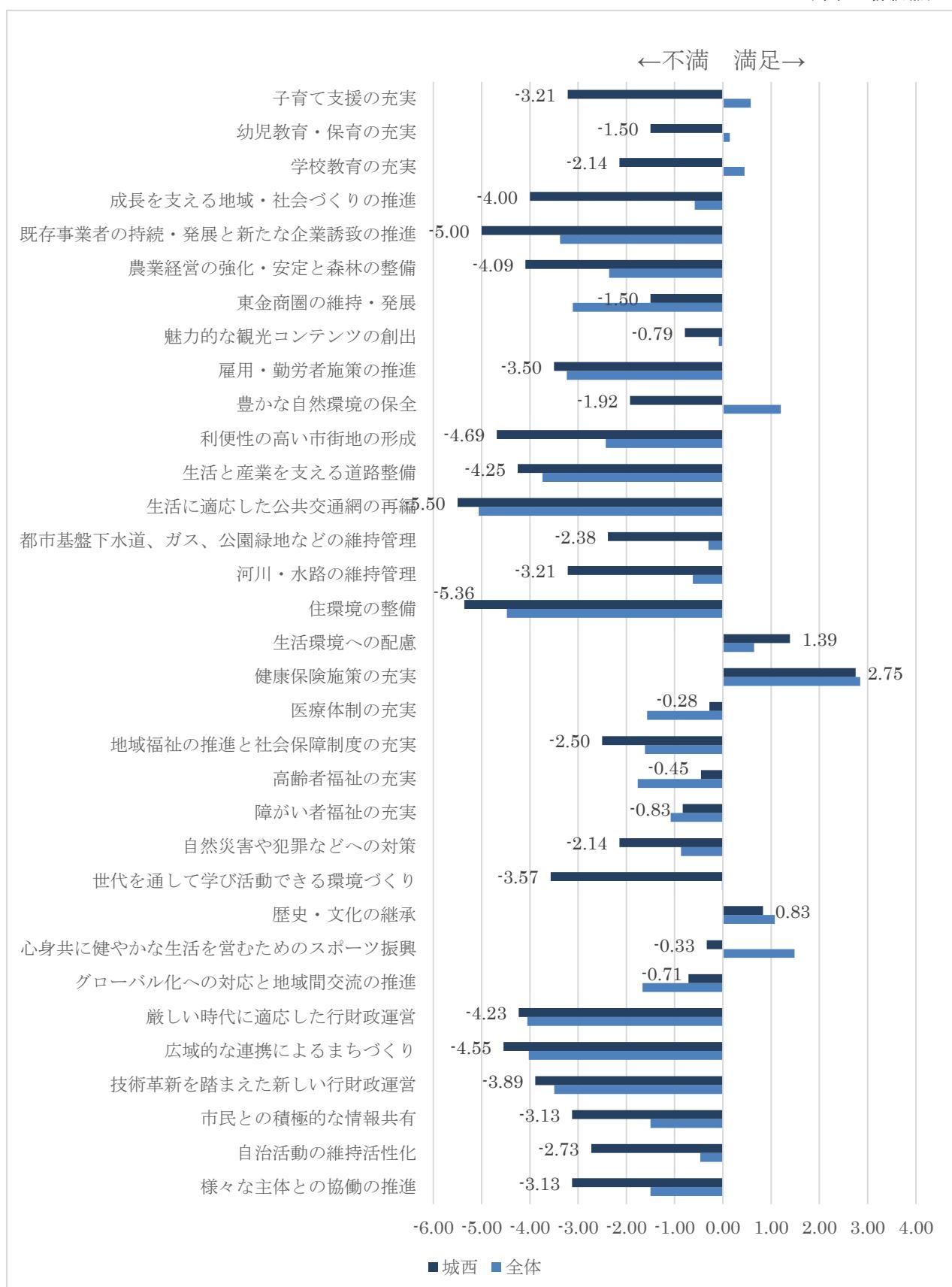
図表 150 まちの各環境に関する満足度【嶺南地区】

(単位 : 評価点)



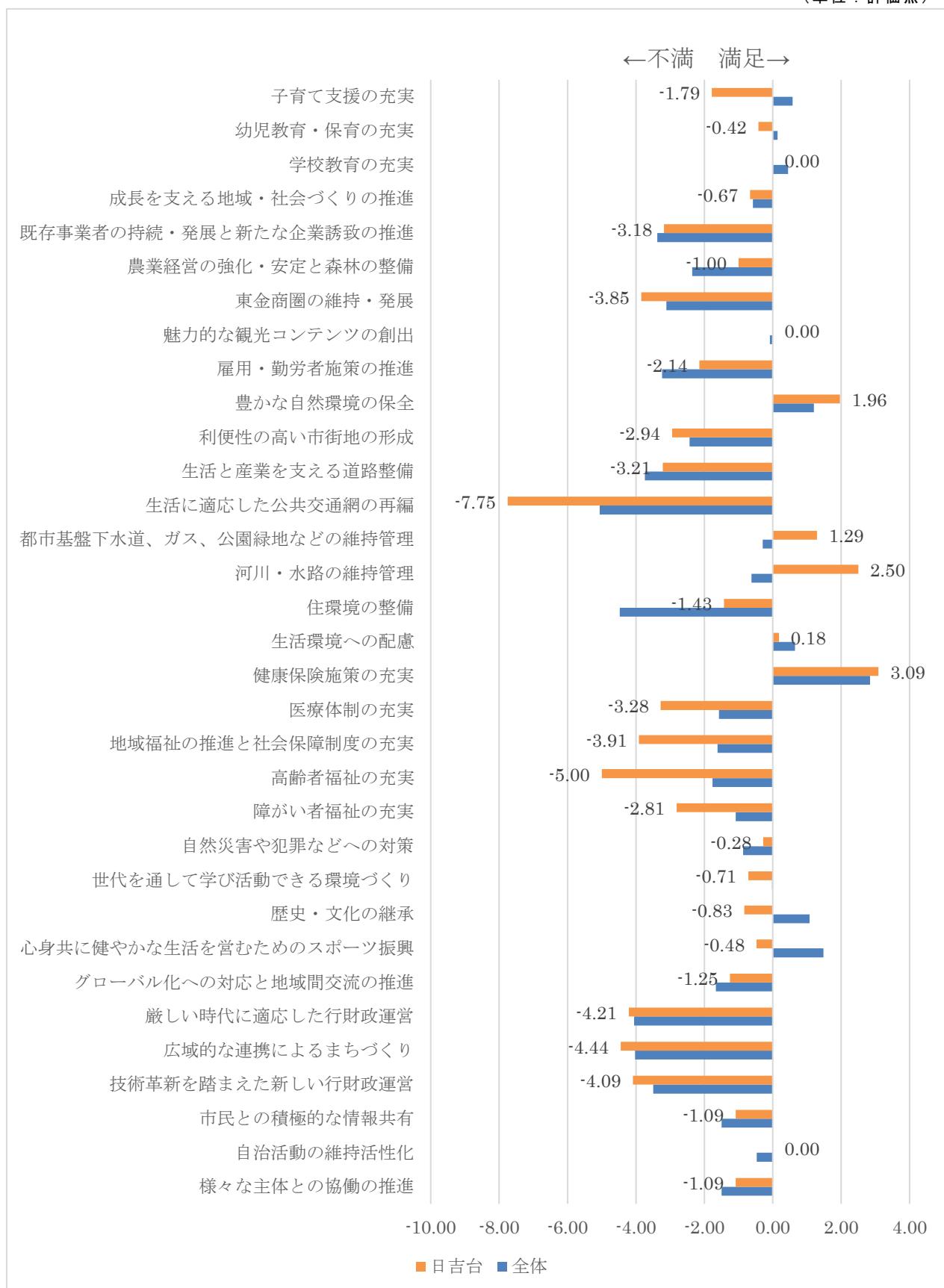
図表 151 まちの各環境に関する満足度【城西地区】

(単位 : 評価点)



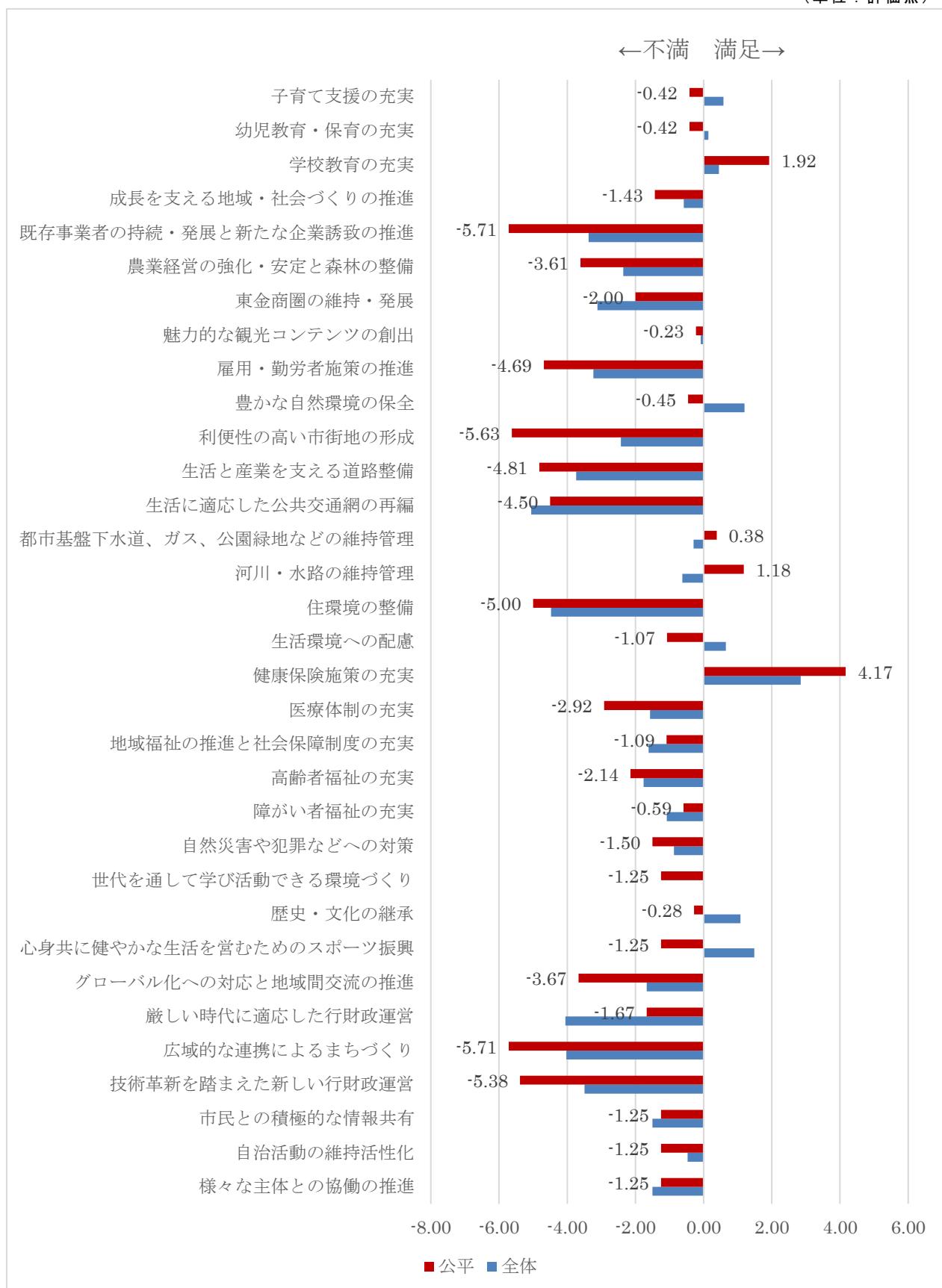
図表 152 まちの各環境に関する満足度【日吉台地区】

(単位 : 評価点)



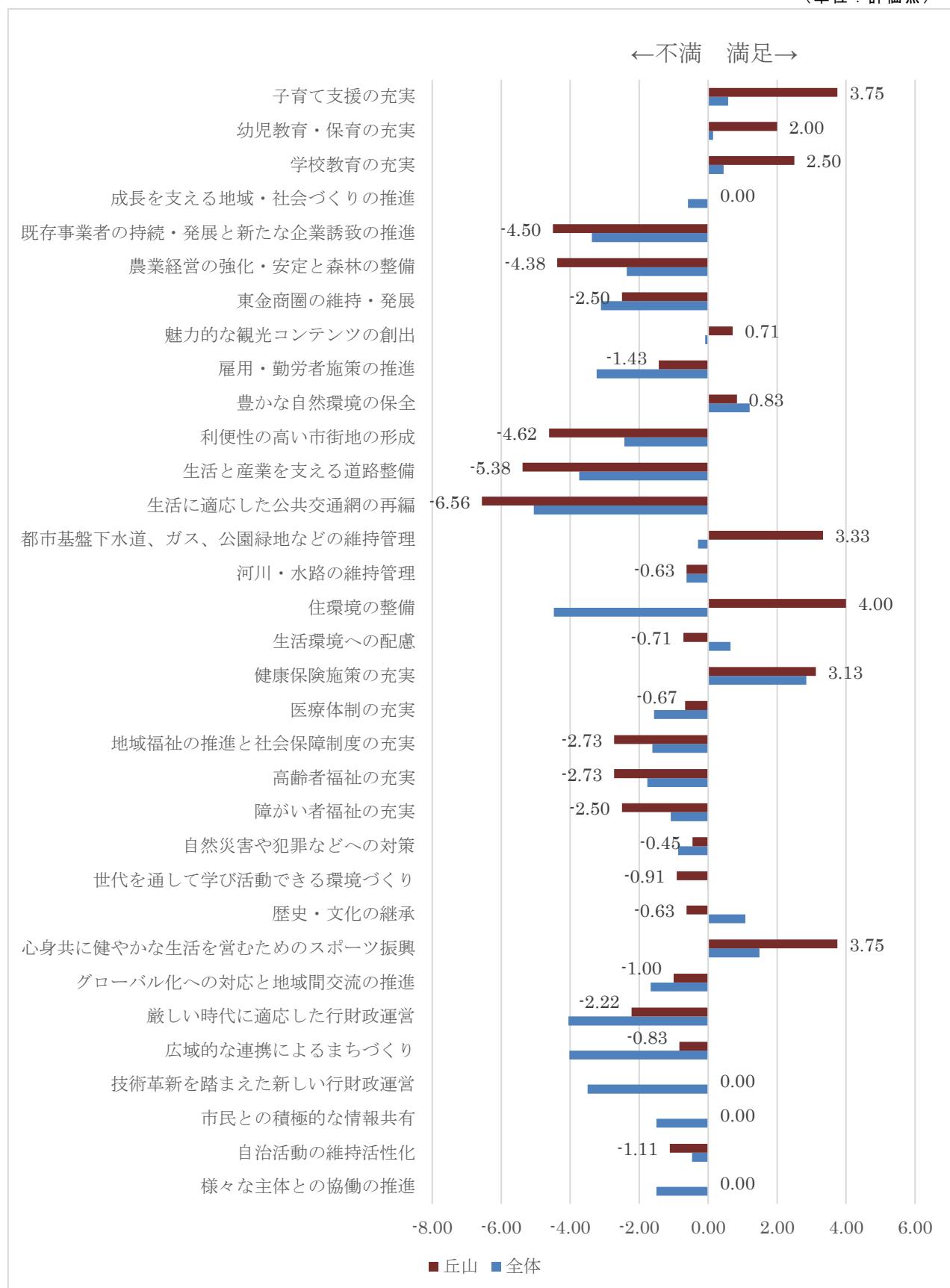
図表 153 まちの各環境に関する満足度【公平地区】

(単位 : 評価点)



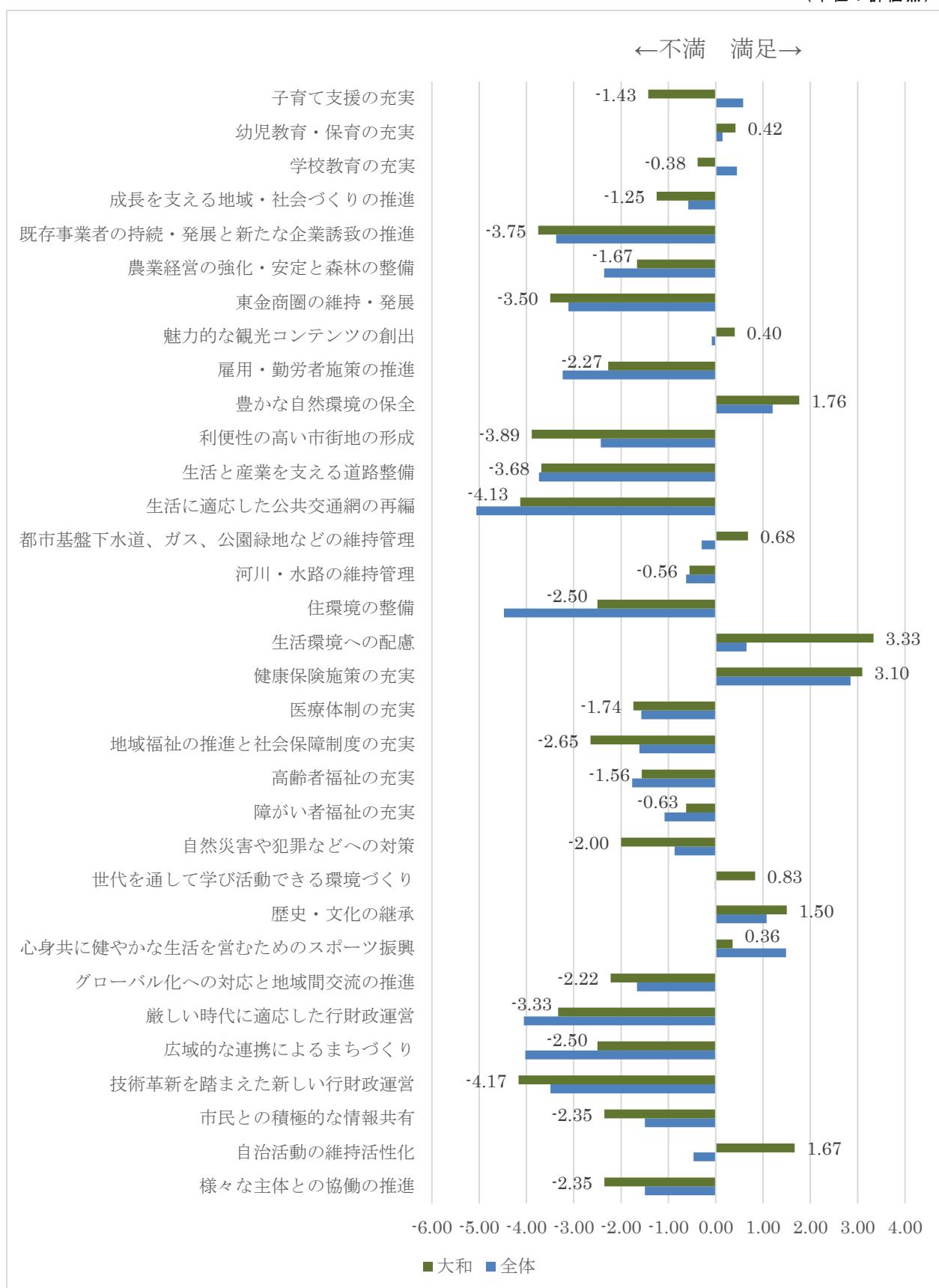
図表 154 まちの各環境に関する満足度【丘山地区】

(単位 : 評価点)



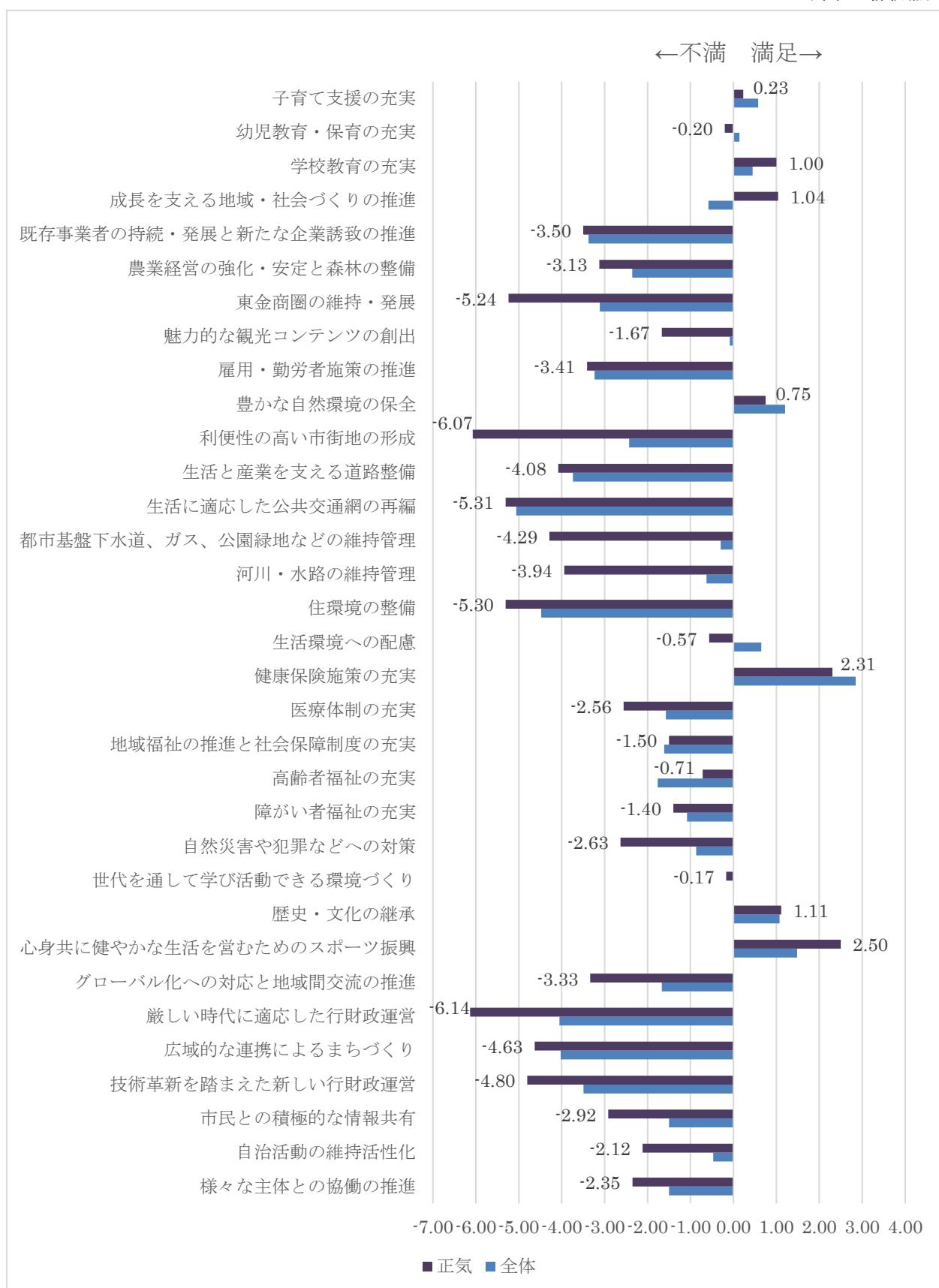
図表 155 まちの各環境に関する満足度【大和地区】

(単位 : 評価点)



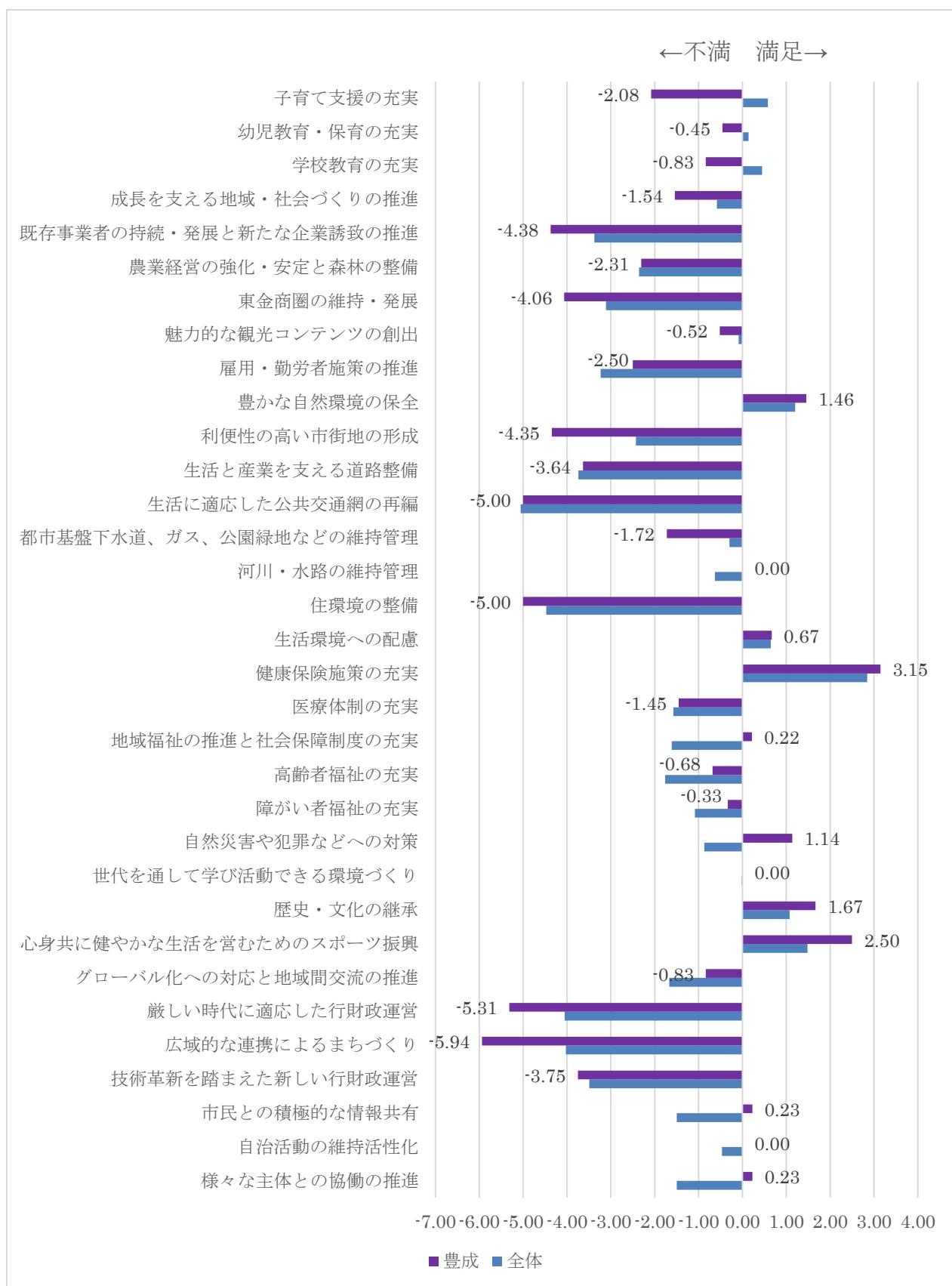
図表 156 まちの各環境に関する満足度【正気地区】

(単位 : 評価点)



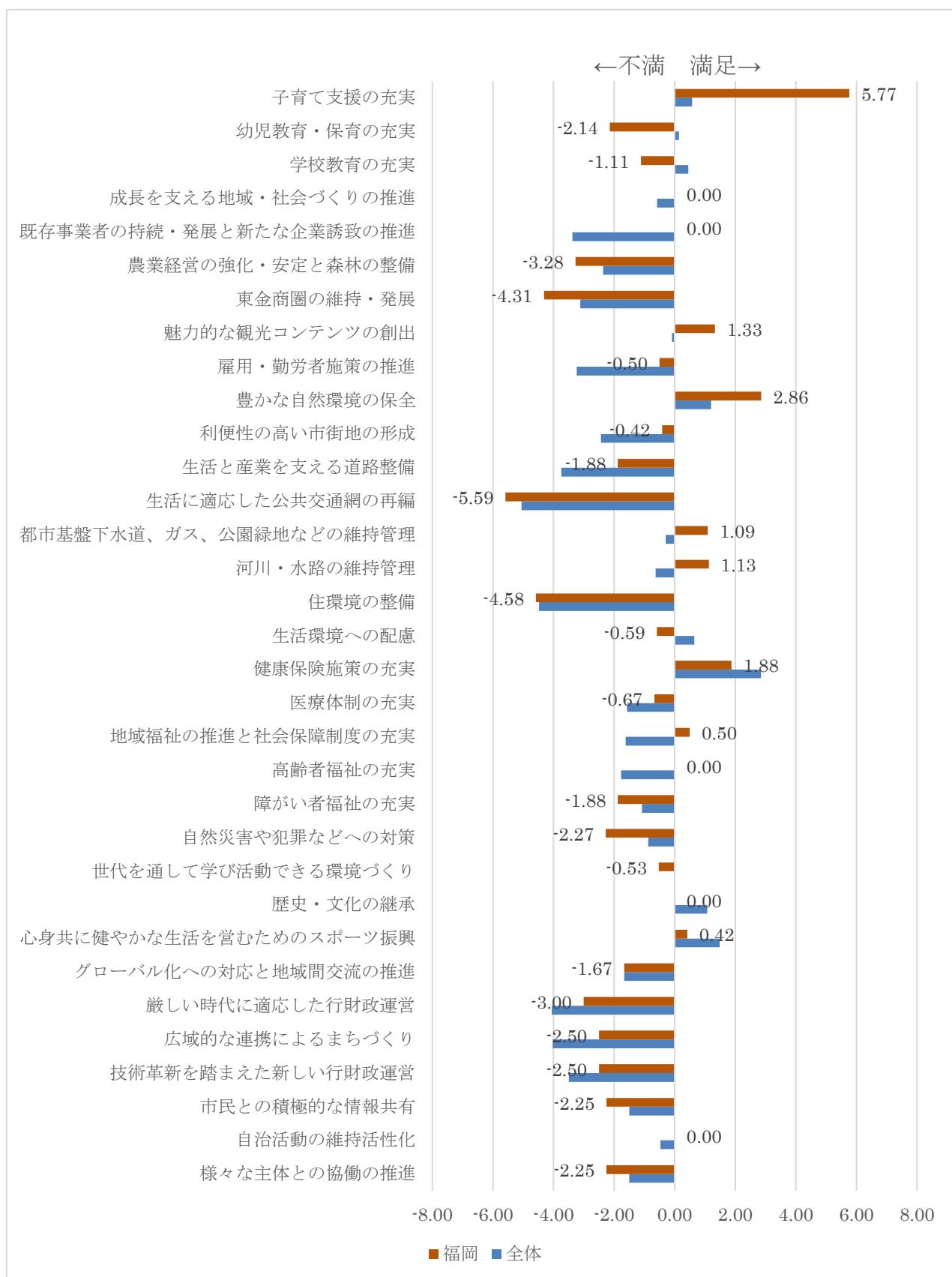
図表 157 まちの各環境に関する満足度【豊成地区】

(単位 : 評価点)



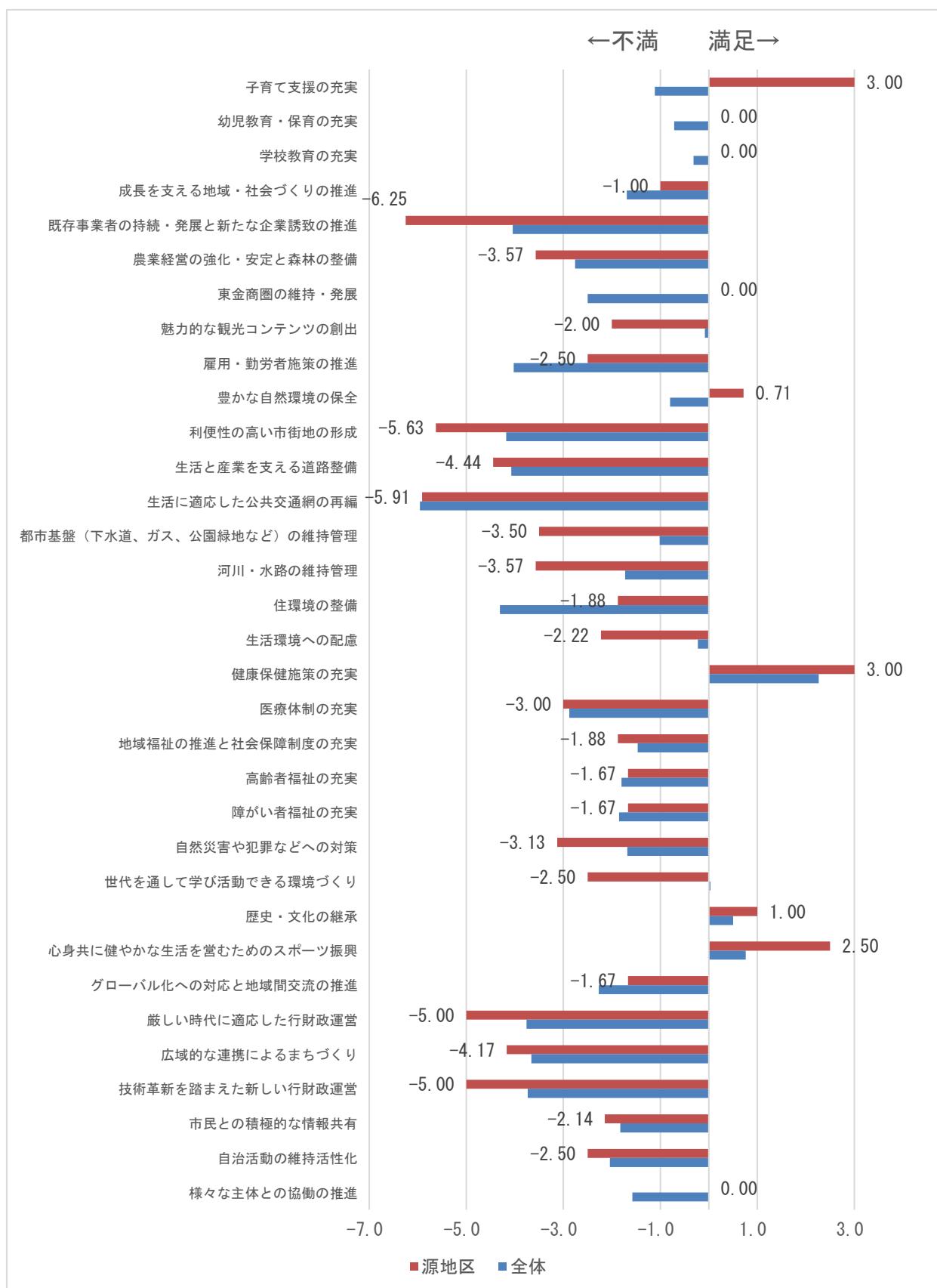
図表 158 まちの各環境に関する満足度【福岡地区】

(単位 : 評価点)



図表 159 まちの各環境に関する満足度【源地区】

(単位 : 評価点)



(2)まちの各環境に関する優先度

問18 市の各分野の「現状の満足度」と「今後の優先度」をお聞きします。【優先度】



- ・優先度評価が高い項目は「幼児教育・保育の充実」。次いで「子育て支援の充実」、「学校教育の充実」の順。
- ・優先度評価が低い項目は「様々な主体との協働の推進」。次いで「グローバル化への対応と地域間交流の推進」、「歴史・文化の継承」の順。

まちの各環境について、何を優先すべきとしているか把握するため、満足度と同じ33項目について、「優先度が高い」、「優先度がやや高い」、「優先度がやや低い」、「優先度が低い」、「わからない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化【後述参照】で評価点（優先度：最高点10点、最低点-10点）を算出しました（「わからない」及び無回答については除外）。

その結果、優先度評価が最も高い項目は、「幼児教育・保育の充実」（3.03点）となっており、次いで「子育て支援の充実」（2.68点）、「学校教育の充実」（2.50点）となっています。一方、優先度評価が低い項目をみると、「様々な主体との協働の推進」（-2.11点）が最も低く、次いで「グローバル化への対応と地域間交流の推進」（-2.05点）、「歴史・文化の継承」（-0.94点）となっています。

図表 160 過去からのアンケート結果推移(全体)

	上位		
	1位	2位	3位
第29回	幼児教育・保育の充実	子育て支援の充実	学校教育の充実
	3.03点	2.68点	2.50点
第28回	子育て支援の充実	幼児教育・保育の充実	学校教育の充実
	4.30点	4.17点	4.03点
第27回	学校教育の充実	子育て支援の充実	幼児教育・保育の充実
	4.04点	4.02点	3.90点
第26回	学校教育の充実	幼児教育・保育の充実	子育て支援の充実
	8.00点	7.95点	7.79点
第25回	医療体制の充実	幼児教育・保育の充実	子育て支援の充実
	8.01点	7.96点	7.93点

	下位		
	1位	2位	3位
第 29 回	様々な主体との協働の推進	グローバル化への対応と地域間交流の推進	歴史・文化の継承
	-2.11 点	-2.05 点	-0.94 点
第 28 回	様々な主体との協働の推進	グローバル化への対応と地域間交流の推進	歴史・文化の継承
	-1.39 点	-0.79 点	-0.44 点
第 27 回	様々な主体との協働の推進	住環境の整備	自治活動の維持活性化
	-1.91 点	-1.14 点	-1.05 点
第 26 回	グローバル化への対応と地域間交流の推進	様々な主体との協働の推進	歴史・文化の継承
	2.89 点	3.06 点	3.14 点
第 25 回	グローバル化への対応と地域間交流の推進	様々な主体との協働の推進	世代を通して学び活動できる環境づくり
	2.05 点	2.61 点	3.16 点

※加重平均値による評価点（優先度）の算出方法

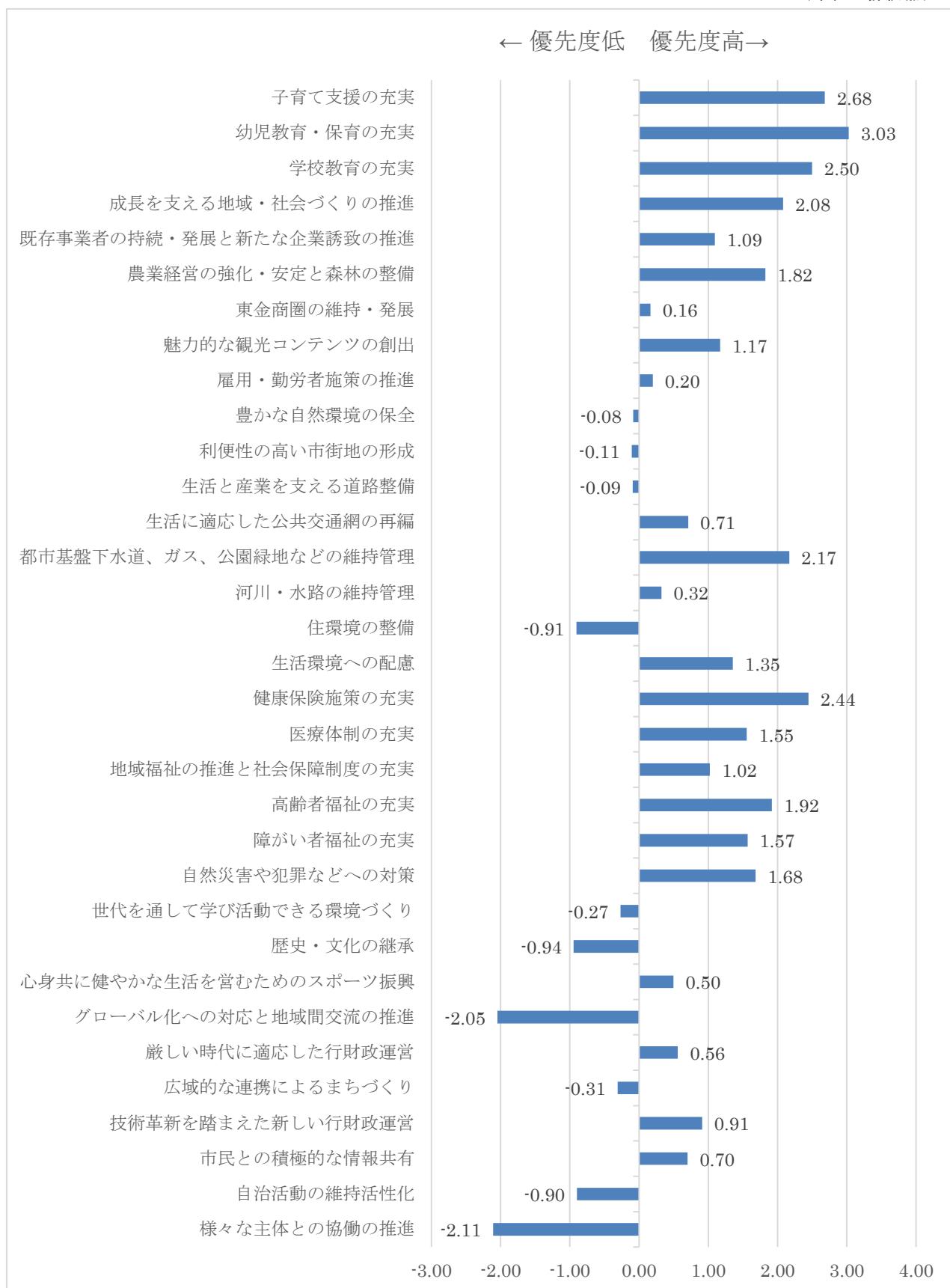
4段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（優先度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{「優先度が高い」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「優先度がやや高い」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「優先度がやや低い」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「優先度が低い」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{「優先度が高い」、} \\ \text{「優先度がやや高い」、} \\ \text{「優先度がやや低い」、} \\ \text{「優先度が低い」の回答者数} \end{array} \right)}$$

この算出方法により、評価点は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

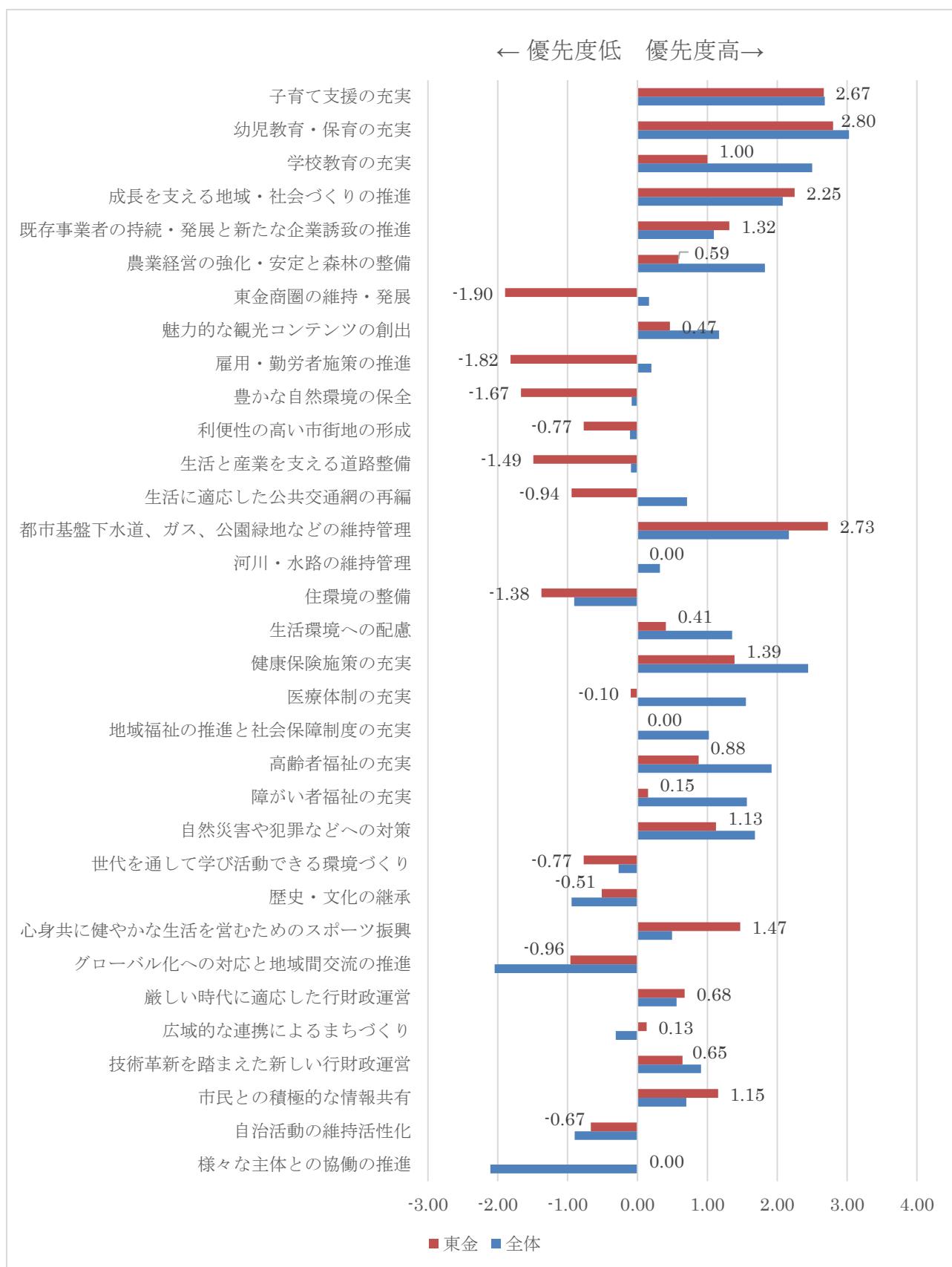
図表 161 まちの各環境に関する優先度【全体】

(単位 : 評価点)



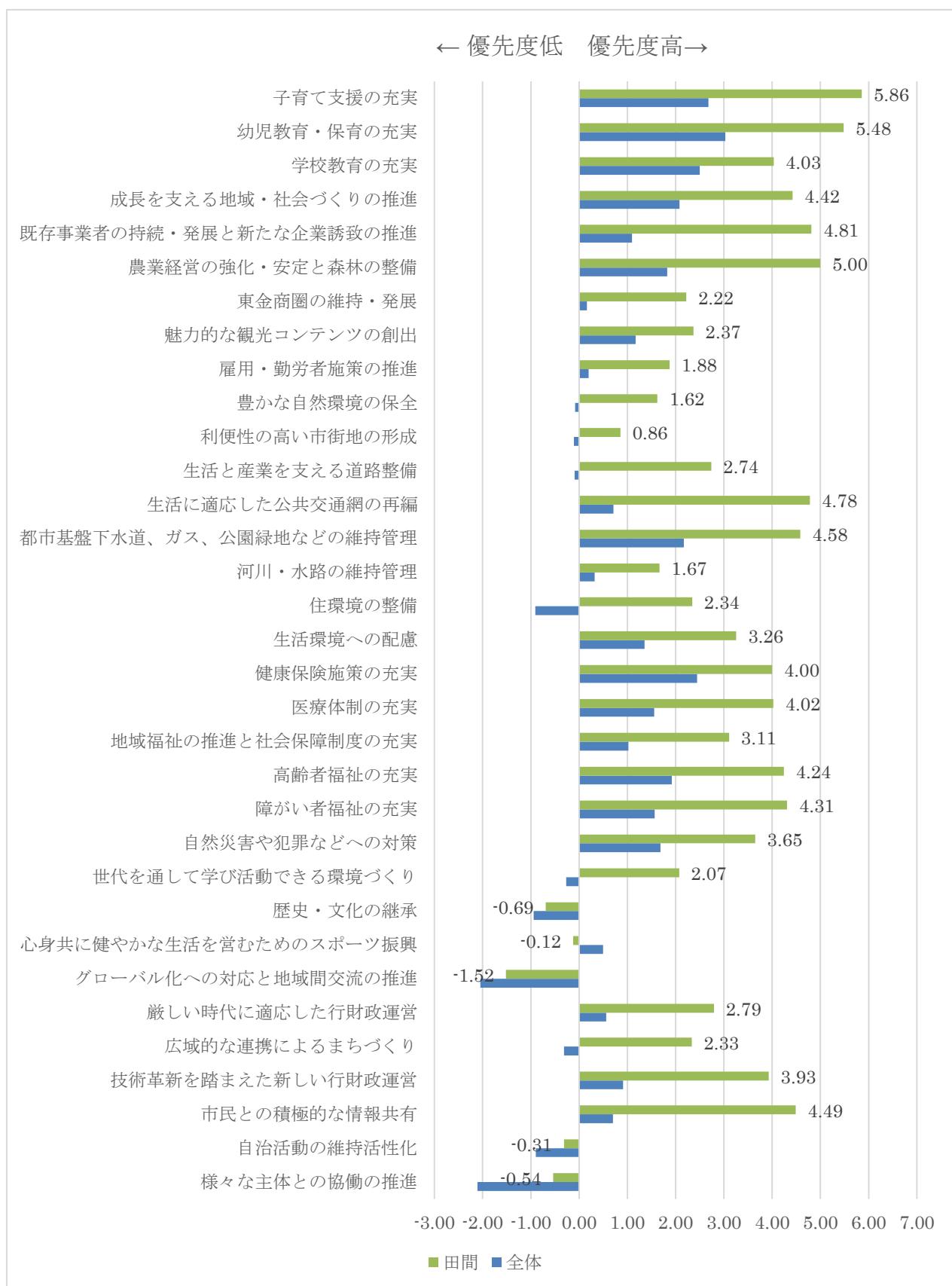
図表 162 まちの各環境に関する優先度【東金地区】

(単位 : 評価点)



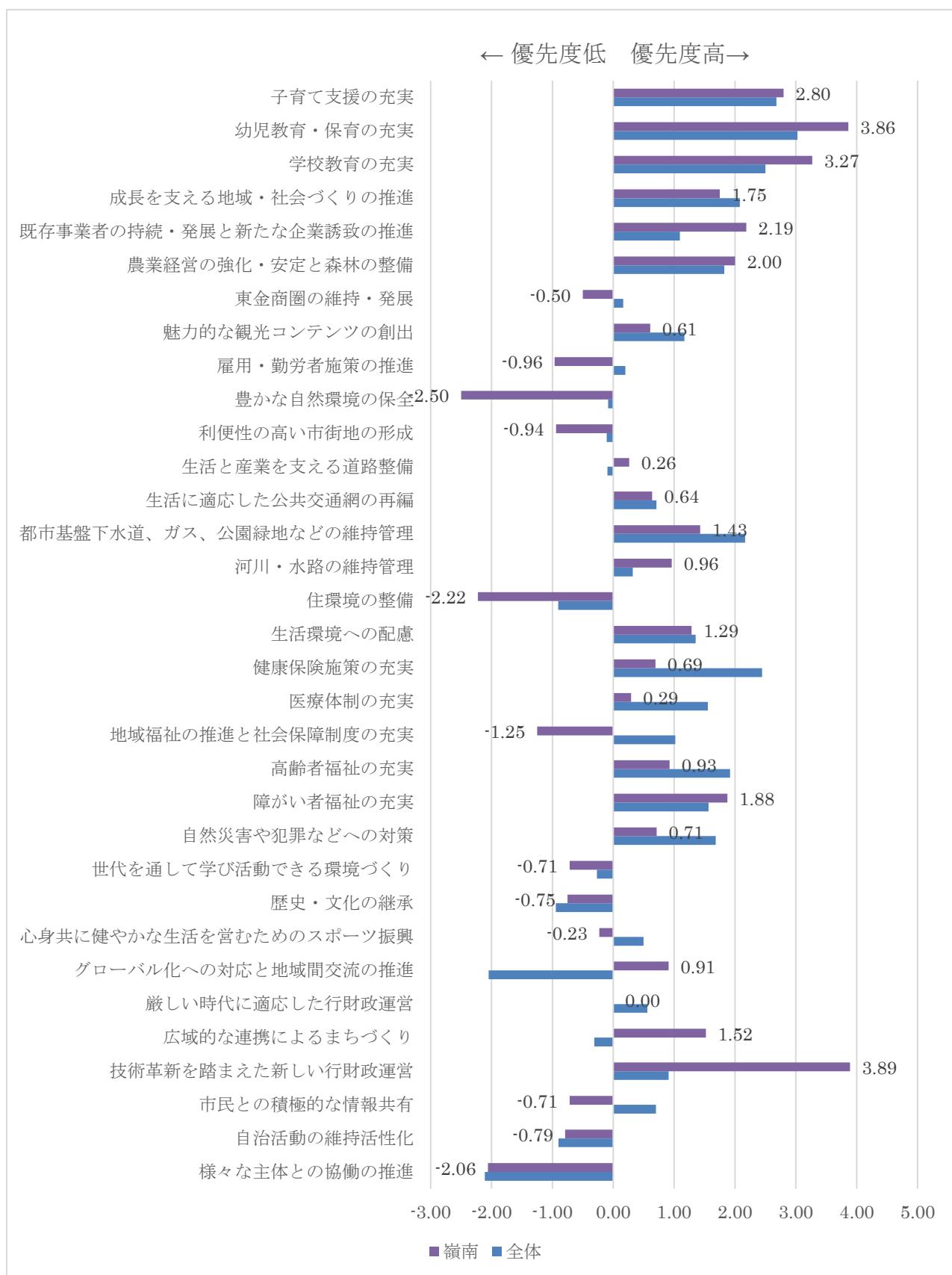
図表 163 まちの各環境に関する優先度【田間地区】

(単位 : 評価点)



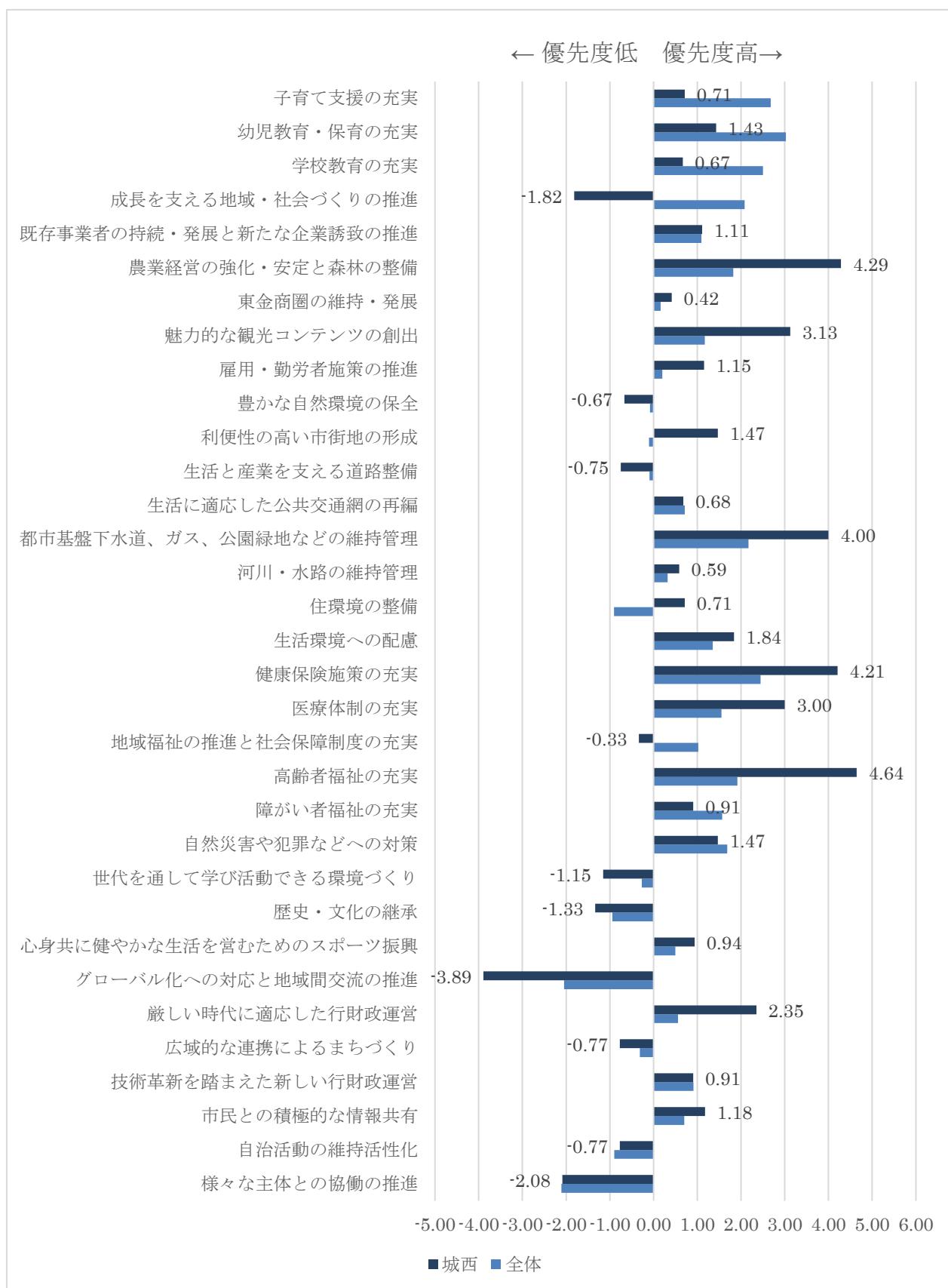
図表 164 まちの各環境に関する優先度【嶺南地区】

(単位 : 評価点)



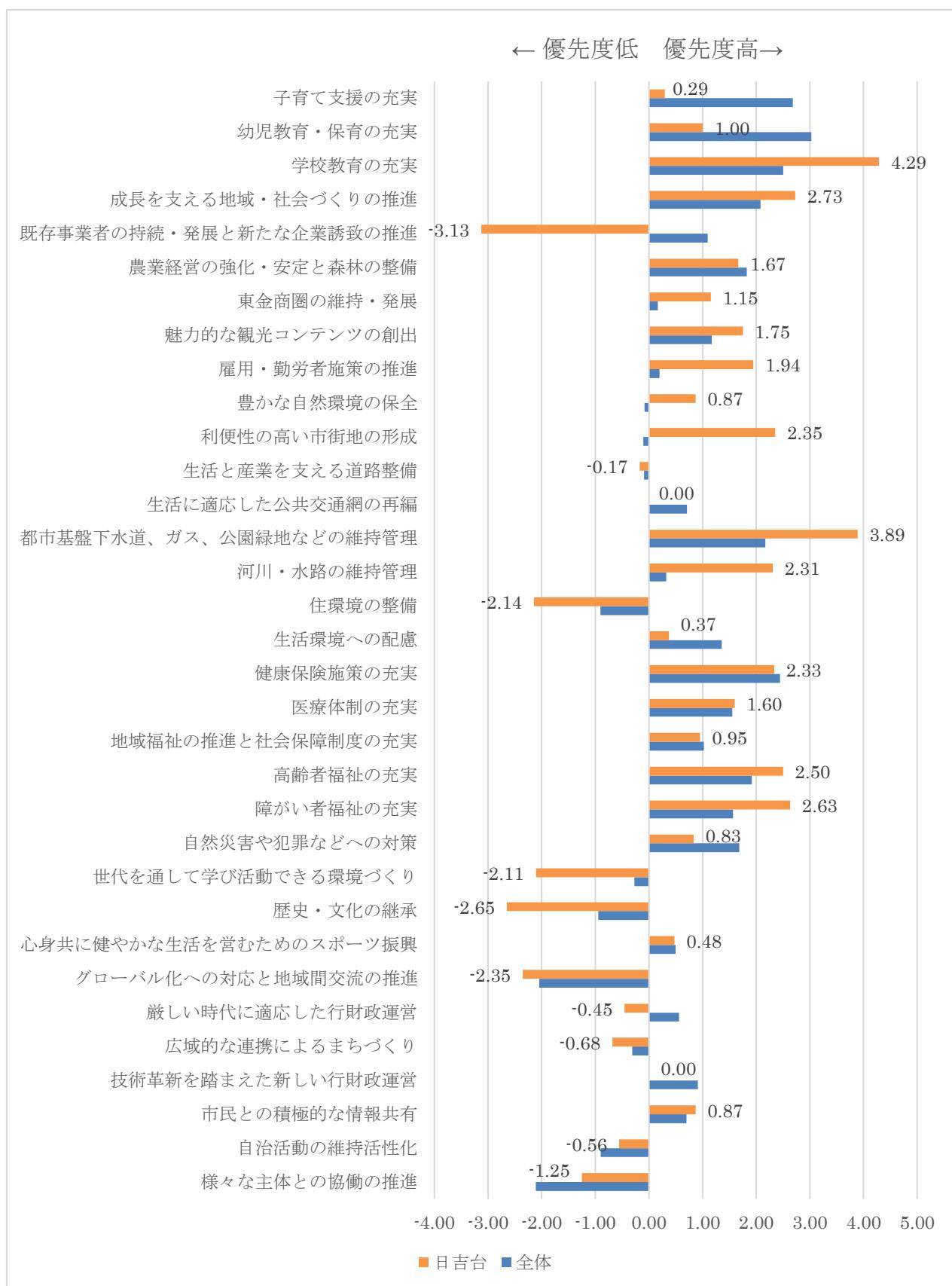
図表 165 まちの各環境に関する優先度【城西地区】

(単位 : 評価点)



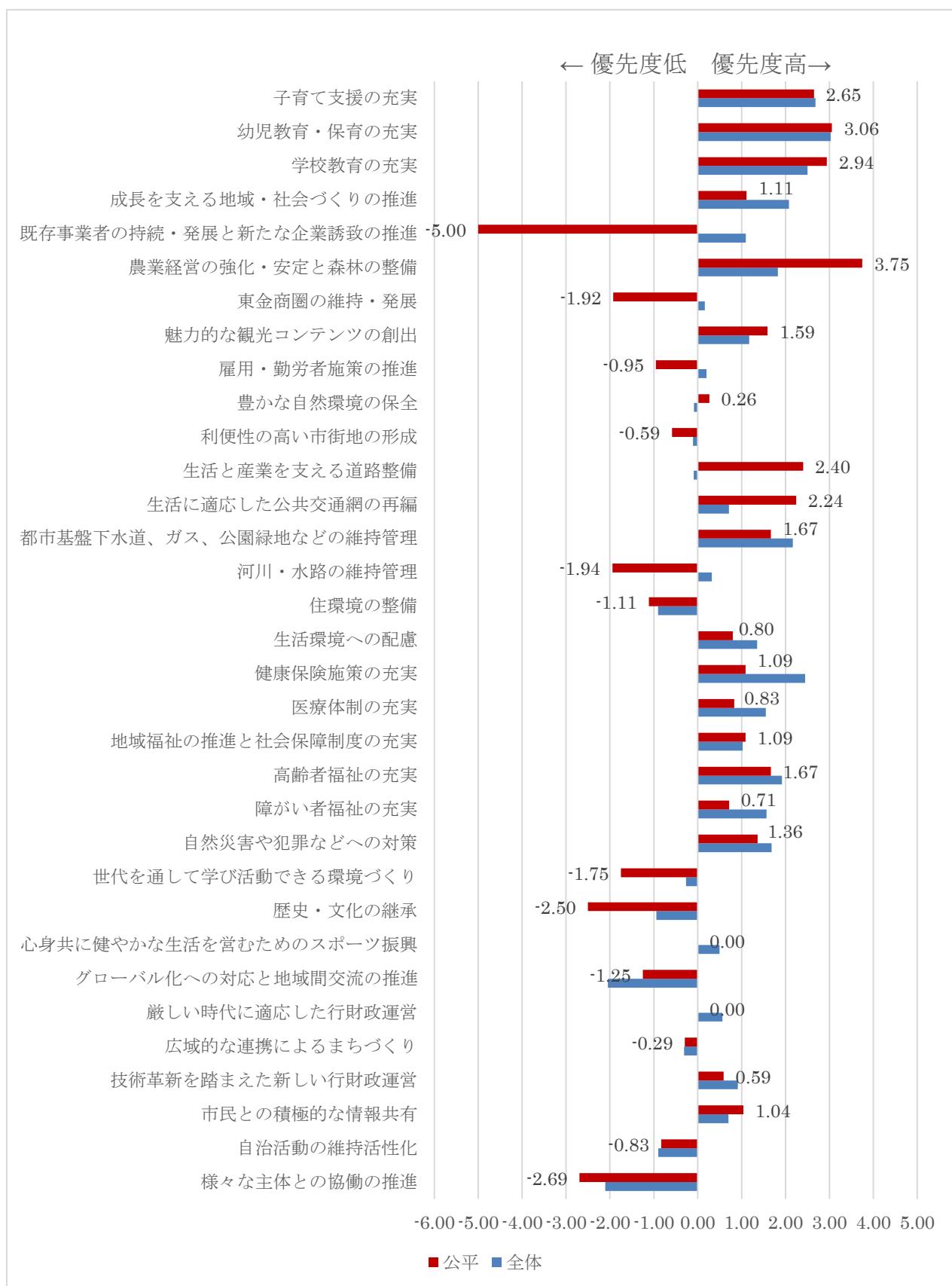
図表 166 まちの各環境に関する優先度【日吉台地区】

(単位 : 評価点)



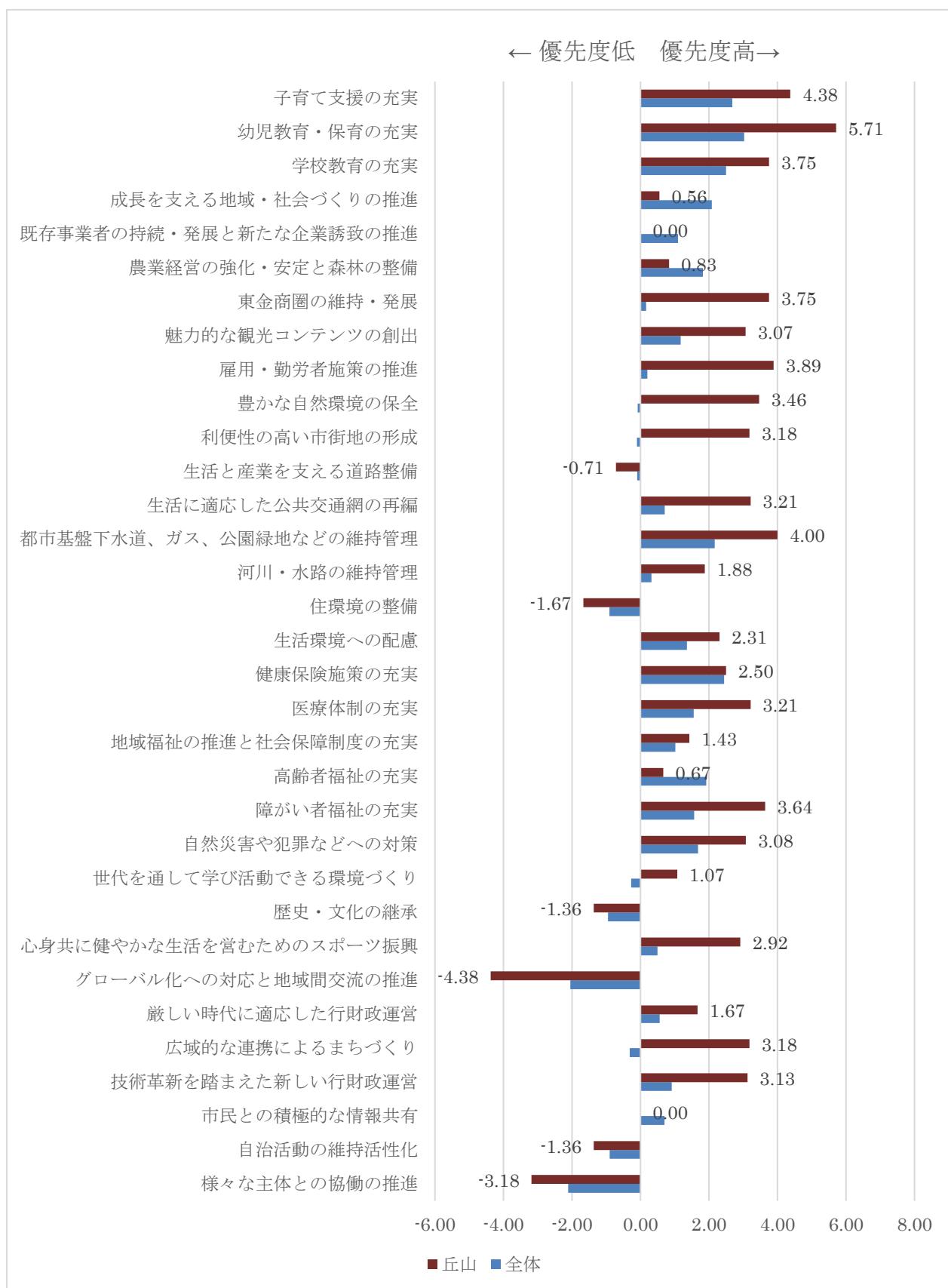
図表 167 まちの各環境に関する優先度【公平地区】

(単位 : 評価点)



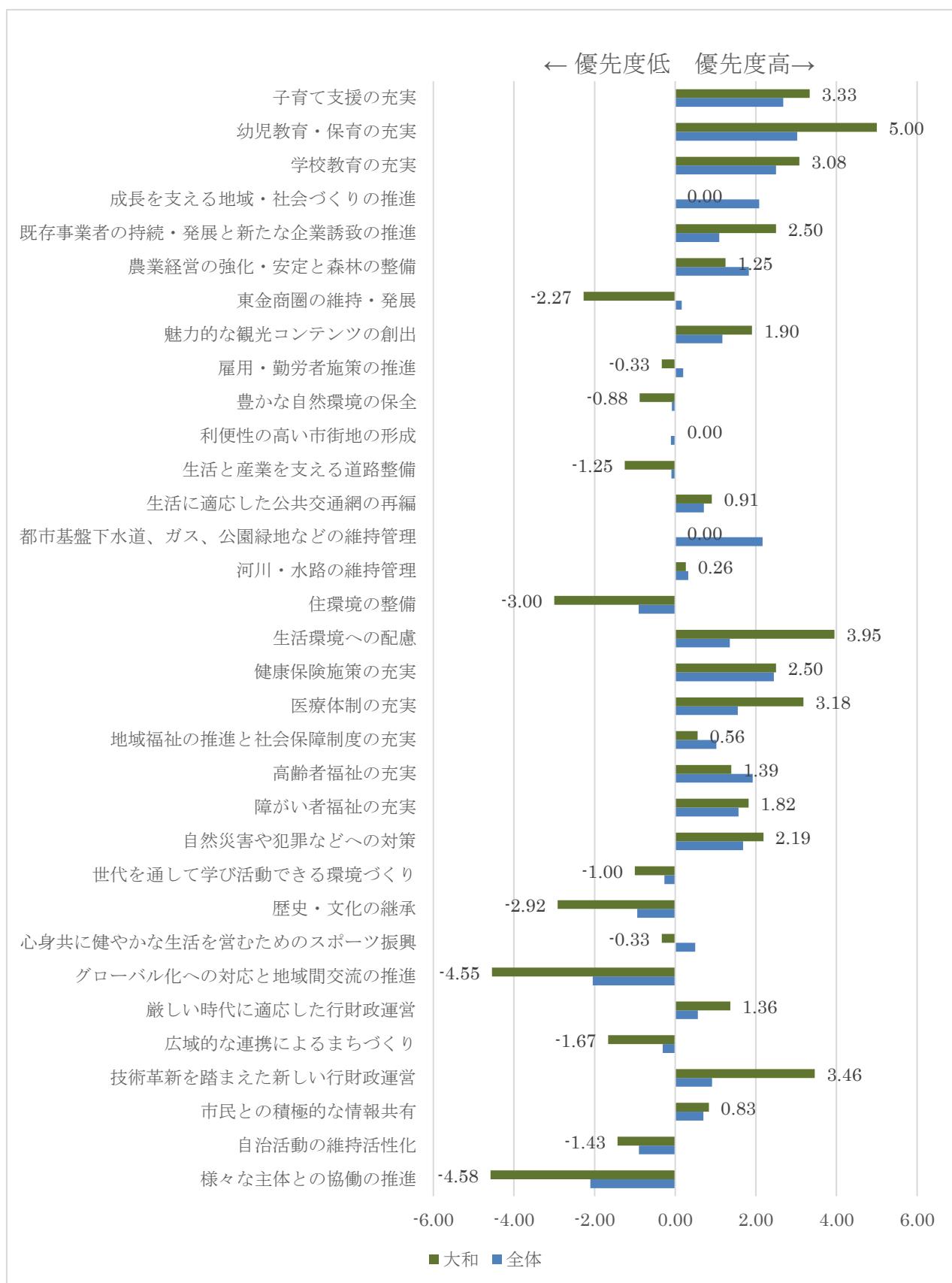
図表 168 まちの各環境に関する優先度【丘山地区】

(単位 : 評価点)



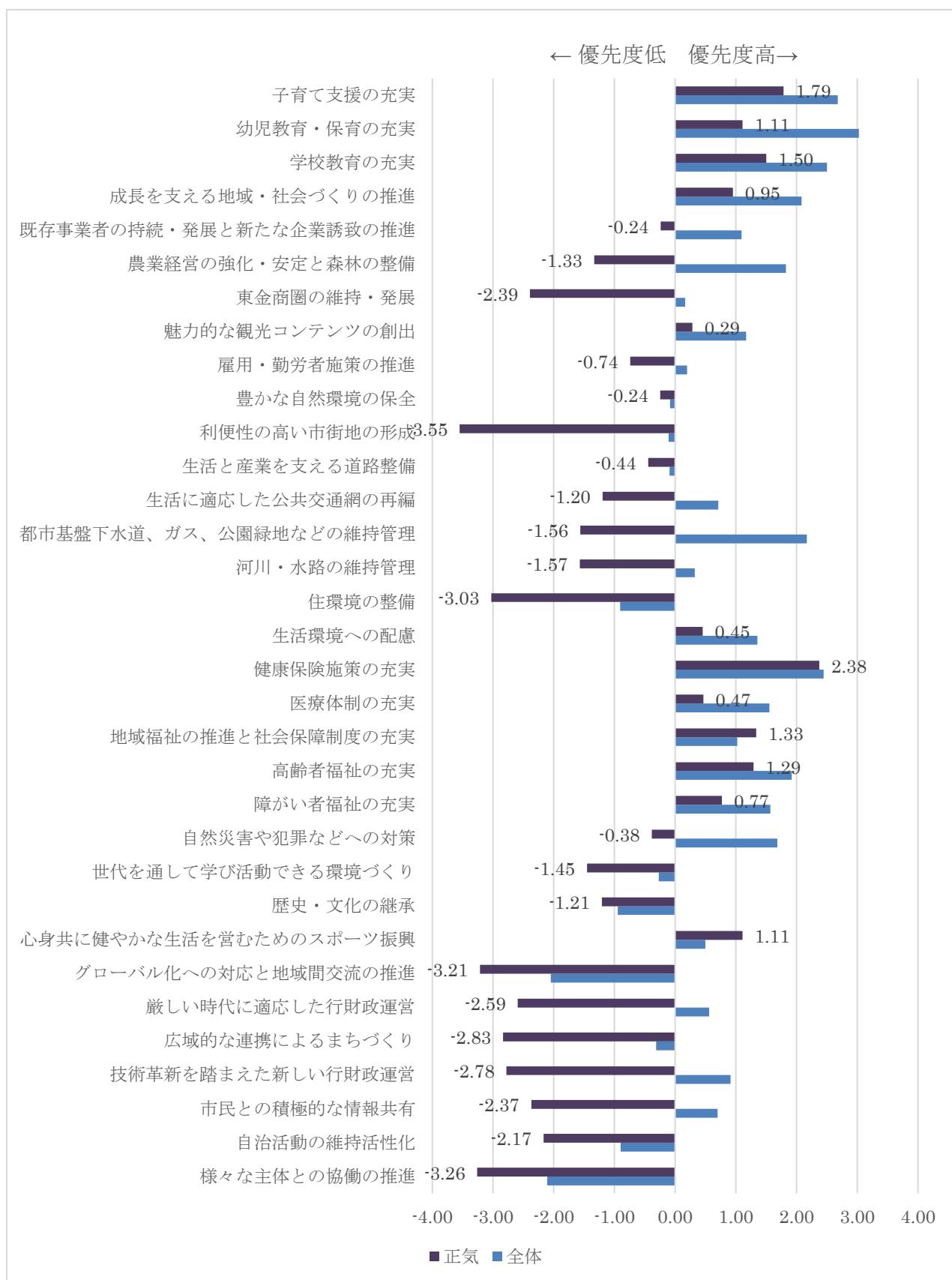
図表 169 まちの各環境に関する優先度【大和地区】

(単位 : 評価点)



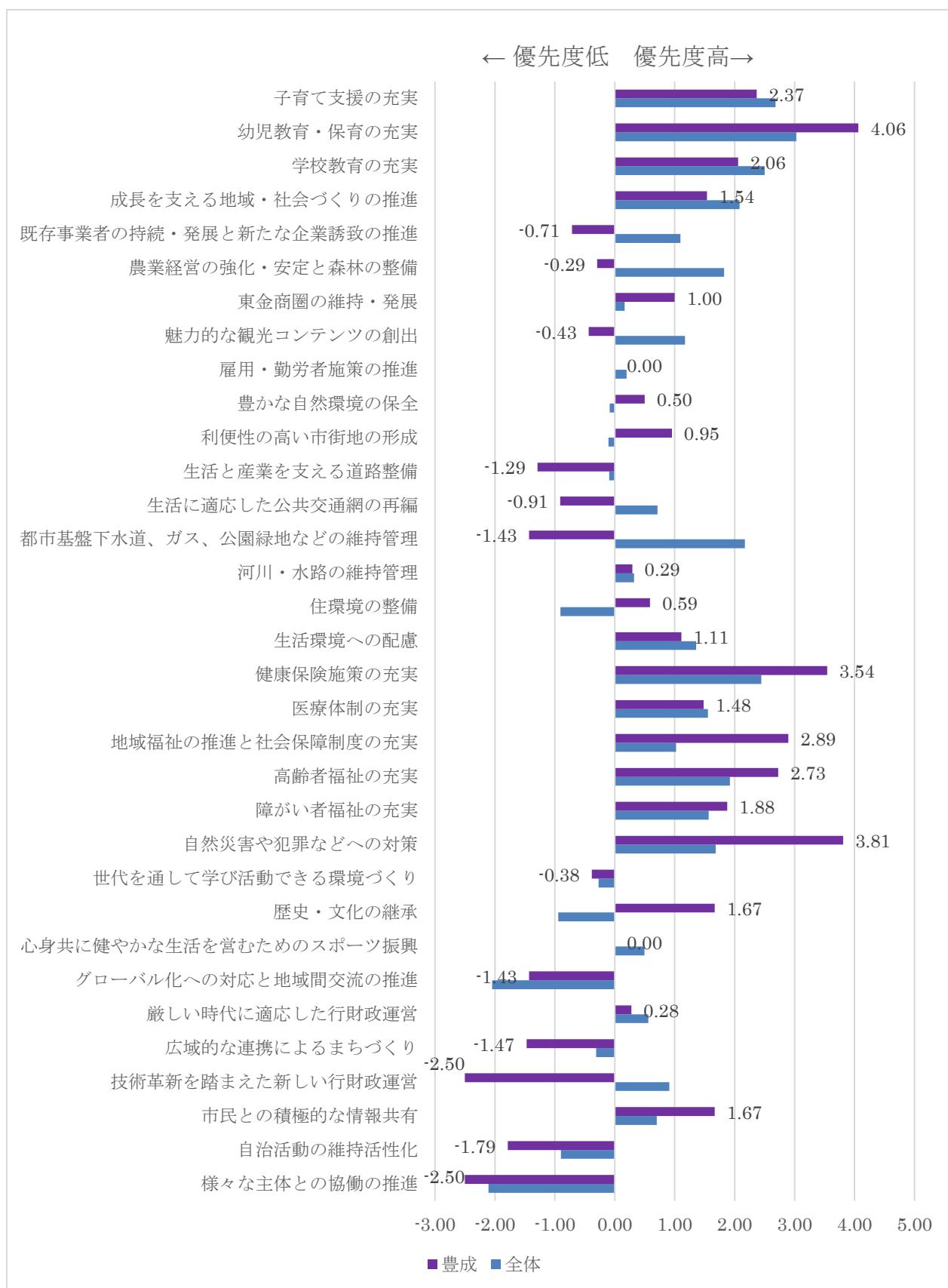
図表 170 まちの各環境に関する優先度【正気地区】

(単位 : 評価点)



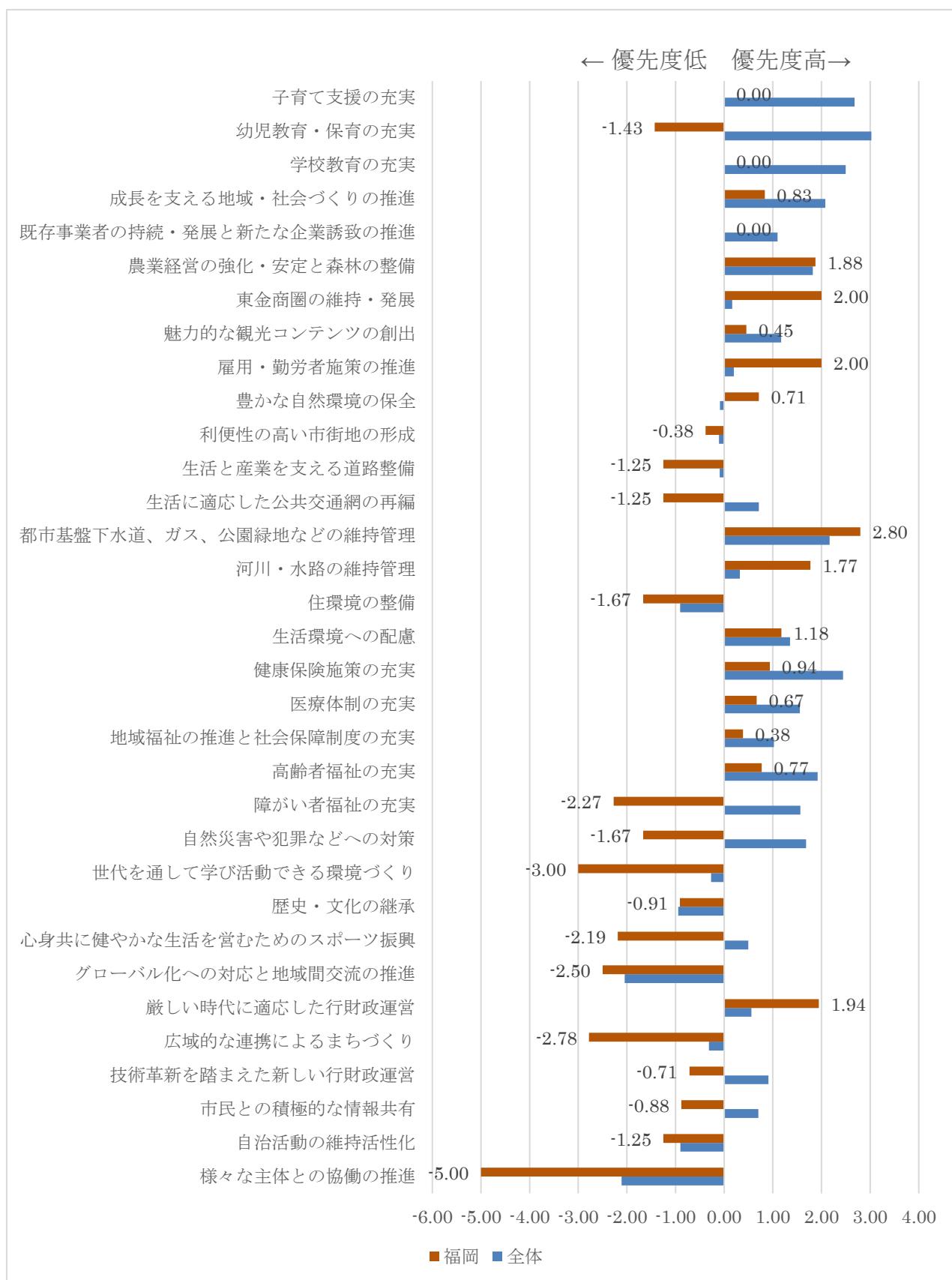
図表 171 まちの各環境に関する優先度【豊成地区】

(単位 : 評価点)



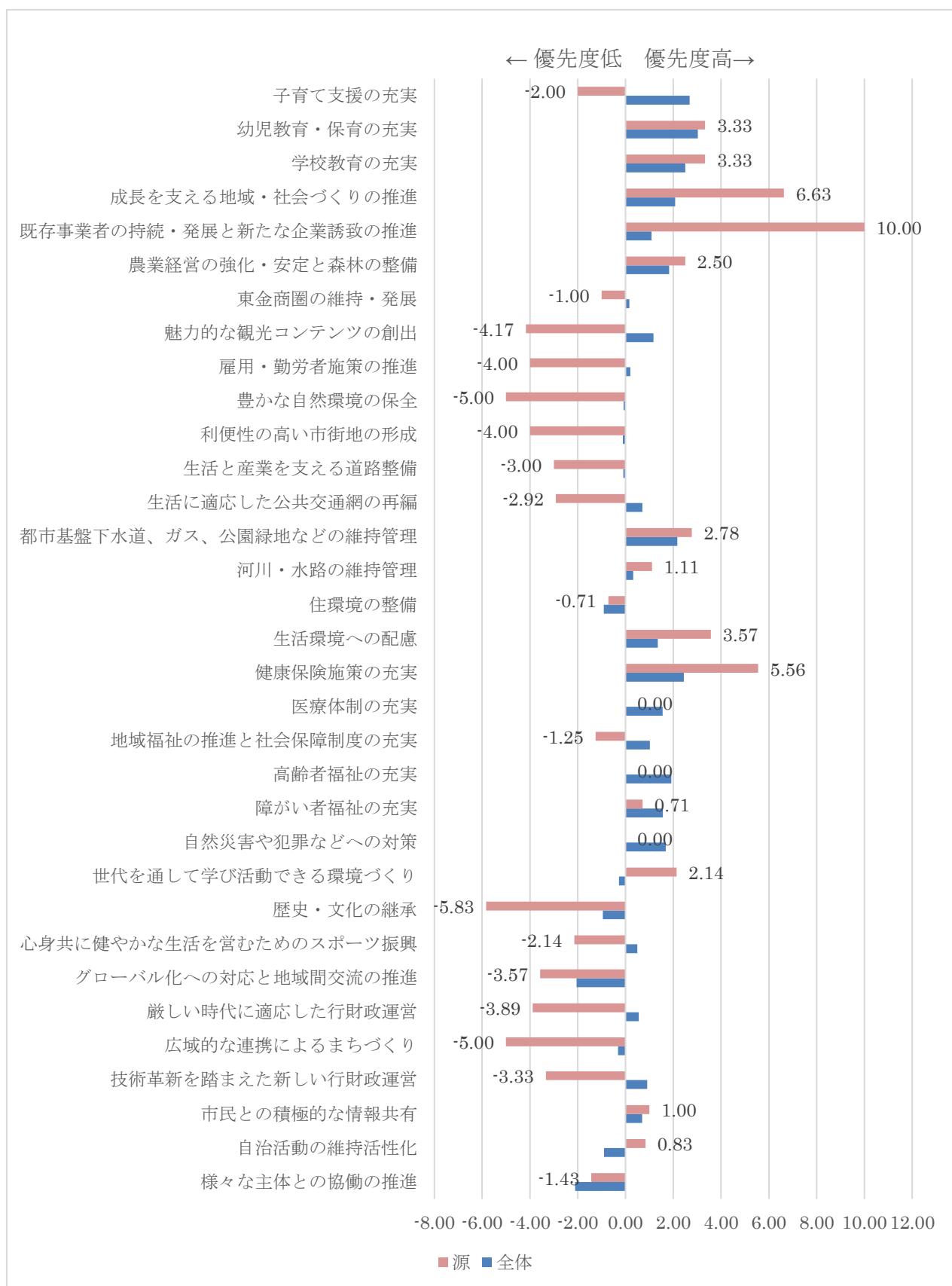
図表 172 まちの各環境に関する優先度【福岡地区】

(単位 : 評価点)



図表 173 まちの各環境に関する優先度【源地区】

(単位 : 評価点)



(3)「満足度」・「優先度」ポイントランキング

33項目の満足度と優先度をポイント化し、順位付けした結果を次の表で示しています。ポイントが平均よりも高い場合には（↑）、低い場合には（↓）となっています。優先度が高く満足度が低い項目は、市民が「力を入れて欲しい」と感じている項目と言えます。

図表 174 「満足度」・「優先度」ポイントランキング

項目	満足度 ランク	優先度 ランク
1 子育て支援の充実	6位（↑）	2位（↑）
2 幼児教育・保育の充実	8位（↑）	1位（↑）
3 学校教育の充実	7位（↑）	3位（↑）
4 成長を支える地域・社会づくりの推進	13位（↑）	6位（↑）
5 既存事業者の持続・発展と新たな企業誘致の推進	27位（↓）	14位（↑）
6 農業経営の強化・安定と森林の整備	23位（↓）	8位（↑）
7 東金商圈の維持・発展	25位（↓）	23位（↓）
8 魅力的な観光コンテンツの創出	10位（↑）	13位（↑）
9 雇用・勤労者施策の推進	26位（↓）	22位（↓）
10-(1) 豊かな自然環境の保全	3位（↑）	24位（↓）
10-(2) 利便性の高い市街地の形成	24位（↓）	26位（↓）
11 生活と産業を支える道路整備	29位（↓）	25位（↓）
12 生活に適応した公共交通網の再編	33位（↓）	17位（↓）
13-(1) 都市基盤下水道、ガス、公園緑地などの維持管理	11位（↑）	5位（↑）
13-(2) 河川・水路の維持管理	14位（↑）	21位（↓）
14-(1) 住環境の整備	32位（↓）	30位（↓）
14-(2) 生活環境への配慮	5位（↑）	12位（↑）
15 健康保険施策の充実	1位（↑）	4位（↑）
16 医療体制の充実	19位（↓）	11位（↑）
17 地域福祉の推進と社会保障制度の充実	20位（↓）	15位（↑）
18 高齢者福祉の充実	22位（↓）	7位（↑）
19 障がい者福祉の充実	16位（↑）	10位（↑）
20 自然災害や犯罪などへの対策	15位（↑）	9位（↑）
21 世代を通して学び活動できる環境づくり	9位（↑）	27位（↓）
22 歴史・文化の継承	4位（↑）	31位（↓）
23 心身共に健やかな生活を営むためのスポーツ振興	2位（↑）	20位（↓）

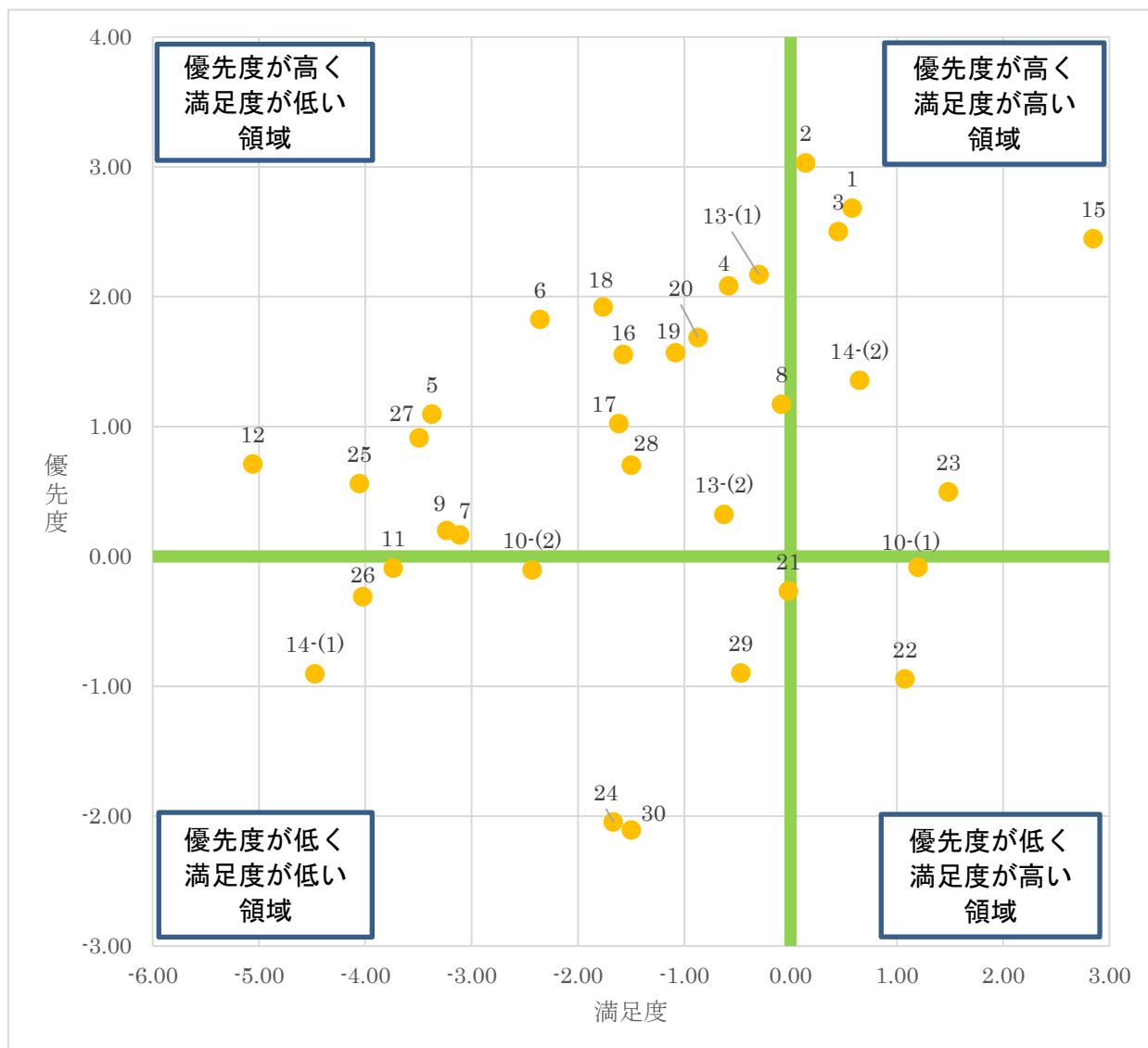
24	グローバル化への対応と地域間交流の推進	21位（↓）	32位（↓）
25	厳しい時代に適応した行財政運営	31位（↓）	19位（↓）
26	広域的な連携によるまちづくり	30位（↓）	28位（↓）
27	技術革新を踏まえた新しい行財政運営	28位（↓）	16位（↑）
28	市民との積極的な情報共有	18位（↓）	18位（↓）
29	自治活動の維持活性化	12位（↑）	29位（↓）
30	様々な主体との協働の推進	17位（↓）	33位（↓）

(4)「満足度」・「優先度」の散布図

33項目の満足度と優先度をポイント化し、散布図に表しました。座標軸の基準を満足度0、優先度0とし、33項目を4つの象限に分類しています。また、満足度ポイントの平均と優先度ポイントの平均を破線で示しています。

左上の象限である「優先度が高く満足度が低い領域」に分類された項目は、市民が「力を入れて欲しい」と感じている項目と言えます。

図表 175 「満足度」・「優先度」の散布図



第29回東金市民アンケート調査報告書

令和8年2月

調査・発行／東金市役所企画政策部企画課

〒283-8511 千葉県東金市東岩崎 1-1

TEL0475-50-1122
